ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5



型式：YY2963

クイックスタートガイド

⚠ 水ぬれによる焼損や故障を防ぐために

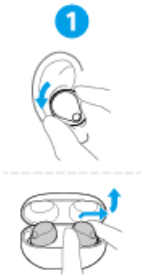
アプリをダウンロードして、ヘッドセットのセットアップをしましょう

Headphones Connect

すべての機能・性能改善をご利用いただくために、ヘッドセットのソフトウェアや“Sony | Headphones Connect”アプリは最新のバージョンをお使いください。詳しくは、下記をご覧ください。
https://www.sony.net/elesupport/

使い始めよう





装着する

ヘッドセットを横に倒しながら取り出すと、かんたんに充電ケースから取り出すことができます。
ヘッドセットを回転させながら、イヤーピースが最も耳穴の奥に入るように装着してください。

BLUETOOTH®接続する

ヘッドセットを充電ケースから取り出すと、電源が入ります。
ダウンロードした“Sony | Headphones Connect”アプリの指示に従ってください。

ヘッドセットで操作する

タッチセンサー中央部を人差し指の腹を使ってタップします。
L側
●：ノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）の切り替え
●●：Quick Access（“Sony | Headphones Connect”アプリでの設定が必要）
●●●：Quick Access（“Sony | Headphones Connect”アプリでの設定が必要）
●●●●...：音量を下げる
▬：クイックアテンションモードを使用する

R側
●：再生／一時停止
●●：次の曲の頭出し
●●●：前（再生中）の曲の頭出し
●●●●...：音量を上げる
▬：音声アシスト機能（Google™アプリ／Siri）の起動／解除

関連情報

手動でBluetooth接続する
ヘッドセットを充電する

準備する

Bluetooth機能でできること

音声ガイダンスについて

付属品について

- 箱の中身を確認する
- イヤーピースを交換する

各部の名前

- 各部の名前
- ランプ表示

ヘッドセットを装着する

- ヘッドセットを装着する
- 片側のヘッドセットだけを使う

ヘッドセットを操作する

- タッチセンサーについて
- Quick Access（クイックアクセス）を使う

電源／充電

- 充電する
- 使用可能時間
- 充電式電池の残量を確認する
- ヘッドセットの電源を入れる
- ヘッドセットの電源を切る

接続する

Bluetooth接続をするには

アプリを使ってかんたんに接続する

- “Sony | Headphones Connect”アプリを使って接続する

Android搭載スマートフォン

- Android搭載スマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続する
- Android搭載スマートフォンをLE Audioで機器登録（ペアリング）してから接続する
- 機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する

iPhone（iOS搭載機器）

- iPhoneを機器登録（ペアリング）してから接続する
- 機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する

ウォークマン®

- ウォークマン®を機器登録（ペアリング）してから接続する
- ウォークマン®を機器登録（ペアリング）してから接続する（Android搭載モデル）
- 機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する
- 機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する（Android搭載モデル）

パソコン

- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows® 11）
- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 10）
- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Mac）
- 機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 11）
- 機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 10）
- 機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Mac）

その他のBluetooth機器

- Bluetooth機器を機器登録（ペアリング）してから接続する
- 機器登録（ペアリング）済みのBluetooth機器と接続する

マルチポイント接続

- 2台の機器と同時に接続する（マルチポイント接続）

“音声の切り替え”で複数機器間の音声を切り替える

音楽を聞く

Bluetooth接続を使って音楽を聞く

- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- 音楽再生時にできること（Bluetooth接続）
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）
- 360 Reality Audioについて

ノイズキャンセリング機能

- ノイズキャンセリング機能とは
- ノイズキャンセリング機能を使う

周囲の音を聞く

- 音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード））
- すばやく周囲の音を聞きたいときは（クイックアテンションモード）
- ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）

音質モード

- 音質モードについて
- 対応コーデックについて
- DSEE Extremeについて

通話する

電話を受ける

電話をかける

通話時にできること

パソコンでビデオ通話する

Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）

音声アシスト機能を使う

Google アシスタントを使う（タッチセンサーで操作）

Amazon Alexaを使う

Google アシスタントを使う（声で起動）

音声アシスト機能（Siri）を使う

アプリを使う

“Sony | Headphones Connect”アプリでできること

“Sony | Headphones Connect”アプリをインストールする

“Sony | Headphones Connect”アプリからサポート情報を見る

ソフトウェアを最新の状態に保つ方法（快適にご使用いただくために）

サービスとの連携でできること

サービスとの連携でできること

お知らせ

使用上のご注意

使い終わったら

お手入れ

水ぬれによる焼損や故障を防ぐために

ヘッドセットや充電ケースが水にぬれてしまった場合は

ライセンスについて

商標について

保証書とアフターサービス

電話・ファックスで問い合わせる

サポートホームページで調べる

困ったときは

故障かな？と思ったら

電源／充電

- 電源が入らない
- 充電できない、充電時間が長い
- 使用時間が短い、電池の持ちが悪い、左右の電池持続時間が違う

音（音声）

- 音が出ない、片側から音が出ない
- 音が小さい
- ノイズや異音が聞こえる
- 音が途切れやすい
- 音質が悪い
- ノイズキャンセリング効果が得られない

操作

- ヘッドセットを操作できない

Bluetooth接続

- Bluetooth機器と機器登録（ペアリング）できない
- Bluetooth接続ができない
- 通話相手の声が聞こえない・声が小さい、通話相手に声が届かない・声が小さい
- LE Audio接続できない
- Classic Audio接続に戻せない

その他

- イヤーピースが破損した、紛失した
- 耳が痛くなる

ヘッドセットをリセット・初期化する

- リセットする
- 初期化する

主な仕様

主な仕様

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

Bluetooth機能でできること

ヘッドセットではBluetooth技術を使って以下のようなことができます。

音楽を聞く

スマートフォンや音楽プレーヤーなどからワイヤレスで音楽を楽しめます。



通話する

スマートフォンや携帯電話をカバンやポケットの中に入れたまま、ハンズフリーで通話ができます。



関連項目

- Bluetooth接続をするには

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

音声ガイダンスについて

お買い上げ時の状態では、ヘッドセットを耳に装着すると日本語の音声ガイダンスが流れます。
“Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、音声ガイダンスの言語の変更やオン／オフの切り替え、音量設定ができます。詳しくは、“Sony | Headphones Connect”アプリのヘルプガイドをご覧ください。
https://rd1.sony.net/help/mdr/hpc/h_zz/

- お買い上げ後に初めて機器登録（ペアリング）するときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットにペアリング情報がない場合）に、ヘッドセットを耳に装着して自動的にペアリングモードになったとき／手動でペアリングモードにしたヘッドセットを耳に装着したとき：「ペアリングモード」
- ヘッドセットの充電式電池の残量が少なくなったとき：「バッテリーが少なくなりました」
- ヘッドセットの充電式電池の残量が少なくなって自動的に電源が切れるとき：「バッテリーがなくなりました」
- 音声ガイダンスの音量を設定したとき：「テスト音声です」
- Google アシスタントを設定した側のヘッドセットを操作しても、ヘッドセットに接続したスマートフォンでGoogle アシスタントが使用できないとき：「Google アシスタントが接続されていません」
- Amazon Alexaを設定した側のヘッドセットを操作しても、ヘッドセットに接続したスマートフォンでAmazon Alexaが使用できないとき：「モバイルデバイスが接続されていないか、Alexaアプリを起動して再度お試しください」
- LE Audio接続中に音声アシスタントの操作をしたとき：「［音声アシスタント］は使用できません。Headphones Connectを開いて、［音声アシスタント］の設定を確認してください。」
- “Sony | Headphones Connect”アプリで［2台の機器と同時に接続］をオン、［ヘッドホンのLE Audio接続設定］を［LE Audio優先］に設定している場合に、Classic Audio接続からLE Audio接続に切り替わるとき：「マルチポイント接続が使用できなくなりました。Headphones Connectを開いて、［2台の機器との同時接続］の設定を確認してください。」
- サービスとの連携がオフでQuick Accessが使用できないとき：「Headphones Connectを起動し、サービスとの連携をオンにしてください」
- Quick Accessを設定した側のヘッドセットを操作しても、対応するアプリが起動していないとき：「Quick Accessに割り当てたアプリが起動していません」
- LE Audio接続中にQuick Accessの操作をしたとき：「Quick Accessは使用できません。Headphones Connectを開いて、［サービス］タブを確認してください。」
- セーフボリュームコントロールが開始したとき：「セーフボリュームコントロールにより、音量を制限します。」

ご注意

- 音声ガイダンスの言語を変更する場合は、最大で約20分かかります。
- 音声ガイダンスの言語を変更した状態でヘッドセットを初期化しても、言語は初期状態に戻りません。
- 音声ガイダンスの言語変更やヘッドセットのソフトウェアアップデートを行った後に音声ガイダンスが聞こえなくなった場合は、いったんヘッドセットを充電ケースにセットし、ふたを閉めて電源を切ってから、もう一度ヘッドセットを取り出して電源を入れてください。

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

箱の中身を確認する

箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。
（ ）内は個数を示します。

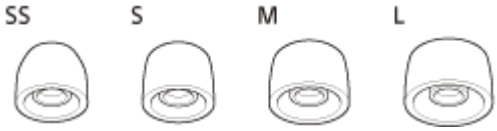
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット（1）

USB Type-C®ケーブル（USB-A - USB-C®）（約20 cm）（1）



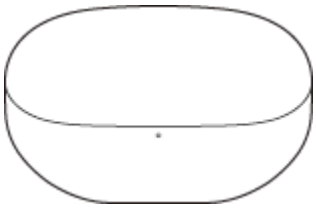
ノイズアイソレーションイヤーピース（SS/S/M/L 各2）

- お買い上げ時には、Mサイズのイヤーピースが左右のヘッドセットに装着されています。
  イヤーピースのサイズは、イヤーピースの内側の色で見分けます。



SSサイズ：赤色
Sサイズ：オレンジ色
Mサイズ：緑色
Lサイズ：水色

充電ケース（1）



印刷物（一式）

ご注意

- イヤーピースは消耗品です。イヤーピースが破損し交換する場合はソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談いただくか、別売のEP-NI1010シリーズをお買い求めください。

関連項目

- イヤーピースが破損した、紛失した

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

イヤーピースを交換する

お買い上げ時には、Mサイズのイヤーピースが左右のヘッドセットに装着されています。
イヤーピースのサイズが耳の穴の大きさに合っていなかったり、ヘッドセットが耳に正しく装着できていないと、タップ操作やスピーク・トゥ・チャットの音声検出が失敗したり、正しい音質、ノイズキャンセリング効果、通話性能が得られない可能性があります。
その場合は、以下をお試しください。

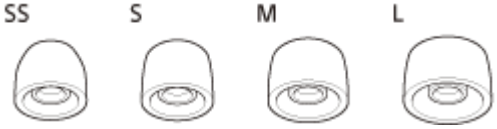
- より密閉感が高いと感じられるイヤーピースに交換してください。イヤーピースを交換するときは、大きめのイヤーピースからお試しください。最適なイヤーピースのサイズは、左右の耳で異なる場合があります。
- “Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、ノイズキャンセリング機能や音質などを最大限に発揮するために最適なイヤーピースを判定することができます。
- ヘッドセットが耳に正しく装着できているか確認してください。また、イヤーピースがより耳の奥に入るよう装着してください。

ヒント

- 最適なイヤーピースを判定する機能は、イヤーピースの密閉状態を測定し、ヘッドセットが耳に正しく装着されているかを判定します。快適に装着できるものを選択してください。

ノイズアイソレーションイヤーピース

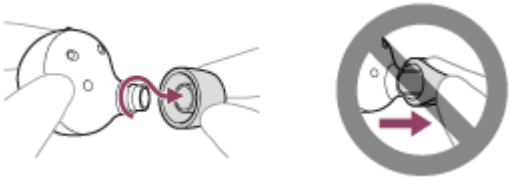
イヤーピースのサイズは、イヤーピースの内側の色で見分けます。



SSサイズ：赤色
Sサイズ：オレンジ色
Mサイズ：緑色
Lサイズ：水色

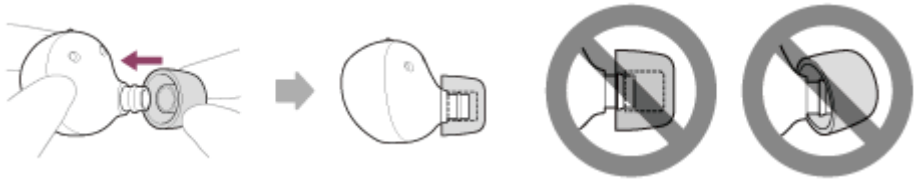
1 イヤーピースを外す。

ヘッドセットを持ち、イヤーピースをねじりながら、回転させて引き抜いてください。
イヤーピースの端をつまんで引っ張らないでください。



2 イヤーピースを取り付ける。

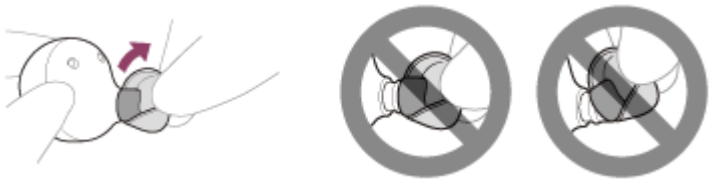
イヤーピースをヘッドセットの音導管（音出口の筒部）の奥までしっかり押し込んでください。イヤーピースを斜めに取り付けないでください。



イヤーピースが完全に取り付けられていない場合は、ヘッドセットから外れる恐れや、音質・ノイズキャンセリング性能・装着性などが損なわれる可能性があります。

3 イヤーピースが正しく取り付けられているか確認する。

イヤーピースをめくり、イヤーピースの軸がヘッドセットの音導管の奥まで取り付けられているかを確認してください。



ご注意

- イヤーピースは消耗品です。
- 水洗いやウェットティッシュ、アルコール等の有機溶剤の使用は早期劣化の原因となりますので、必ず避けてください。



- イヤーピースは、長期の使用、保存により劣化します。亀裂、剥がれ、欠けなどの劣化が見られた場合は、使用を控えてください。
  劣化すると音質、ノイズキャンセリングなどの性能が発揮できなくなり、さらに使用中にイヤーピースが耳の中に残り、けがや病気の原因になることがあります。
- 耳によりフィットするため、耳への負担が大きくなる恐れがあります。違和感のある場合には、使用を中止してください。
- 発泡ウレタン部分だけを引っ張らないでください。イヤーピースから分離すると、機能しなくなります。
- 発泡ウレタン部分に力を加えたまま長時間放置しないでください。変形して元に戻りにくくなる恐れがあります。
- イヤーピースが汚れた場合は水洗いを避け、乾いた布などで軽く拭いて取り除いてください。その際には、アルコールなどは使用しないでください。早期劣化の原因となります。
- 水にぬれてしまった場合などは水気を切り、乾燥したことを確認してからご使用・保存してください。
- 発泡ウレタン部分の穴の大小は音質に影響ありません。
- 装着時、耳の中でプチ音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 気温が低い場合は発泡素材が硬くなることがあります。手で少し温めてご使用ください。
- 気温や使用温度が高い場合は発泡ウレタンの復元が遅い場合があります。
- 低音を感じられなくなってきたら（本来の音質を感じられなくなってきたら）、交換してください。

関連項目

- ヘッドセットを装着する

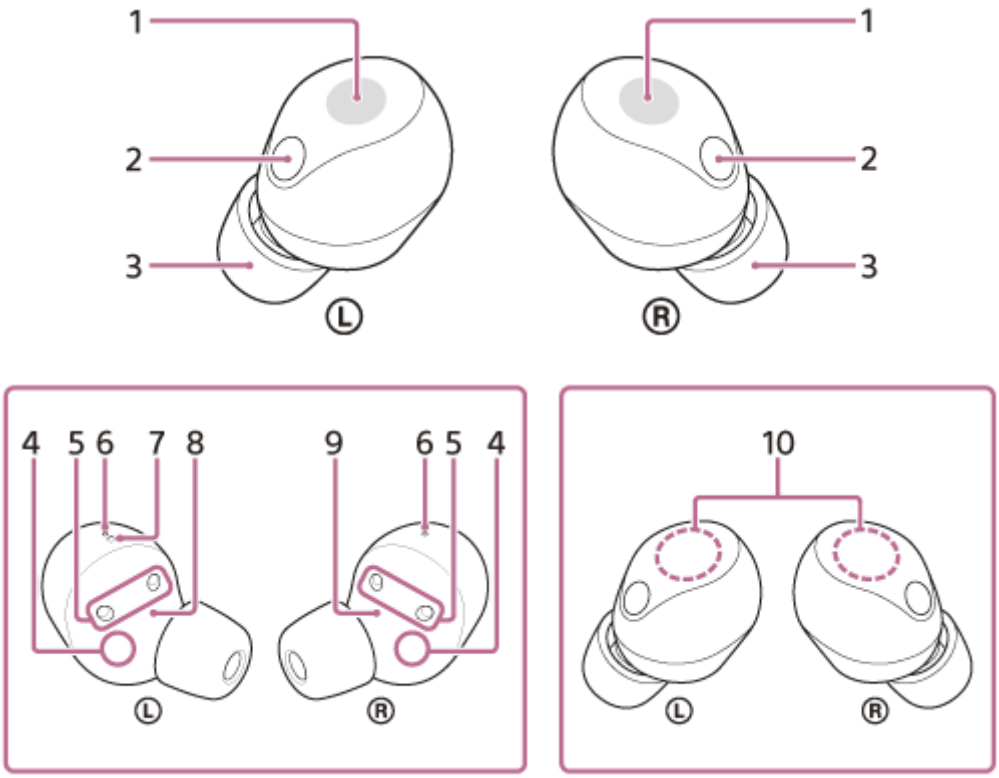
- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること
- お手入れ

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

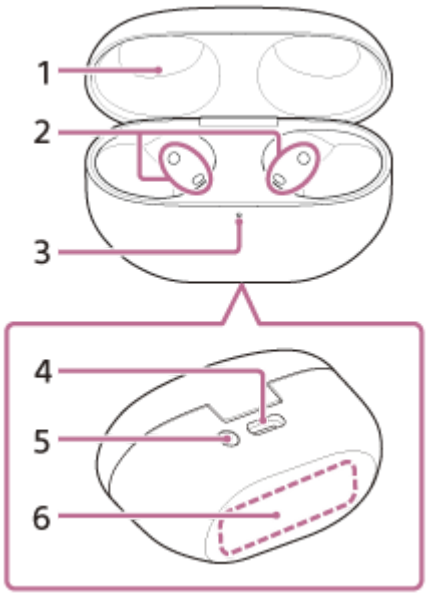
各部の名前

ヘッドセット



1. タッチセンサー（左、右）
2. マイク（左、右）
   通話時やスピーク・トゥ・チャットモード時の声の収音や、ノイズキャンセリング機能、外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）使用時のノイズの収音を行います。
3. イヤーピース（左、右）
4. IRセンサー（左、右）
5. 充電端子（左、右）
6. 通気孔（左、右）
7. 凸点（突起）
   L側のヘッドセットには凸点（突起）がついています。
8. Ⓛ （左）マーク
9. Ⓡ （右）マーク
10. 内蔵アンテナ（左、右）

充電ケース



1. ふた

2. 充電端子（左、右）

3. ランプ（緑／オレンジ／青）
ヘッドセットや充電ケースの充電式電池残量や充電状態、機器登録（ペアリング）モードの状態などを表示します。

4. USB Type-C端子
付属のUSB Type-Cケーブルで、充電ケースをパソコンにつなぐか、別売のUSB ACアダプターを使って電源コンセントにつないで、ヘッドセットと充電ケースを同時に充電します。

5. ペアリング／リセット／初期化ボタン
ペアリングモードにするときや、ヘッドセットをリセットしたり初期化したりするときに使用します。

6. Qi「チー」充電接触面

関連項目

- ランプ表示
- 充電式電池の残量を確認する

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

ランプ表示

ヘッドセット／充電ケースの動作状態を充電ケースのランプで確認できます。
● ：緑色点灯／ ● ：オレンジ色点灯／ ● ：青色点灯／- ：消灯

充電式電池の残量表示

両側のヘッドセットを充電ケースにセットしている場合：左右のヘッドセットのうち、残量が少ない方の充電式電池の残量を表示します。
片側のヘッドセットのみ充電ケースにセットしている場合：セットされているヘッドセットの充電式電池の残量を表示します。
両側のヘッドセットを充電ケースから取り出している場合：充電ケースの充電式電池の残量を表示します。

充電ケースのふたを開けたとき、ふたを閉めたとき、あるいは充電が終了してUSB Type-Cケーブルを外したときに、充電式電池の残量により以下のように表示されます。

- ヘッドセットが充電ケースにセットされ、ヘッドセットの充電式電池の残量が95%以上のとき／ヘッドセットが充電ケースにセットされておらず、充電ケースの充電式電池の残量が31%以上のとき
  ●- - - - - - -（約6秒間緑色点灯）
- ヘッドセットが充電ケースにセットされ、ヘッドセットの充電式電池の残量が94%～1%のとき／ヘッドセットが充電ケースにセットされておらず、充電ケースの充電式電池の残量が30%～1%のとき
  ●- - - - - - -（約6秒間オレンジ色点灯）
- ヘッドセットが充電ケースにセットされ、ヘッドセットの充電式電池の残量が1%未満のとき／ヘッドセットが充電ケースにセットされておらず、充電ケースの充電式電池の残量が1%未満のとき
  - - - - - - -（消灯）

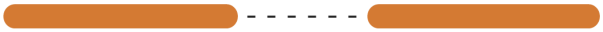
ヘッドセットを充電ケースから取り出したとき、充電ケースにセットしたときに、充電式電池の残量により以下のように表示されます。

- ヘッドセットが充電ケースにセットされ、ヘッドセットの充電式電池の残量が95%以上のとき／ヘッドセットが充電ケースにセットされておらず、充電ケースの充電式電池の残量が31%以上のとき
  ●- - - - - - -（約3秒間緑色点灯）
- ヘッドセットが充電ケースにセットされ、ヘッドセットの充電式電池の残量が94%～1%のとき／ヘッドセットが充電ケースにセットされておらず、充電ケースの充電式電池の残量が30%～1%のとき
  ●- - - - - - -（約3秒間オレンジ色点灯）
- ヘッドセットが充電ケースにセットされ、ヘッドセットの充電式電池の残量が1%未満のとき／ヘッドセットが充電ケースにセットされておらず、充電ケースの充電式電池の残量が1%未満のとき
  - - - - - - -（消灯）

充電の状態

- ヘッドセット充電中／充電ケース充電中
  ●（オレンジ色点灯）
- ヘッドセット／充電ケースの充電開始時に満充電だったとき
  ●- - - - -（約1分間オレンジ色点灯後、消灯）

- 満充電になり充電が完了したとき
  - - - - - - - -（消灯）

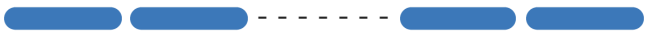
- 充電中に充電ケースのふたを開閉したとき／ヘッドセットを充電ケースにセットしたり取り出したりしたとき
  （充電中はオレンジ色点灯。約0.5秒間消灯後、オレンジ色再点灯）

- 充電温度異常
  （約1秒間隔で2回ずつオレンジ色点滅を繰り返す）

- 充電時に異常があり、充電できていないとき
  （約0.5秒間隔で遅いオレンジ色点滅を繰り返す）

- ヘッドセットのL側／R側の組み合わせ異常
  （約1.3秒間隔で3回ずつオレンジ色点滅を繰り返す）

Bluetooth接続状態

- 機器登録（ペアリング）モード
  （2回ずつ青色点滅を繰り返す）

- 接続完了
  ...（10回青色点滅）
  片側または両側のヘッドセットが充電ケースにセットされている場合に表示します。

その他

- ソフトウェア自動アップデート中に充電ケースのふたを開けたとき
  （約0.6秒間隔でオレンジ色と青色点滅を繰り返す）

- リセット開始準備／初期化開始準備
  （充電ケース背面のリセット／初期化ボタンを押し始めてから約15秒後に、約0.7秒間隔で最大5秒間遅いオレンジ色点滅を繰り返す）
  詳しくは、「リセットする」、「初期化する」をご覧ください。

- 初期化完了
  （約0.3秒間隔で4回緑色点滅）
  詳しくは、「初期化する」をご覧ください。

ヒント

- ヘッドセット装着時の動作状態は、通知音や音声ガイダンスで確認できます。

関連項目

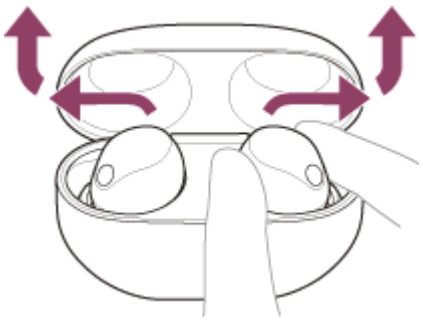
- 充電する
- 充電式電池の残量を確認する
- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること
- 電話・ファックスで問い合わせる
- ソフトウェアを最新の状態に保つ方法（快適にご使用いただくために）
- リセットする
- 初期化する
- 音声ガイダンスについて

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

ヘッドセットを装着する

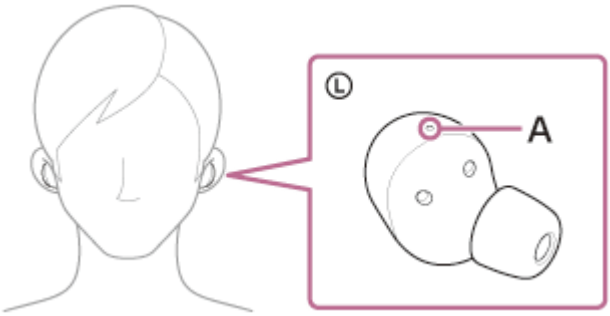
1 ヘッドセットを横に倒し、充電ケースから取り出す。



自動的に電源が入ります。

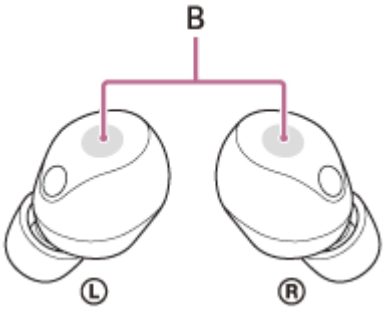
2 ヘッドセットを耳に装着する。

Ⓛ（左）マーク表示のあるほうを左耳に、 Ⓡ（右）マーク表示のあるほうを右耳に装着します。L側には凸点（突起）がついています。



A : 凸点（突起）

ヘッドセットを耳に装着するときは、タッチセンサーに触れないように注意してください。



B : タッチセンサー（左、右）

3 ヘッドセットが耳にフィットするように調整する。

ヘッドセットを回転させて耳穴をしっかりと塞ぎ、装着感のよい位置に調整してください。



4 イヤーピースの形状が安定するまで10秒程度待つ。

ヒント

- イヤーピースが入れにくい場合はサイズを変更するか、イヤーピースを軽く潰して装着してください。
- ヘッドセットを装着するときや、装着位置を調整するときのヘッドセットの持ちかたは手順 3 のイラストを参照してください。

正しい音質、ノイズキャンセリング効果、通話品質などを発揮するために

イヤーピースのサイズが耳の穴の大きさに合っていなかったり、ヘッドセットが耳に正しく装着できていないと、タップ操作やスピーク・トゥ・チャットの音声検出が失敗したり、正しい音質、ノイズキャンセリング効果、通話性能が得られない可能性があります。
その場合は、以下をお試しください。

- より密閉感が高いと感じられるイヤーピースに交換してください。イヤーピースを交換するときは、大きめのイヤーピースからお試しください。最適なイヤーピースのサイズは、左右の耳で異なる場合があります。
- “Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、ノイズキャンセリング機能や音質などを最大限に発揮するために最適なイヤーピースを判定することができます。
- 手順 3 を参照して、ヘッドセットが耳に正しく装着できているか確認してください。また、イヤーピースがより耳の奥に入るよう装着してください。

ヒント

- 最適なイヤーピースを判定する機能は、イヤーピースの密閉状態を測定し、ヘッドセットが耳に正しく装着されているかを判定します。快適に装着できるものを選択してください。

ヘッドセットを装着したり取り外したりすると

お買い上げ時の設定では、ヘッドセットを耳に装着したり耳から取り外したりすると、ヘッドセットに内蔵されたIRセンサーがそれを感知して、再生の一時停止や再開をしたり、タッチセンサーや音声ガイダンスを制御したりします。

ヘッドセットを装着すると

- タッチセンサーで音楽再生や通話などの操作ができます。
- 操作や状態に応じた通知音や音声ガイダンスが流れます。

ヘッドセットを取り外すと

- ヘッドセットを両耳に装着して音楽を再生しているときに、片側または両側のヘッドセットを取り外すと音楽の再生を一時停止します。もう一度耳に装着すると再生を再開します。
- 電池を節約するため、ヘッドセットを充電ケースから取り出して耳に装着しない状態が約15分間続くと、自動的に電源が切れます。タッチセンサーをタップするか、ヘッドセットを耳に装着すると電源が入ります。
- 誤動作を防止するため、耳に装着されていないヘッドセットのタッチセンサーをタップしても再生や通話などの操作はできません。

ヒント

- 片側のヘッドセットだけを耳に装着して音楽を再生したり通話したりすることもできます。

- “Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、音楽の再生を自動的に一時停止したり再開したりする設定や、自動的にヘッドセットの電源を切ったりする設定を変更できます。

関連項目

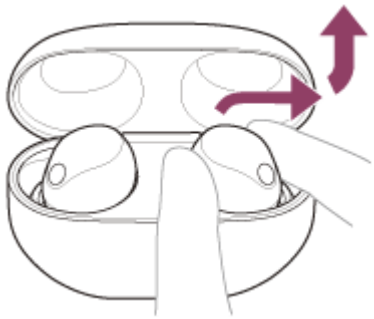
- イヤーピースを交換する
- 片側のヘッドセットだけを使う
- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

片側のヘッドセットだけを使う

充電ケースから片側だけを取り出して使うことができます。
この場合、取り出した側のヘッドセットだけに電源が入ります。



もう片側のヘッドセットを装着すると

自動的に左右のヘッドセットが接続され、両側から音楽や通話の音声が聞こえます。

タッチセンサーへの機能の割り当てについて

装着する側によっては、出荷時の設定では操作できない機能があります。この場合、“Sony | Headphones Connect”アプリを使ってタッチセンサーへの機能の割り当てを変更できます。

ヒント

- お買い上げ時はR側に音楽再生機能が設定されています。
  片耳で音楽を聞く際、R側だけを耳に装着している場合は、R側のタッチセンサーで音楽再生の操作ができます。
  L側だけを耳に装着している場合は、接続機器側で音楽再生の操作をしてください。
- 音楽などのステレオ音声を片側だけで聞く場合、左右のチャンネルを合成した音声が聞こえます。
- 片側のヘッドセットだけを耳に装着している場合でも通話ができます。着信したら、装着している側のヘッドセットを操作して電話を受けます。片側のヘッドセットで通話中にもう片側のヘッドセットを耳に装着すると、両耳で通話できます。

関連項目

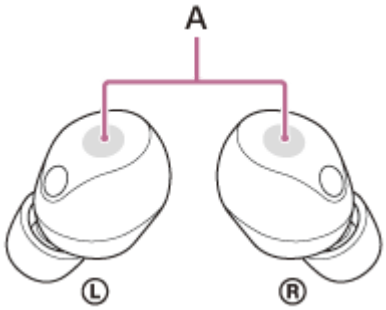
- 音楽再生時にできること（Bluetooth接続）
- 通話時にできること
- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

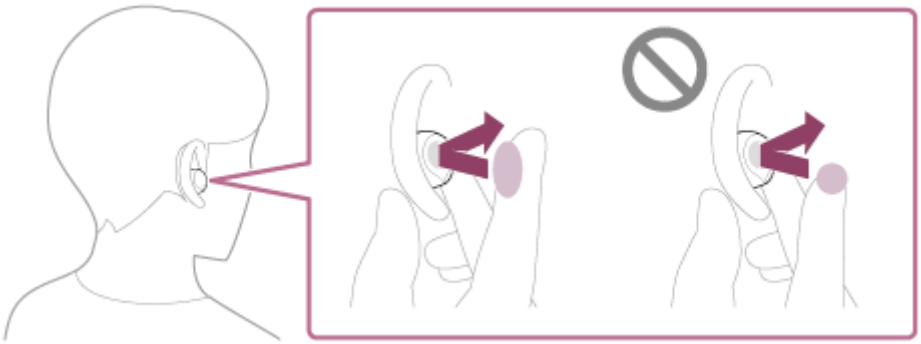
タッチセンサーについて

ヘッドセットのタッチセンサーをタップして、再生や通話、ノイズキャンセリング機能の切り替えなど、さまざまな操作ができます。



A： タッチセンサー（左、右）

タッチセンサーをタップするときは、タッチセンサー中央部を人差し指の腹を使ってタップしてください。



主な操作

	L側	R側
タップする	ノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）の切り替え	再生／一時停止
2回タップする	受話／終話	次の曲の頭出し 受話／終話
3回タップする	ー	前（再生中）の曲の頭出し
4回以上タップする	音量を下げる	音量を上げる
触れたままにする	クイックアテンションモードを使用する	音声アシスト機能（Googleアプリ／Siri）の起動／解除

ヒント

- タッチセンサーを複数回タップするときは、約0.3秒の間隔でタップを繰り返します。

- “Sony | Headphones Connect”アプリを使うと、左右のタッチセンサーに割り当てる機能を変更できます。たとえば、お買い上げ時はR側のタッチセンサーに割り当てられている再生の操作を、L側のタッチセンサーに変更することができます。
  また、機能を割り当てない設定もできます。

ご注意

- ヘッドセットを耳に装着しないと、タッチセンサーは操作できません。“Sony | Headphones Connect”アプリで装着検出による自動電源オフ機能を無効にすると、ヘッドセットを耳に装着していない状態でもタッチセンサーを操作できます。
- スマートフォンでGoogle アシスタントの初期設定を行った場合、タッチセンサーへの機能の割り当てが自動的に変更されることがあります。
  “Sony | Headphones Connect”アプリ上でタッチセンサーへの機能の割り当てをご確認ください。
- スマートフォンでAmazon Alexaの初期設定を行った場合、タッチセンサーへの機能の割り当てが自動的に変更されることがあります。
  “Sony | Headphones Connect”アプリ上でタッチセンサーへの機能の割り当てをご確認ください。

関連項目

- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること
- 音楽再生時にできること（Bluetooth接続）
- 通話時にできること

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

Quick Access（クイックアクセス）を使う

Quick Accessは、ヘッドセットのタッチセンサーをタップするだけで、対応するアプリでコンテンツを再生することができる機能です。

1. **ヘッドセットを耳に装着して、スマートフォンとBluetooth接続する。**

2. **“Sony | Headphones Connect”アプリを起動し、Quick Accessに連携したいサービスを割り当てる。**

   ［ダブルタップ］と［トリプルタップ］に異なるサービスを割り当てることができます。
   “Sony | Headphones Connect”アプリについて詳しくは、下記URLをご覧ください。
   https://rd1.sony.net/help/mdr/hpc/h_zz/

3. **Quick Accessに割り当てたサービスのアプリを起動する。**

4. **L側のタッチセンサーをタップして、Quick Accessを使う。**

   タップの回数により、［ダブルタップ］または［トリプルタップ］に割り当てたサービスを実行できます。

ヒント

- Quick Accessは、タッチセンサーにノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）の切り替えの機能を割り当てている側のヘッドセットで使用できます。お買い上げ時はL側に設定されています。“Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、左右のタッチセンサーへの機能の割り当てを変更できます。
- Quick Accessを使うには、対応するスマートフォンアプリのインストールとインターネット接続が必要です。アプリによってはサインインが必要です。
- 最新のQuick Accessの仕様について詳しくは、“Sony | Headphones Connect”アプリの［サービス］タブをご覧ください。
- Quick Accessは［ダブルタップ］と［トリプルタップ］に同じサービスを割り当てることもできます。
- タッチセンサーをタップしても、対応するアプリが起動していないときは、両側のヘッドセット（片側だけを装着している場合は装着している側）から音声ガイダンス「Quick Accessに割り当てたアプリが起動していません」が流れます。

ご注意

- 国や地域によってQuick Accessに割り当てることができるサービスが異なります。

関連項目

- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること
- サービスとの連携でできること

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

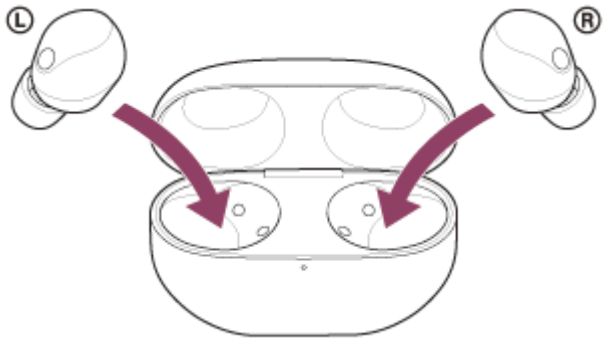
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

充電する

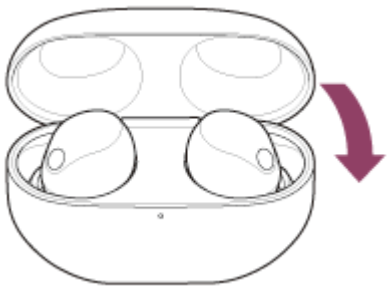
ヘッドセットと充電ケースは充電式リチウムイオン電池を内蔵しています。付属のUSB Type-Cケーブルを使って充電してからお使いください。

1 ヘッドセットを充電ケースにセットする。

L側（凸点のついた側）のヘッドセットを充電ケースの左側のくぼみに、R側を右側のくぼみに戻します。充電ケースに内蔵された磁石により、ヘッドセットは充電ケースの正しい位置に収まります。

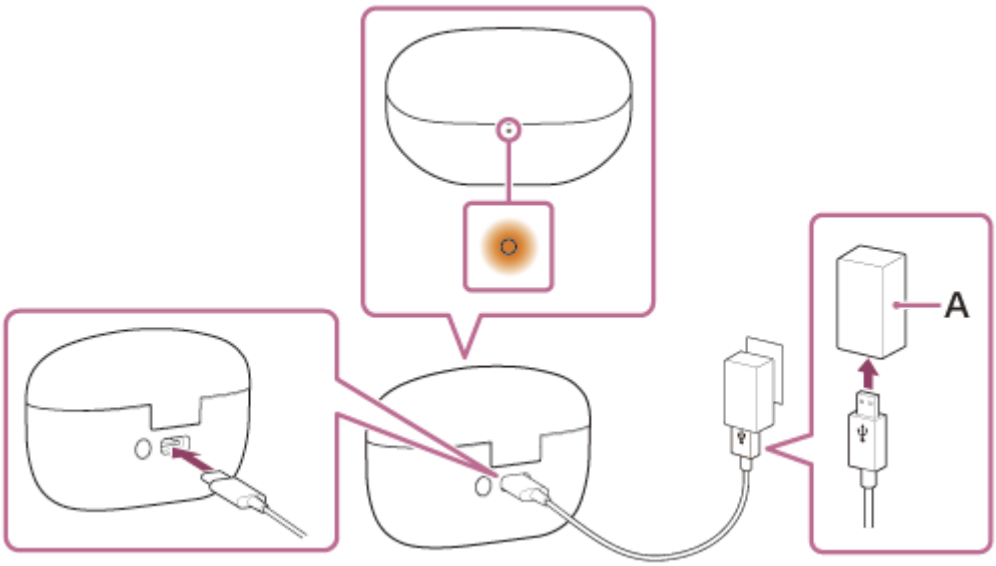


充電ケースの充電式電池に残量がある場合は、充電ケースのランプ（オレンジまたは緑）が約3秒間点灯します。ヘッドセットの充電が始まります。充電ケースのふたを閉めてください。



2 充電ケースを電源コンセントにつなぐ。

付属のUSB Type-Cケーブルと別売のUSB ACアダプター（推奨：AC-UD20）を使用します。



A : USB ACアダプター

ヘッドセットと充電ケースの充電を開始します。充電ケースのランプ（オレンジ）が点灯します。
充電が完了すると、充電ケースのランプが消灯します。
USB Type-Cケーブルを外してください。

充電時間について

ヘッドセットと充電ケースの満充電に要する時間は、約2時間*です。

* 充電式電池の残量がない状態から、満充電するのにかかる時間です。充電時間は使用条件により変わる場合があります。

外出先でヘッドセットを充電する

充電ケースには充電式電池が内蔵されています。充電ケースを充電しておくと、外出先などで電源がない場合もヘッドセットを充電できます。
ヘッドセットL側／R側の満充電に要する時間は、約1.5時間です。

USB充電の推奨環境

- **推奨のUSB ACアダプター**
  AC-UD20（別売）
- **市販のUSB ACアダプター**
  出力電流0.5 A（500 mA）以上が供給可能な市販のUSB ACアダプター
- **パソコン**
  USB端子が標準装備されたパソコン
  - すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。
  - 自作パソコンは動作保証対象外です。

ワイヤレス充電

このヘッドセットはQi「チー」規格のワイヤレス充電器に対応しています。Qi規格適合のワイヤレス充電器を使用してください。
充電ケースのふたを閉めて、ワイヤレス充電器に充電ケースのSONYロゴを上に向けて置いて充電してください。
充電接触面の位置は、「各部の名前」をご覧ください。
また、充電する際はワイヤレス充電器に付属されている取扱説明書をご覧ください。

ヒント

- 付属のUSB Type-Cケーブルを使って充電ケースを起動中のパソコンに接続しても充電できます。

ご注意

- USB充電する際は、必ず付属のUSB Type-Cケーブルを使用してください。別のケーブルを使用すると充電できない場合があります。
- USB ACアダプターの機種によっては、充電できない場合があります。
- 左右のうち片側のヘッドセットは、メインのヘッドセットとして動作するため、もう片側よりも早く充電式電池を消費します。そのため左右のヘッドセットの充電時間に差が出ますが、故障ではありません。
  「メインのヘッドセット」は、使用環境に応じて左右どちらにもなり得ます。
- パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になると充電できなくなります。この場合はパソコンの設定を変更して、充電し直してください。
- 左右のヘッドセットを充電ケースから取り出したときに充電ケースのランプ（オレンジ）が約3秒間点灯後消灯する場合は、充電ケースの充電式電池の残量が少なくなっています。充電ケースを充電してください。
- 左右のヘッドセットを充電ケースから取り出したときに充電ケースのランプが点灯しない場合は、充電ケースの充電式電池の残量がありません。充電ケースを充電してください。
- 長い間使わなかったときは、充電式電池の持続時間が短くなることがあります。充電と放電を何度か繰り返すと、充分に充電できるようになります。長期にわたって保存する場合は、過放電防止のため、半年に1回程度の充電を行ってください。
- 長い間使わなかったときは、充電時間が長くかかる場合があります。
- 充電ケースのふたが開いていると充電ケースの充電式電池を消費しますので、充電ケースのふたは必ず閉めておいてください。
- ヘッドセットや充電ケースの充電式電池に問題がある場合、充電中に異常を検知すると充電ケースのランプ（オレンジ）が点滅します。また、ワイヤレス充電時は、お使いの充電器によって、高温時・低温時に充電速度が遅くなったり、充電が停止したりする場合があります。
  周囲の温度が15 ℃～30 ℃の範囲で充電することをおすすめします。この範囲を超えると、効率良く充電できない可能性があります。
  それでも問題が解決しない場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。
- ヘッドセットを長期間お使いにならなかった後に充電を行った場合、充電ケースのランプ（オレンジ）がすぐに点灯しない場合があります。ランプ（オレンジ）が点灯するまでしばらくお待ちください。
- 電池の持続時間が極端に短くなった場合は、充電式電池の交換時期です。ソニーの修理相談窓口にご相談ください。
- 急激な温度変化や、直射日光、霧、砂、ほこりや電気的な衝撃を避けてください。また駐車中の車内には、絶対に放置しないでください。
- 充電ケースをパソコンと接続するときは付属のUSB Type-Cケーブルのみを使い、必ず直接つないでください。USBハブなどを経由して接続すると、正しく充電されません。
- 火災、やけど、けが、感電などの原因となりますので、ワイヤレス充電をするときは下記にご注意ください。
  - ワイヤレス充電器や充電ケースに金属製のもの（金属を含む材質のシールなど）を貼り付けない。
  - 充電ケースに装着しているカバーなどは取り外し、ワイヤレス充電器の上に金属製のもの（金属を含む材質のストラップやクリップなど）を置かない。
  - ワイヤレス充電中に異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は、安全に注意し、ワイヤレス充電器から充電ケースを取り外す。
- 植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、ワイヤレス充電器のご使用にあたって医師とよく相談してください。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
- ICカード、磁気カードや磁気を帯びたものをワイヤレス充電器に近づけないでください。ICカードが故障する恐れがあります。キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。また、強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- ワイヤレス充電時は、充電ケースの置き位置がずれると、充電速度が遅くなったり、充電が停止したりする場合があります。
- お使いのワイヤレス充電器によっては、充電中・充電後しばらくヘッドセットおよび充電ケースが温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 次のような場所では、ワイヤレス充電しないでください。
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所、一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 毛布などを被せた状態でワイヤレス充電器を使用しないでください。
- ワイヤレス充電中にテレビやラジオから雑音が聞こえる場合は、テレビやラジオから離れた場所で充電してください。

- ワイヤレス充電時、周辺に他の無接点充電対応機器がある場合は、30 cm以上離してください。充電ケースが正しく検出されず、充電できない可能性があります。

関連項目

- ランプ表示
- 充電式電池の残量を確認する
- 電話・ファックスで問い合わせる

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

使用可能時間

満充電時の使用可能時間は以下のとおりです。

Bluetooth接続

連続音楽再生

コーデック	ノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）	使用可能時間
LDAC™	ノイズキャンセリング機能：オン	最大5時間
LDAC	外音取り込み機能：オン	最大5時間
LDAC	オフ	最大8時間
AAC	ノイズキャンセリング機能：オン	最大8時間
AAC	外音取り込み機能：オン	最大8時間
AAC	オフ	最大12時間
SBC	ノイズキャンセリング機能：オン	最大8時間
SBC	外音取り込み機能：オン	最大8時間
SBC	オフ	最大12時間
LC3	ノイズキャンセリング機能：オン	最大7時間
LC3	外音取り込み機能：オン	最大7時間
LC3	オフ	最大11時間

- 充電3分間で、約1時間の音楽再生が可能です。
- “Sony | Headphones Connect”アプリで以下の設定を行うと、電池の使用可能時間が上記より短くなります。
  - イコライザー
  - DSEE Extreme™
  - スピーク・トゥ・チャット
  - 音声で音声アシスト機能を起動させる機能
  - サービスとの連携

  上記の設定を同時に行うと、電池の使用可能時間はさらに短くなります。

連続通話

ノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）	使用可能時間
ノイズキャンセリング機能：オン	最大6時間
外音取り込み機能：オン	最大6時間
オフ	最大7時間

ヒント

- “Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、接続しているコーデックが確認できます。

ご注意

- 各種機能の設定や使用条件により、上記と実際の時間が異なる場合があります。
- 左右のうち片側のヘッドセットは、メインのヘッドセットとして動作するため、もう片側よりも早く充電式電池を消費します。
  そのため左右のヘッドセットの電池残量に差が出ますが、故障ではありません。
  「メインのヘッドセット」は、使用環境に応じて左右どちらにもなり得ます。

関連項目

- 対応コーデックについて
- DSEE Extremeについて
- ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）
- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

充電式電池の残量を確認する

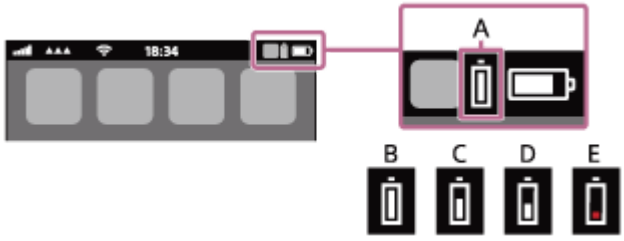
ヘッドセットと充電ケースの充電式電池の残量は、以下の方法で確認できます。

ヘッドセットを装着したとき、またはヘッドセットを使用中に充電式電池の残量が少なくなると

警告音が鳴って音声ガイダンス「バッテリーが少なくなりました」が流れたら、早めに充電してください。
残量が完全になくなると、警告音が鳴り、音声ガイダンス「バッテリーがなくなりました」が流れて、ヘッドセットの電源が自動的に切れます。

iPhone/iPod touchをお使いの場合

iPhone/iPod touchとHFP（Hands-free Profile）でBluetooth接続している間は、iPhone/iPod touchの画面にヘッドセットの充電式電池の残量を示すアイコンが表示されます。
表示位置は一例です。



A：ヘッドセットの充電式電池の残量
大まかな残量を10段階で表示します。B～Eは表示例です。
B：100%
C：70%
D：50%
E：10%以下（要充電）

iOS 11以降の場合は、iPhone/iPod touchのウィジェットにもヘッドセットの充電式電池の残量が表示されます。詳しくは、iPhone/iPod touchの取扱説明書をご覧ください。
なお、表示される残量は、実際の残量と異なる場合があります。おおよその目安として利用してください。

Android™搭載スマートフォン（OS 8.1以降）をお使いの場合

Android搭載スマートフォンとHFPでBluetooth接続している場合、スマートフォンでヘッドセットの充電式電池の残量を確認できます。詳しくは、Android搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
なお、表示される残量は、実際の残量と異なる場合があります。おおよその目安として利用してください。

充電ケースの充電式電池の残量を確認する

- 両側のヘッドセットを充電ケースから取り出したとき、あるいは充電ケースにヘッドセットが入っていない状態で充電ケースのふたを開閉したときに、充電ケースのランプ（オレンジ）が点灯する場合は、充電ケースの充電式電池の残量は約30%～1%です。この場合、ヘッドセットを充分に充電することができません。
- 両側のヘッドセットを充電ケースから取り出したとき、あるいは充電ケースにヘッドセットが入っていない状態で充電ケースのふたを開閉したときに、充電ケースのランプが点灯しない場合は、充電ケースの充電式電池の残量は1%未満です。この場合、充電ケースでヘッドセットを充電することはできません。

ヒント

- ヘッドセットの充電式電池の残量は、使いかたによっては、L側とR側で異なる場合があります。
  iPhone/iPod touchまたはAndroid搭載スマートフォンで充電式電池の残量を確認する場合、両側のヘッドセットをお使いのと

きは、残量が少ない方の残量が表示されます。片側のヘッドセットだけをお使いのときは、使用している側の残量が表示されます。

- ヘッドセットと充電ケースの充電式電池の残量は“Sony | Headphones Connect”アプリ上でも確認できます。Android搭載スマートフォン、iPhone/iPod touchとも対応しています。

ご注意

- スマートフォンとHFPで接続されていないと、充電式電池の残量が正常に表示されません。
- マルチポイント接続でiPhone/iPod touchまたはAndroid搭載スマートフォンを音楽用（A2DP）のみの接続にすると、充電式電池の残量が正常に表示されません。
- 長い間使わなかったときや、ソフトウェアアップデートの直後などは、充電式電池の残量が正しく表示されないことがあります。この場合は、充電と放電を何度か繰り返すと正しく表示されます。

関連項目

- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること
- ランプ表示

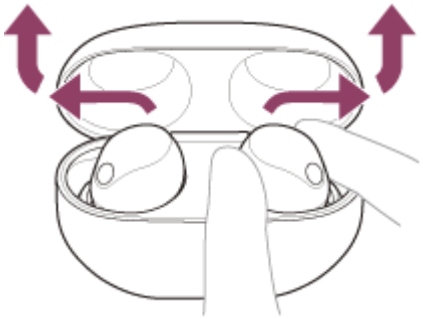
5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

ヘッドセットの電源を入れる

充電ケースにセットされているとき

1 **ヘッドセットを横に倒し、充電ケースから取り出す。**



自動的に電源が入ります。
片側だけを取り出すと、取り出したヘッドセットだけに電源が入ります。

充電ケースにセットされていないとき

ヘッドセットを充電ケースから取り出して耳に装着しない状態が約15分間続くと、自動的に電源が切れます。この場合は、ヘッドセットのタッチセンサーをタップするか、ヘッドセットを耳に装着すると電源が入ります。ヘッドセットを充電ケースに一度セットしてから取り出しても電源が入ります。
“Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、ヘッドセットの電源が自動的に切れないように設定を変更できます。

電源が入ると

充電ケースから両側のヘッドセットを取り出すと、L側とR側のヘッドセットが接続されます。
お買い上げ後初めてお使いになるときやヘッドセットを初期化した直後は、電源を入れるとBluetooth機器登録（ペアリング）モードになります。
Bluetooth接続されていないときにタッチセンサーをタップすると、ヘッドセットの電源が入っていることを知らせる通知音が鳴ります。
お買い上げ後初めてお使いになるときやヘッドセットを初期化した直後は、ヘッドセットを耳に装着すると、自動的にノイズキャンセリング機能がオンになります。
前回使用時にノイズキャンセリング機能の設定を変更していた場合、その設定が保持されます。

関連項目

- 片側のヘッドセットだけを使う
- ヘッドセットの電源を切る
- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること

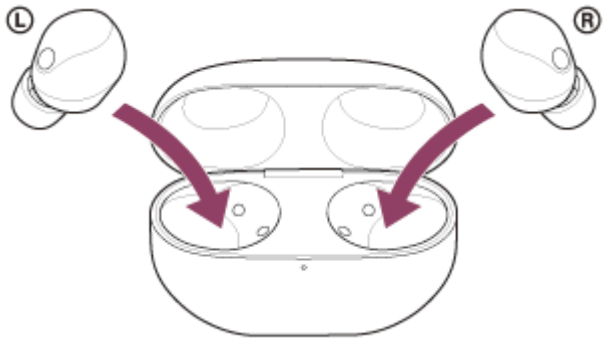
5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

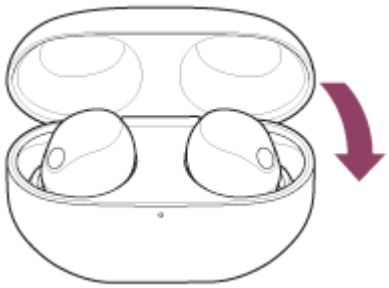
ヘッドセットの電源を切る

1 ヘッドセットを充電ケースにセットする。

L側（凸点のついた側）のヘッドセットを充電ケースの左側のくぼみに、R側を右側のくぼみに戻します。充電ケースに内蔵された磁石により、ヘッドセットは充電ケースの正しい位置に収まります。



充電ケースの充電式電池に残量がある場合は、充電ケースのランプ（オレンジまたは緑）が約3秒間点灯します。ヘッドセットの充電が始まります。充電ケースのふたを閉めてください。



ヘッドセットの電源が切れます。

ヘッドセットを取り出したままにしておくと

ヘッドセットを充電ケースから取り出して耳に装着しない状態が約15分間続くと、自動的に電源が切れます。
その前に電源を切るには、ヘッドセットを充電ケースにセットし、ふたを閉めます。
“Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、ヘッドセットの電源が自動的に切れないように設定を変更できます。

ヒント

- “Sony | Headphones Connect”アプリからヘッドセットの電源を切ることもできます。

ご注意

- 充電ケースの充電式電池に充分な残量がない場合は、ヘッドセットの充電が始まりません。充電ケースを充電してください。

関連項目

- 充電する
- ヘッドセットの電源を入れる
- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

Bluetooth接続をするには

Bluetooth機器に搭載されたBluetooth機能を使って音楽や通話をワイヤレスで楽しめます。

機器登録（ペアリング）

Bluetooth機能を使うには、あらかじめ、接続する互いの機器を登録しておく必要があります。この登録のことをペアリングといいます。
ヘッドセットと機器を操作してペアリングを行ってください。

ペアリング済みの機器と接続する

一度ペアリングすれば、再びペアリングする必要はありません。すでにヘッドセットとのペアリングが済んでいる機器それぞれの方法で接続してください。

ヒント

- LE Audio機能を楽しむ場合、ヘッドセットの設定を変更し、ペアリング済みのAndroid搭載スマートフォンとペアリングし直す必要があります。詳しくは、「Android搭載スマートフォンをLE Audioで機器登録（ペアリング）してから接続する」をご覧ください。

関連項目

- Android搭載スマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続する
- Android搭載スマートフォンをLE Audioで機器登録（ペアリング）してから接続する
- iPhoneを機器登録（ペアリング）してから接続する
- ウォークマン®を機器登録（ペアリング）してから接続する
- ウォークマン®を機器登録（ペアリング）してから接続する（Android搭載モデル）
- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows® 11）
- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 10）
- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Mac）
- Bluetooth機器を機器登録（ペアリング）してから接続する
- 機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する
- 機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する
- 機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する
- 機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する（Android搭載モデル）
- 機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 11）
- 機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 10）
- 機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Mac）
- 機器登録（ペアリング）済みのBluetooth機器と接続する

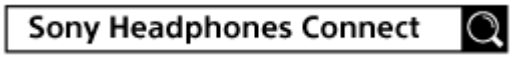
5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

“Sony | Headphones Connect”アプリを使って接続する

お使いのAndroid搭載スマートフォン／iPhoneで“Sony | Headphones Connect”アプリを起動して、ヘッドセットとスマートフォンやiPhoneを接続できます。詳しくは、“Sony | Headphones Connect”アプリのヘルプガイドをご覧ください。
https://rd1.sony.net/help/mdr/hpc/h_zz/





ヒント

- 2台目以降の機器を機器登録（ペアリング）する際は、“Sony | Headphones Connect”アプリでヘッドセットをペアリングモードにすることができます。詳しくは、“Sony | Headphones Connect”アプリのヘルプガイドをご覧ください。

ご注意

- “Sony | Headphones Connect”アプリを使って接続したときに、一部のスマートフォンやiPhoneで接続が不安定になる場合があります。その場合は「機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する」「機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する」の手順に従って接続してください。

関連項目

- Android搭載スマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続する
- Android搭載スマートフォンをLE Audioで機器登録（ペアリング）してから接続する
- iPhoneを機器登録（ペアリング）してから接続する
- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows® 11）
- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 10）
- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Mac）
- 機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する
- 機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する
- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること
- “Sony | Headphones Connect”アプリをインストールする

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

Android搭載スマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続する

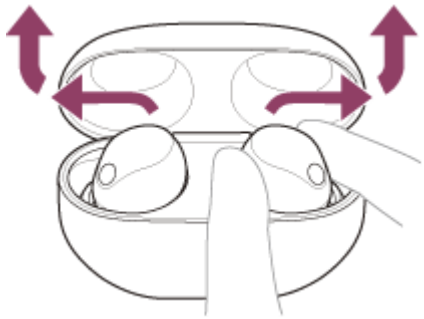
接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。
操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- ヘッドセットとAndroid搭載スマートフォンが1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書を準備する。

1 ヘッドセットをペアリングモードにする。

お買い上げ後に初めてペアリングするときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットにペアリング情報がない場合）

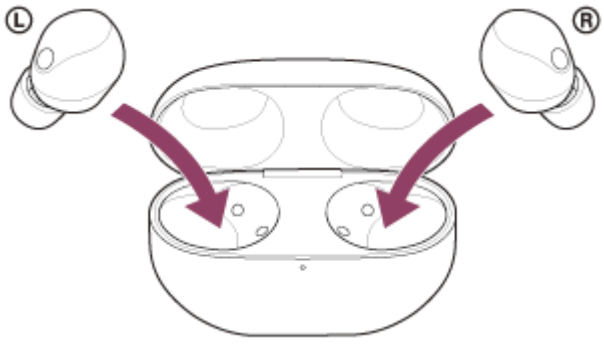
1. ヘッドセットを横に倒し、充電ケースから両側のヘッドセットを取り出す。



自動的に電源が入ります。
ヘッドセットは自動的にペアリングモードになります。
ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴り、音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音と音声ガイダンスが流れます。

2台目以降のペアリングを行うとき（ヘッドセットに他のペアリング情報がある場合）

1. ヘッドセットを充電ケースにセットする。

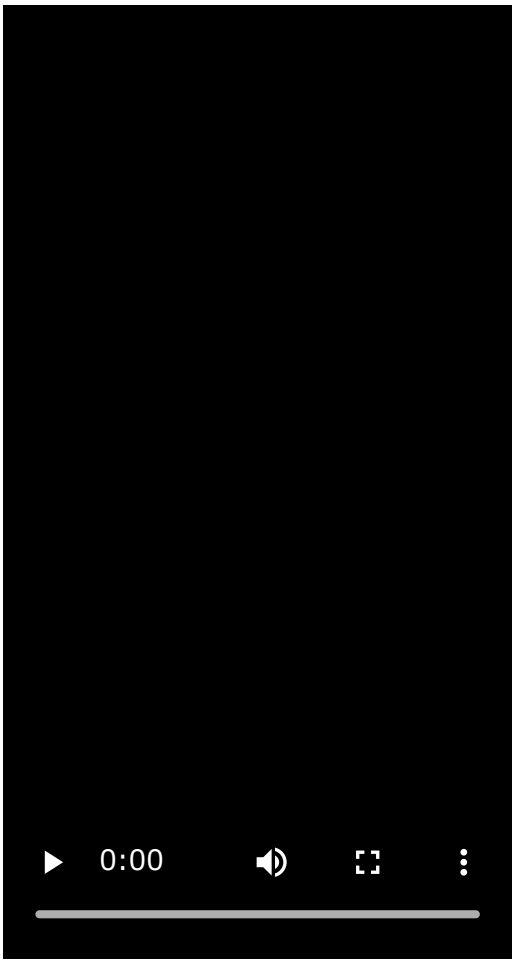


充電ケースのふたは開けたままにしてください。

2. 充電ケースのふたを開けた状態で充電ケース背面のペアリングボタンを約5秒以上押したままにする。

ご注意

- 充電ケースのふたを閉じた状態ではペアリングモードになりません。



充電ケースのランプ（青）が2回ずつ点滅し、ヘッドセットがペアリングモードになります。
ペアリングモードになった後は、ヘッドセットを充電ケースから取り出すこともできます。
ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴り、音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音と音声ガイダンスが流れます。

2 Android搭載スマートフォンの画面をロックしている場合は、解除する。

3 Android搭載スマートフォンでヘッドセットを検索する。

1. ［設定］から［機器接続］の［Bluetooth］を選ぶ。



2. スイッチボタンをタッチしてBluetooth機能をオンにする。



4 **［WF-1000XM5］をタッチする。**



パスキー*を要求された場合は「0000」を入力してください。
互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとスマートフォンが接続された状態になります。
ヘッドセットを充電ケースにセットしているときは、充電ケースのランプ（青）が10回点滅します。
ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が同時に鳴ります。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音が鳴ります。
接続されない場合は、「機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する」をご覧ください。
Android搭載スマートフォンの画面に［WF-1000XM5］が表示されない場合は、もう一度手順 3 の初めから操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

取扱説明動画について

初めてペアリングする手順は、動画でご覧いただけます。
https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0056/ja/

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「初期化する」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、もう一度手順 1 の初めから操作してください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合はもう一度ペアリングが必要です。
  - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
  - 9台目の機器をペアリングしたとき
    ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古いペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
  - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
  - ヘッドセットを初期化したとき
    すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、もう一度ペアリングをしてください。

- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- ヘッドセットを装着する
- 片側のヘッドセットだけを使う
- Bluetooth接続をするには
- 機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）
- 初期化する

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

Android搭載スマートフォンをLE Audioで機器登録（ペアリング）してから接続する

LE AudioはBluetooth技術の音声通信規格です。
Android搭載スマートフォンとヘッドセットの両方がLE Audioに対応している必要があります。

LE Audio対応機器（2023年6月現在）

- Android搭載スマートフォン Xperia 1 Ⅳ/Xperia 5 Ⅳ（スマートフォンのソフトウェアは最新のバージョンをお使いください）

最新の対応機種情報は、サポートホームページをご覧ください。

LE Audioについて

- LE Audioはコーデック「LC3」に対応しています。LE Audioで接続すると、Android搭載スマートフォンからの音の遅延を抑えて音声を楽しむことができます。
- LE Audioで接続しているときは、ヘッドセットの機能の一部が使えなくなります。詳しくは、「“Sony | Headphones Connect”アプリでできること」をご覧ください。

1 Android搭載スマートフォンに“Sony | Headphones Connect”アプリをインストールし、ヘッドセットとBluetooth接続する。

Bluetooth接続の方法については、「“Sony | Headphones Connect”アプリを使って接続する」または「Android搭載スマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続する」をご覧ください。

2 “Sony | Headphones Connect”アプリを起動して、［ヘッドホンのLE Audio接続設定］から［LE Audio優先］を選ぶ。

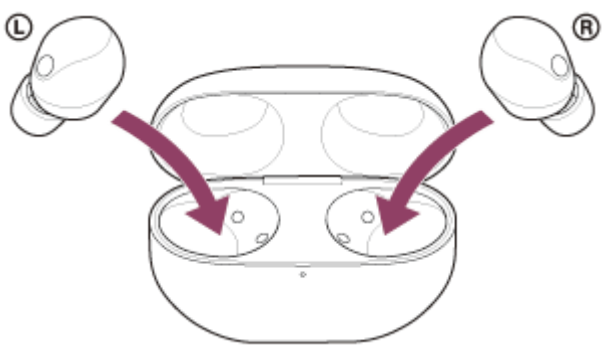
詳しくは、“Sony | Headphones Connect”アプリのヘルプガイドをご覧ください。
https://rd1.sony.net/help/mdr/hpc/h_zz/

3 Android搭載スマートフォンを使って、ペアリング情報（Classic Audio接続の履歴）を削除する。

1. ［設定］から［機器接続］の［Bluetooth］を選ぶ。
2. ［ペアリングされた機器］から［WF-1000XM5］を選んで削除する。

4 充電ケースを操作してヘッドセットをペアリングモードにする。

1. ヘッドセットを充電ケースにセットする。

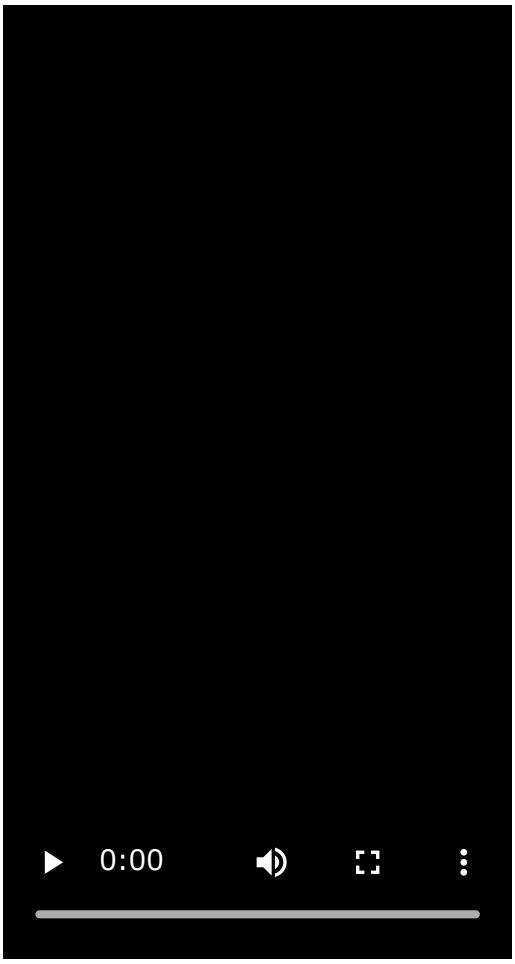


充電ケースのふたは開けたままにしてください。

2. 充電ケースのふたを開けた状態で充電ケース背面のペアリングボタンを約5秒以上押したままにする。

ご注意

- 充電ケースのふたを閉じた状態ではペアリングモードになりません。



充電ケースのランプ（青）が2回ずつ点滅し、ヘッドセットがペアリングモードになります。
ペアリングモードになった後は、ヘッドセットを充電ケースから取り出すこともできます。
ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴り、音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音と音声ガイダンスが流れます。

5 Android搭載スマートフォンを使って、ヘッドセットとLE Audioで接続し直す。

1. ［設定］から［機器接続］の［Bluetooth］を選ぶ。
2. ［WF-1000XM5］をタッチする。

LE Audioを終了するには

Android搭載スマートフォンとClassic Audioで接続し直します。
“Sony | Headphones Connect”アプリを起動して、［ヘッドホンのLE Audio接続設定］から［Classic Audio専用（従来の接続方式）］を選んでください。
“Sony | Headphones Connect”アプリで、［Classic Audio専用（従来の接続方式）］に切り替えられない場合は、ヘッドセットを初期化してください。

ヒント

- 詳しくは、お使いのAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること
- “Sony | Headphones Connect”アプリを使って接続する
- Android搭載スマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続する
- サポートホームページで調べる
- 初期化する

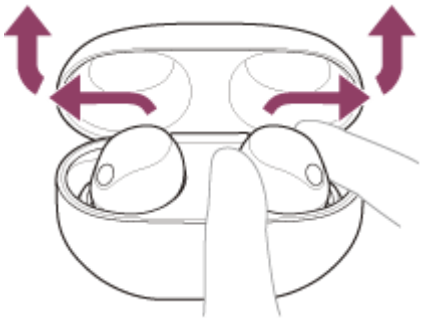
5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する

1 Android搭載スマートフォンの画面をロックしている場合は、解除する。

2 ヘッドセットを横に倒し、充電ケースから取り出す。



自動的に電源が入ります。

3 ヘッドセットを耳に装着する。

前回接続した機器に自動的に接続したときは、両側のヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が同時に鳴ります。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音が鳴ります。
Android搭載スマートフォンで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順 4 に進んでください。

4 Android搭載スマートフォンにペアリング済みの機器を表示する。

1. ［設定］の［機器接続］から［Bluetooth］を選ぶ。



2. スイッチボタンをタッチしてBluetooth機能をオンにする。



5 ［WF-1000XM5］をタッチする。



両側のヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が同時に鳴ります。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音が鳴ります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するとき、接続機器側に［WF-1000XM5］［LE_WF-1000XM5］の両方、あるいはいずれか一方が表示される場合があります。 両方または［WF-1000XM5］が表示される場合は［WF-1000XM5］を、［LE_WF-1000XM5］が表示される場合は［LE_WF-1000XM5］を選んでください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的にその機器に接続され、別の機器を接続できない場合があります。
  その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能の接続を解除してください。
- Android搭載スマートフォンと接続できなくなった場合は、Android搭載スマートフォンでヘッドセットのペアリング情報をいったん削除してからペアリングし直してください。Android搭載スマートフォンの操作については、Android搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- ヘッドセットを装着する
- 片側のヘッドセットだけを使う
- Bluetooth接続をするには
- Android搭載スマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続する
- Android搭載スマートフォンをLE Audioで機器登録（ペアリング）してから接続する
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

iPhoneを機器登録（ペアリング）してから接続する

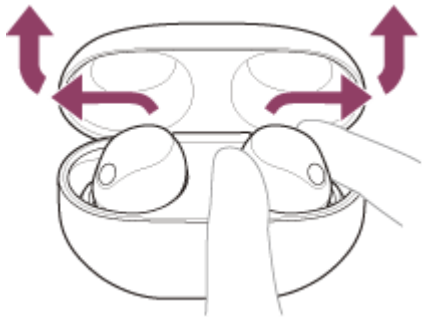
接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。
操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- ヘッドセットとiPhoneが1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するiPhoneの取扱説明書を準備する。

1 ヘッドセットをペアリングモードにする。

お買い上げ後に初めてペアリングするときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットにペアリング情報がない場合）

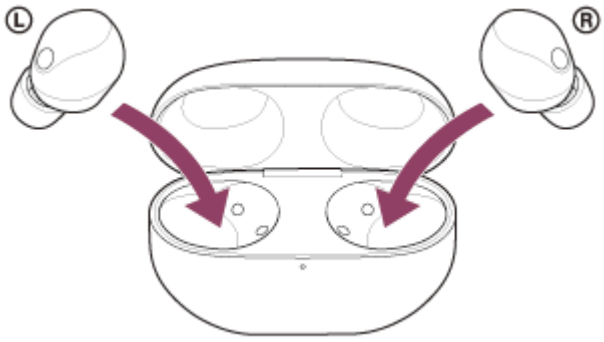
1. ヘッドセットを横に倒し、充電ケースから両側のヘッドセットを取り出す。



自動的に電源が入ります。
ヘッドセットは自動的にペアリングモードになります。
ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴り、音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音と音声ガイダンスが流れます。

2台目以降のペアリングを行うとき（ヘッドセットに他のペアリング情報がある場合）

1. ヘッドセットを充電ケースにセットする。

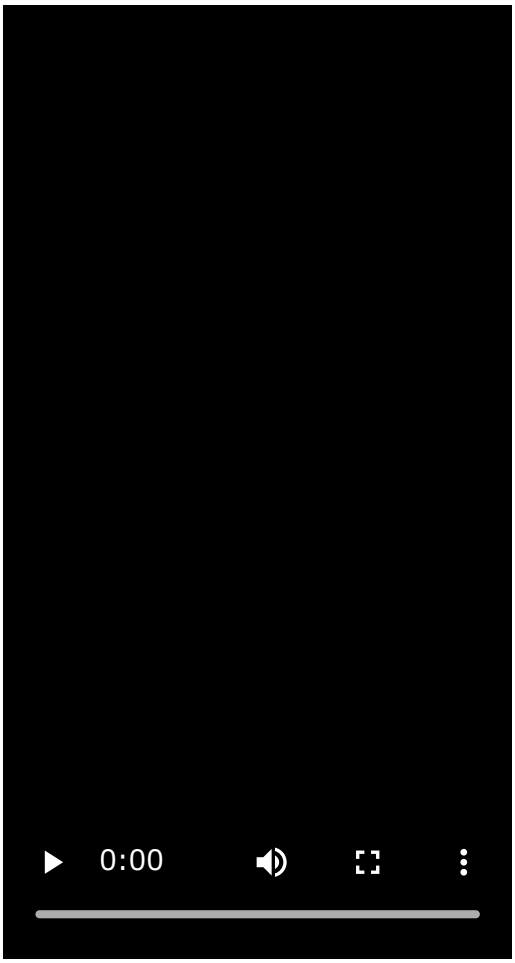


充電ケースのふたは開けたままにしてください。

2. 充電ケースのふたを開けた状態で充電ケース背面のペアリングボタンを約5秒以上押したままにする。

ご注意

- 充電ケースのふたを閉じた状態ではペアリングモードになりません。



充電ケースのランプ（青）が2回ずつ点滅し、ヘッドセットがペアリングモードになります。
ペアリングモードになった後は、ヘッドセットを充電ケースから取り出すこともできます。
ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴り、音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音と音声ガイダンスが流れます。

2 iPhoneの画面をロックしている場合は、解除する。

3 iPhoneでヘッドセットを検索する。

1. ［設定］を選ぶ。
2. ［Bluetooth］をタッチする。



3. スイッチボタンをタッチしてBluetooth機能をオンにする。



4 **［WF-1000XM5］をタッチする。**



パスキー*を要求された場合は「0000」を入力してください。
互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとiPhoneが接続された状態になります。
ヘッドセットを充電ケースにセットしているときは、充電ケースのランプ（青）が10回点滅します。
ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が同時に鳴ります。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音が鳴ります。
接続されない場合は、「機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する」をご覧ください。
iPhoneの画面に［WF-1000XM5］が表示されない場合は、もう一度手順 3 の初めから操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

取扱説明動画について

初めてペアリングする手順は、動画でご覧いただけます。
https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0056/ja/

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのiPhoneの取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「初期化する」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、もう一度手順 1 の初めから操作してください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合はもう一度ペアリングが必要です。
  - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
  - 9台目の機器をペアリングしたとき
    ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古いペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
  - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
  - ヘッドセットを初期化したとき
    すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、もう一度ペアリングをしてください。
- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- ヘッドセットを装着する
- 片側のヘッドセットだけを使う
- Bluetooth接続をするには
- 機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）
- 初期化する

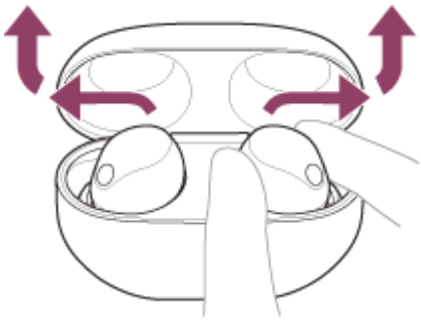
5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する

1 iPhoneの画面をロックしている場合は、解除する。

2 ヘッドセットを横に倒し、充電ケースから取り出す。



自動的に電源が入ります。

3 ヘッドセットを耳に装着する。

前回接続した機器に自動的に接続したときは、両側のヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が同時に鳴ります。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音が鳴ります。
iPhoneで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順 4 に進んでください。

4 iPhoneにペアリング済みの機器を表示する。

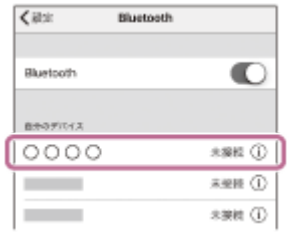
1. ［設定］を選ぶ。
2. ［Bluetooth］をタッチする。



3. スイッチボタンをタッチしてBluetooth機能をオンにする。



5 **［WF-1000XM5］をタッチする。**



両側のヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が同時に鳴ります。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音が鳴ります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのiPhoneの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するとき、接続機器側に［WF-1000XM5］［LE_WF-1000XM5］の両方、あるいはいずれか一方が表示される場合があります。 両方または［WF-1000XM5］が表示される場合は［WF-1000XM5］を、［LE_WF-1000XM5］が表示される場合は［LE_WF-1000XM5］を選んでください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的にその機器に接続され、別の機器を接続できない場合があります。
  その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能の接続を解除してください。
- iPhoneと接続できなくなった場合は、iPhoneでヘッドセットのペアリング情報をいったん削除してからペアリングし直してください。iPhoneの操作については、iPhoneの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- ヘッドセットを装着する
- 片側のヘッドセットだけを使う
- Bluetooth接続をするには
- iPhoneを機器登録（ペアリング）してから接続する
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

ウォークマン®を機器登録（ペアリング）してから接続する

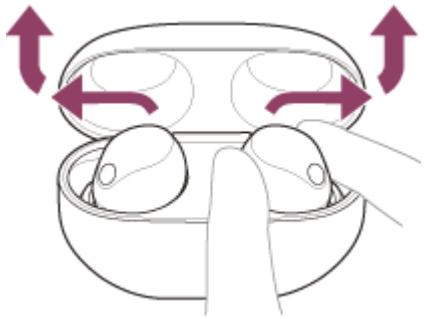
接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。
操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- ヘッドセットとウォークマン®が1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するウォークマン®の取扱説明書を準備する。

1 ヘッドセットをペアリングモードにする。

お買い上げ後に初めてペアリングするときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットにペアリング情報がない場合）

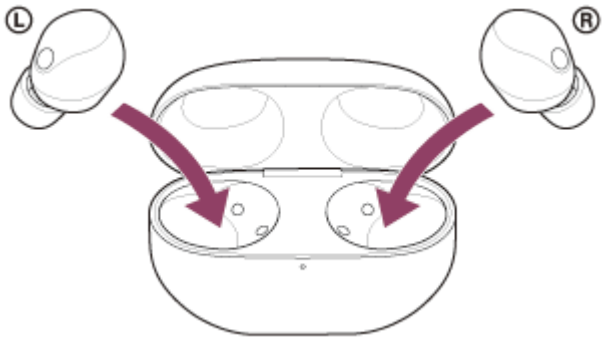
1. ヘッドセットを横に倒し、充電ケースから両側のヘッドセットを取り出す。



自動的に電源が入ります。
ヘッドセットは自動的にペアリングモードになります。
ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴り、音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音と音声ガイダンスが流れます。

2台目以降のペアリングを行うとき（ヘッドセットに他のペアリング情報がある場合）

1. ヘッドセットを充電ケースにセットする。

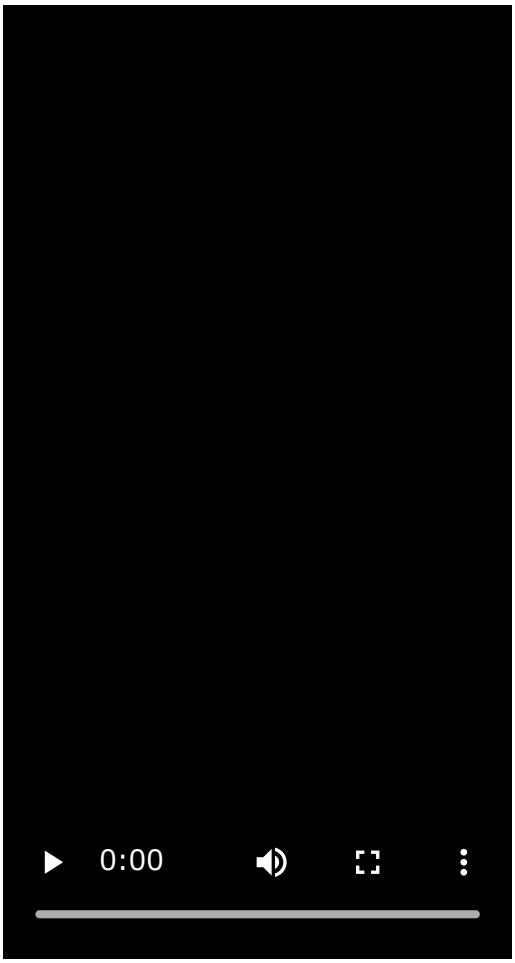


充電ケースのふたは開けたままにしてください。

2. 充電ケースのふたを開けた状態で充電ケース背面のペアリングボタンを約5秒以上押したままにする。

ご注意

- 充電ケースのふたを閉じた状態ではペアリングモードになりません。

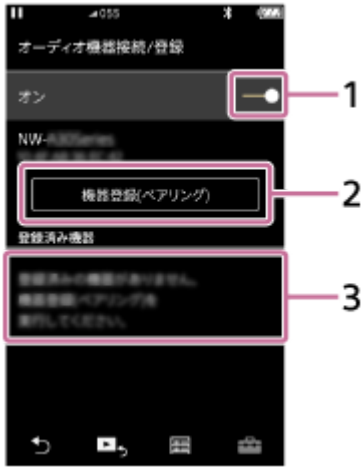


充電ケースのランプ（青）が2回ずつ点滅し、ヘッドセットがペアリングモードになります。
ペアリングモードになった後は、ヘッドセットを充電ケースから取り出すこともできます。
ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴り、音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音と音声ガイダンスが流れます。

2 **ウォークマン®の画面をロックしている場合は、解除する。**

3 **ライブラリ画面から［（オプション／設定）］–［ 設定］–［Bluetooth］–［オーディオ機器接続／登録］の順に選ぶ。**

4 **（1）［オン］になっていることを確認し、（2）［機器登録（ペアリング）］を選んでから、（3）［WF-1000XM5］を選ぶ。**



パスキー*を要求された場合は「0000」を入力してください。
互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとウォークマン®が接続された状態になります。
ヘッドセットを充電ケースにセットしているときは、充電ケースのランプ（青）が10回点滅します。
ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が同時に鳴ります。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音が鳴ります。
接続されない場合は、「機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する」をご覧ください。
ウォークマン®の画面に［WF-1000XM5］が表示されない場合は、もう一度手順 3 から操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのウォークマン®の取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「初期化する」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、もう一度手順 1 の初めから操作してください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合はもう一度ペアリングが必要です。
  - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
  - 9台目の機器をペアリングしたとき
    ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古いペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
  - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
  - ヘッドセットを初期化したとき
    すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、もう一度ペアリングをしてください。
- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- ヘッドセットを装着する
- 片側のヘッドセットだけを使う
- Bluetooth接続をするには
- 機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）

- 初期化する

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

ウォークマン®を機器登録（ペアリング）してから接続する（Android搭載モデル）

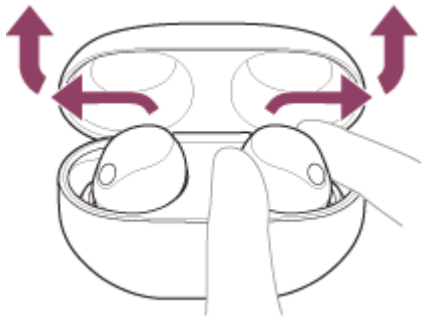
接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。
操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- ヘッドセットとウォークマン®が1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するウォークマン®の取扱説明書を準備する。

1 ヘッドセットをペアリングモードにする。

お買い上げ後に初めてペアリングするときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットにペアリング情報がない場合）

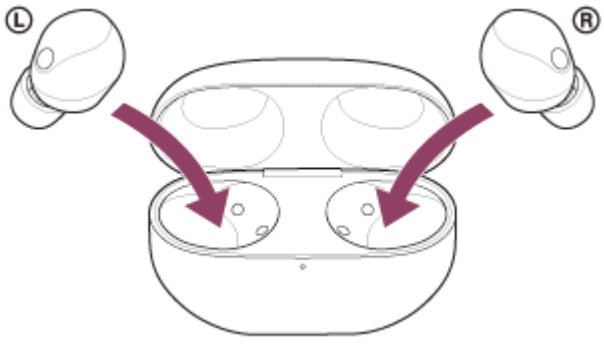
1. ヘッドセットを横に倒し、充電ケースから両側のヘッドセットを取り出す。



自動的に電源が入ります。
ヘッドセットは自動的にペアリングモードになります。
ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴り、音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音と音声ガイダンスが流れます。

2台目以降のペアリングを行うとき（ヘッドセットに他のペアリング情報がある場合）

1. ヘッドセットを充電ケースにセットする。

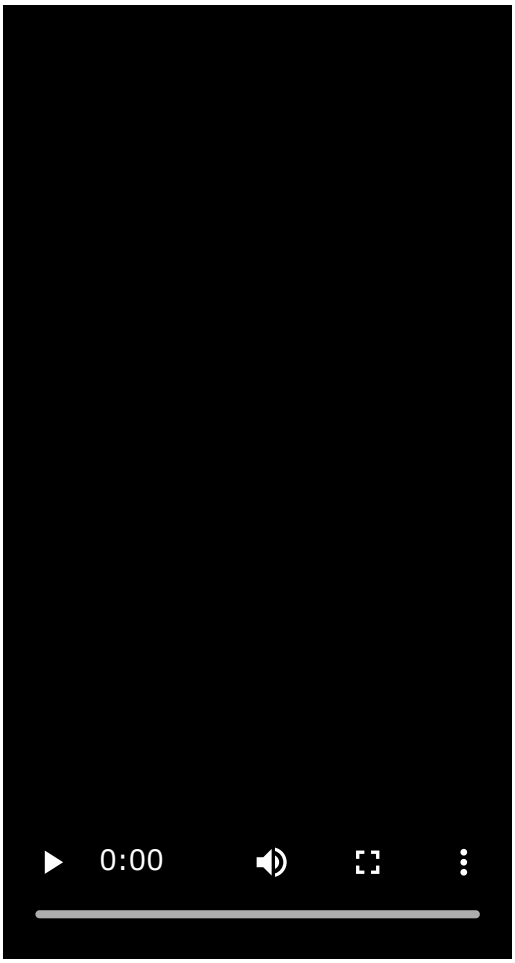


充電ケースのふたは開けたままにしてください。

2. 充電ケースのふたを開けた状態で充電ケース背面のペアリングボタンを約5秒以上押したままにする。

ご注意

- 充電ケースのふたを閉じた状態ではペアリングモードになりません。



充電ケースのランプ（青）が2回ずつ点滅し、ヘッドセットがペアリングモードになります。
ペアリングモードになった後は、ヘッドセットを充電ケースから取り出すこともできます。
ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴り、音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音と音声ガイダンスが流れます。

2 ウォークマン®の画面をロックしている場合は、解除する。

3 ウォークマン®でヘッドセットを検索する。

1. ［ 設定］–［接続済みの端末］–［新しいデバイスとペア設定する］を選ぶ。



4 ［WF-1000XM5］をタッチして、［ペア設定する］を選ぶ。



パスキー*を要求された場合は「0000」を入力してください。
互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとウォークマン®が接続された状態になります。
ヘッドセットを充電ケースにセットしているときは、充電ケースのランプ（青）が10回点滅します。
ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が同時に鳴ります。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音が鳴ります。
接続されない場合は、「機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する（Android搭載モデル）」をご覧ください。
ウォークマン®の画面に［WF-1000XM5］が表示されない場合は、もう一度手順 3 の初めから操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのウォークマン®の取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「初期化する」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、もう一度手順 1 の初めから操作してください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合はもう一度ペアリングが必要です。
  - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
  - 9台目の機器をペアリングしたとき
    ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古いペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
  - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
  - ヘッドセットを初期化したとき
    すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、もう一度ペアリングをしてください。
- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- ヘッドセットを装着する
- 片側のヘッドセットだけを使う
- Bluetooth接続をするには
- 機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する（Android搭載モデル）
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）
- 初期化する

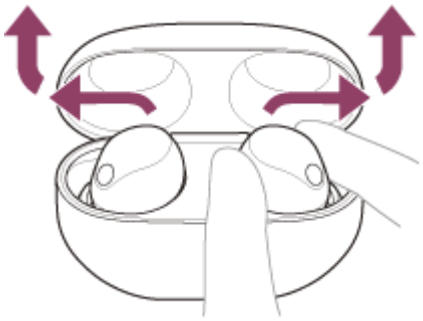
5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する

1 ウォークマン®の画面をロックしている場合は、解除する。

2 ヘッドセットを横に倒し、充電ケースから取り出す。



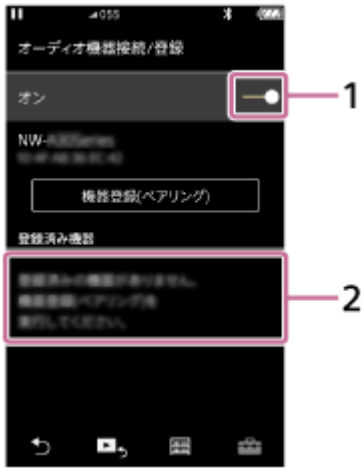
自動的に電源が入ります。

3 ヘッドセットを耳に装着する。

前回接続した機器に自動的に接続したときは、両側のヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が同時に鳴ります。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音が鳴ります。
ウォークマン®で接続状態を確認してください。接続されていないときは手順 4 に進んでください。

4 ライブラリ画面から［（オプション／設定）］–［設定］–［Bluetooth］–［オーディオ機器接続／登録］の順に選ぶ。

5 （1）［オン］になっていることを確認し、（2）［WF-1000XM5］を選ぶ。



両側のヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が同時に鳴ります。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音が鳴ります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのウォークマン®の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するとき、接続機器側に［WF-1000XM5］［LE_WF-1000XM5］の両方、あるいはいずれか一方が表示される場合があります。 両方または［WF-1000XM5］が表示される場合は［WF-1000XM5］を、［LE_WF-1000XM5］が表示される場合は［LE_WF-1000XM5］を選んでください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的にその機器に接続され、別の機器を接続できない場合があります。
  その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能の接続を解除してください。
- ウォークマン®と接続できなくなった場合は、ウォークマン®でヘッドセットのペアリング情報をいったん削除してからペアリングし直してください。ウォークマン®の操作については、ウォークマン®の取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- ヘッドセットを装着する
- 片側のヘッドセットだけを使う
- Bluetooth接続をするには
- ウォークマン®を機器登録（ペアリング）してから接続する
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

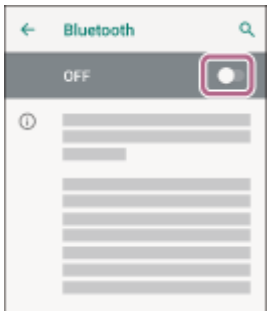
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する（Android搭載モデル）

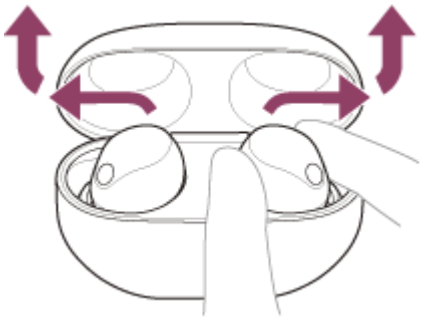
1 ウォークマン®の画面をロックしている場合は、解除する。

2 ウォークマン®のBluetooth機能をオンにする。

1. ［設定］–［接続済みの端末］–［接続の設定］–［Bluetooth］を選ぶ。
2. スイッチボタンをタッチしてBluetooth機能をオンにする。



3 ヘッドセットを横に倒し、充電ケースから取り出す。



自動的に電源が入ります。

4 ヘッドセットを耳に装着する。

前回接続した機器に自動的に接続したときは、両側のヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が同時に鳴ります。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音が鳴ります。
ウォークマン®で接続状態を確認してください。接続されていないときは手順 5 に進んでください。

5 ウォークマン®にペアリング済みの機器を表示する。

1. ［設定］–［接続済みの端末］–［以前接続されていたデバイス］を選ぶ。



6 **［WF-1000XM5］の横にある（設定）アイコンをタッチして［接続］を選ぶ。**



両側のヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が同時に鳴ります。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音が鳴ります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのウォークマン®の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するとき、接続機器側に［WF-1000XM5］［LE_WF-1000XM5］の両方、あるいはいずれか一方が表示される場合があります。 両方または［WF-1000XM5］が表示される場合は［WF-1000XM5］を、［LE_WF-1000XM5］が表示される場合は［LE_WF-1000XM5］を選んでください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的にその機器に接続され、別の機器を接続できない場合があります。
  その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能の接続を解除してください。
- ウォークマン®と接続できなくなった場合は、ウォークマン®でヘッドセットのペアリング情報をいったん削除してからペアリングし直してください。ウォークマン®の操作については、ウォークマン®の取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- ヘッドセットを装着する
- 片側のヘッドセットだけを使う
- Bluetooth接続をするには
- ウォークマン®を機器登録（ペアリング）してから接続する（Android搭載モデル）
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）

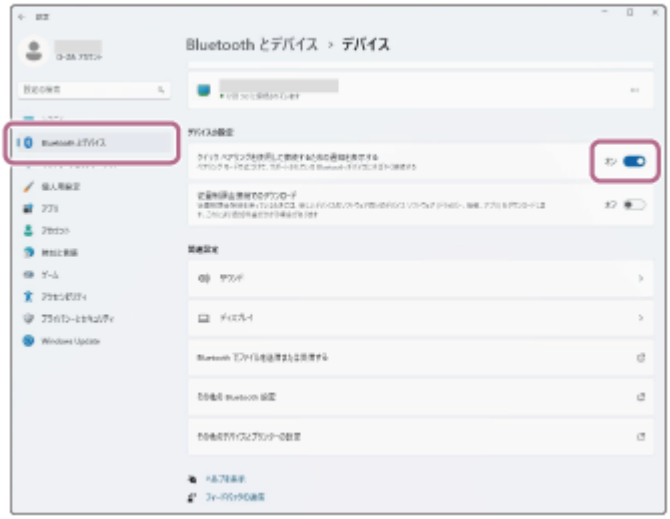
5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows® 11）

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。
操作をはじめる前に、以下を確認してください。

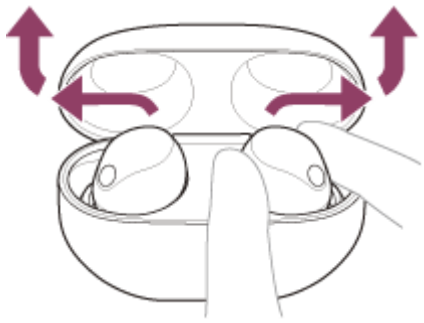
- パソコンに音楽再生の接続（A2DP）対応のBluetooth機能が搭載されている。
- ヘッドセットとパソコンが1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するパソコンの取扱説明書を準備する。
- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
- クイックペアリング機能を使うとかんたんにペアリングできます。クイックペアリング機能を使用する場合は、［スタート］ボタン - ［設定］ - ［Bluetoothとデバイス］ - ［デバイス］ - ［クイック ペアリングを使用して接続するための通知を表示する］スイッチの順にクリックして、クイックペアリング機能をオンにしてください。



1 ヘッドセットをペアリングモードにする。

お買い上げ後に初めてペアリングするときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットにペアリング情報がない場合）

1. ヘッドセットを横に倒し、充電ケースから両側のヘッドセットを取り出す。

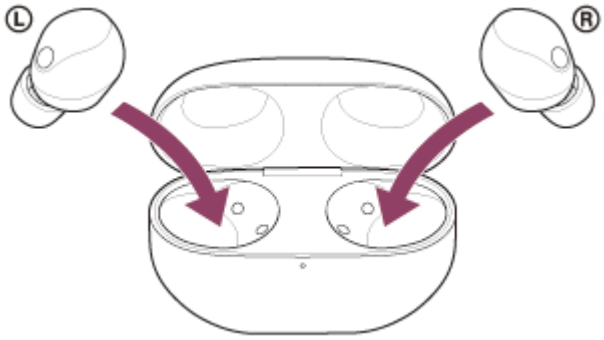


自動的に電源が入ります。
ヘッドセットは自動的にペアリングモードになります。
ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴り、音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセッ

トから通知音と音声ガイダンスが流れます。

2台目以降のペアリングを行うとき（ヘッドセットに他のペアリング情報がある場合）

1. ヘッドセットを充電ケースにセットする。

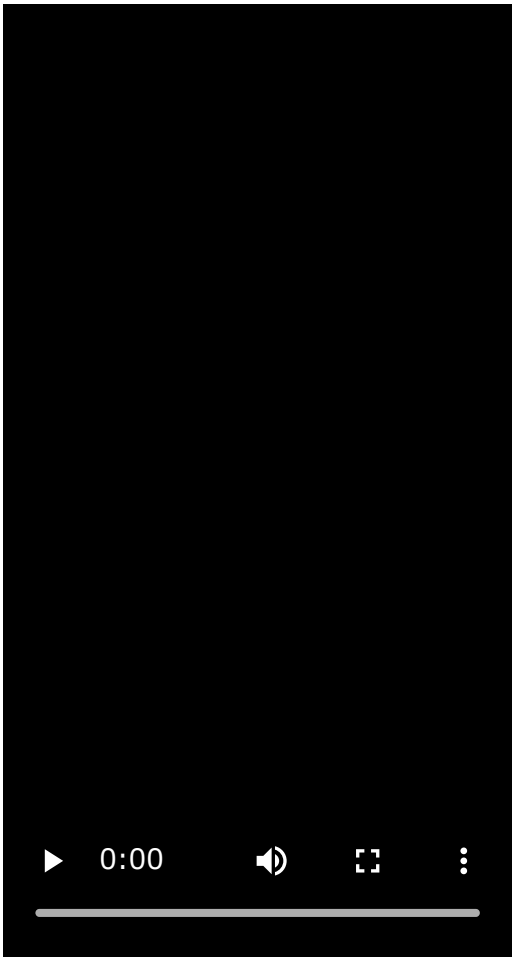


充電ケースのふたは開けたままにしてください。

2. 充電ケースのふたを開けた状態で充電ケース背面のペアリングボタンを約5秒以上押したままにする。

ご注意

- 充電ケースのふたを閉じた状態ではペアリングモードになりません。



充電ケースのランプ（青）が2回ずつ点滅し、ヘッドセットがペアリングモードになります。
ペアリングモードになった後は、ヘッドセットを充電ケースから取り出すこともできます。
ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴り、音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音と音声ガイダンスが流れます。

2 パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

3 パソコンでヘッドセットをペアリングする。

クイックペアリング機能を使用して接続する場合

1. パソコンの画面にポップアップメニューが表示されるので、［接続］を選ぶ。

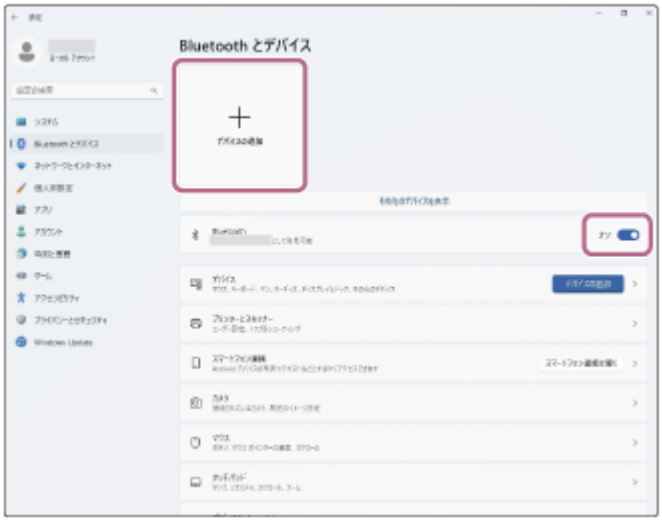


クイックペアリング機能を使用せずに接続する場合

1. ［スタート］ボタン –［設定］の順にクリックする。
2. ［Bluetoothとデバイス］をクリックする。



3. ［Bluetooth］スイッチをクリックしてBluetooth機能をオンにし、［デバイスの追加］をクリックする。



4. ［Bluetooth］をクリックする。



5. ［WF-1000XM5］をクリックする。



パスキー*を要求された場合は「0000」を入力してください。
互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとパソコンが接続された状態になります。
ヘッドセットを充電ケースにセットしているときは、充電ケースのランプ（青）が10回点滅します。
ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が同時に鳴ります。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音が鳴ります。
接続されない場合は、「機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 11）」をご覧ください。
パソコンの画面に［WF-1000XM5］が表示されない場合は、もう一度手順 3 の「クイックペアリング機能を使用せずに接続する場合」から操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「初期化する」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、もう一度手順 1 の初めから操作してください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合はもう一度ペアリングが必要です。
  - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき

- 9台目の機器をペアリングしたとき
  ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古いペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
- 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
- ヘッドセットを初期化したとき
  すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、もう一度ペアリングをしてください。

- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- ヘッドセットを装着する
- 片側のヘッドセットだけを使う
- Bluetooth接続をするには
- 機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 11）
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）
- 初期化する

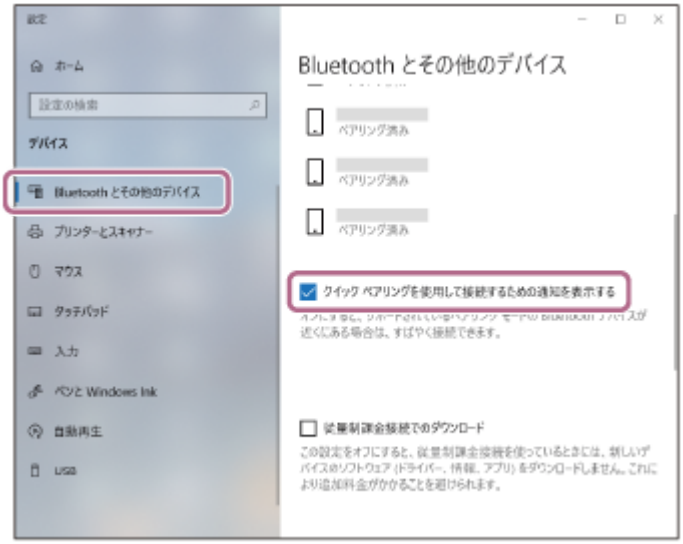
5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 10）

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。
操作をはじめる前に、以下を確認してください。

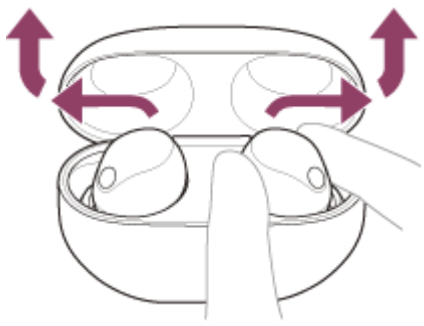
- パソコンに音楽再生の接続（A2DP）対応のBluetooth機能が搭載されている。
- ヘッドセットとパソコンが1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するパソコンの取扱説明書を準備する。
- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
- お使いのOSのバージョンがWindows 10バージョン1803以降の場合、クイックペアリング機能を使ってかんたんにペアリングできます。クイックペアリング機能を使用する場合は、［スタート］ボタン -［設定］ -［デバイス］ -［Bluetoothとその他のデバイス］の順にクリックし、［クイック ペアリングを使用して接続するための通知を表示する］にチェックを入れてください。



1 ヘッドセットをペアリングモードにする。

お買い上げ後に初めてペアリングするときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットにペアリング情報がない場合）

1. ヘッドセットを横に倒し、充電ケースから両側のヘッドセットを取り出す。

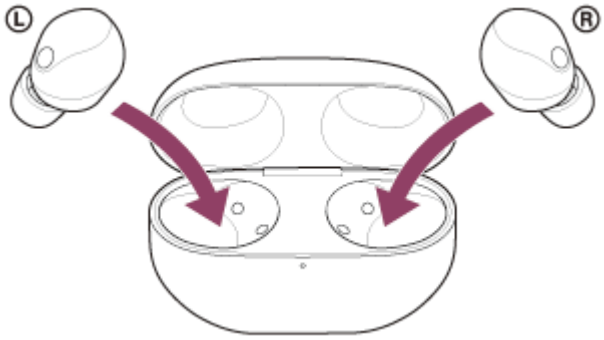


自動的に電源が入ります。
ヘッドセットは自動的にペアリングモードになります。

ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴り、音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音と音声ガイダンスが流れます。

2台目以降のペアリングを行うとき（ヘッドセットに他のペアリング情報がある場合）

1. ヘッドセットを充電ケースにセットする。

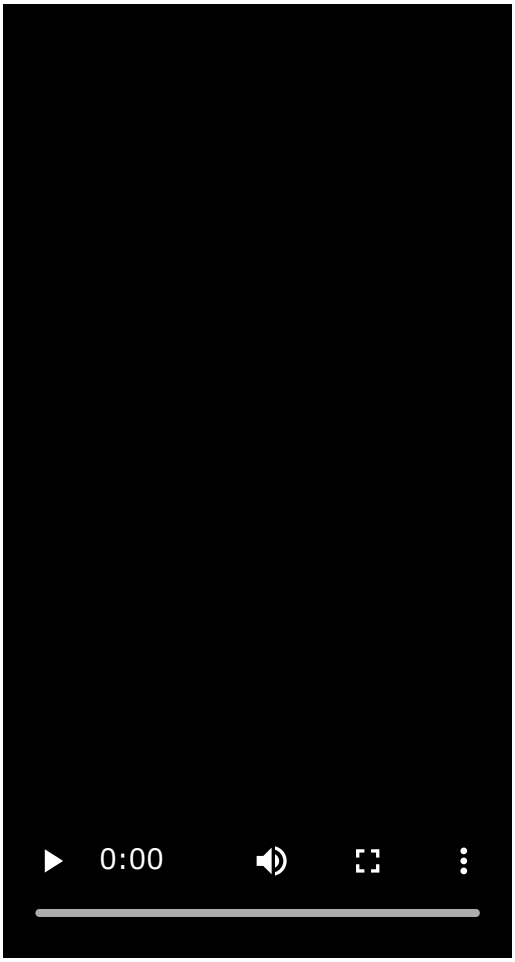


充電ケースのふたは開けたままにしてください。

2. 充電ケースのふたを開けた状態で充電ケース背面のペアリングボタンを約5秒以上押したままにする。

ご注意

- 充電ケースのふたを閉じた状態ではペアリングモードになりません。



充電ケースのランプ（青）が2回ずつ点滅し、ヘッドセットがペアリングモードになります。
ペアリングモードになった後は、ヘッドセットを充電ケースから取り出すこともできます。

ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴り、音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音と音声ガイダンスが流れます。

2 パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

3 パソコンでヘッドセットをペアリングする。

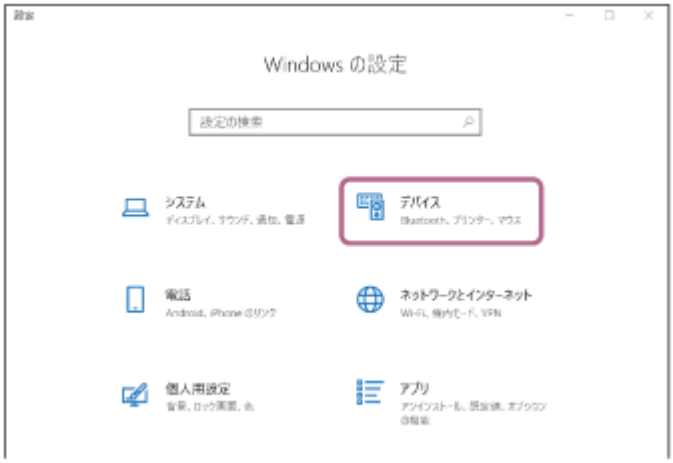
クイックペアリング機能を使用して接続する場合

1. パソコンの画面にポップアップメニューが表示されるので、［接続］を選ぶ。



クイックペアリング機能を使用せずに接続する場合

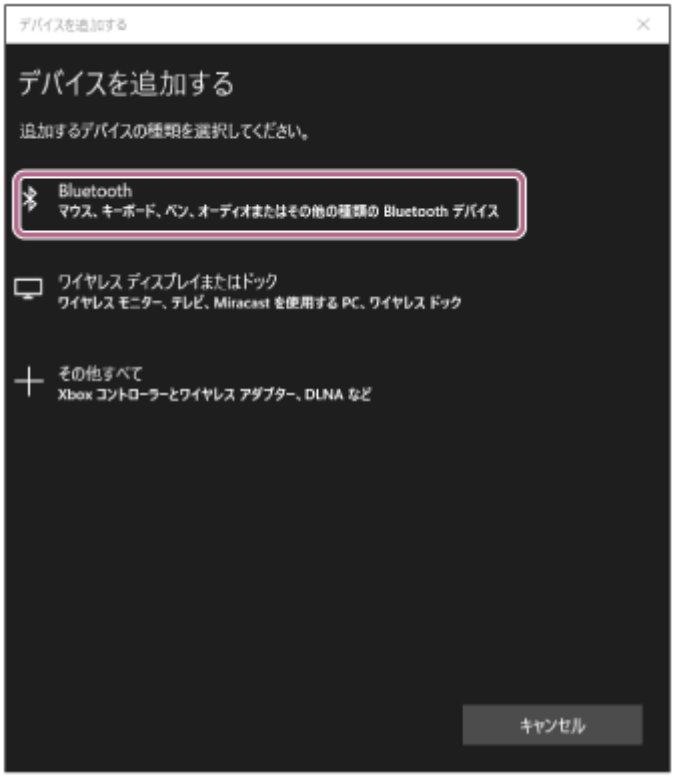
1. ［スタート］ボタン –［設定］の順にクリックする。
2. ［デバイス］をクリックする。



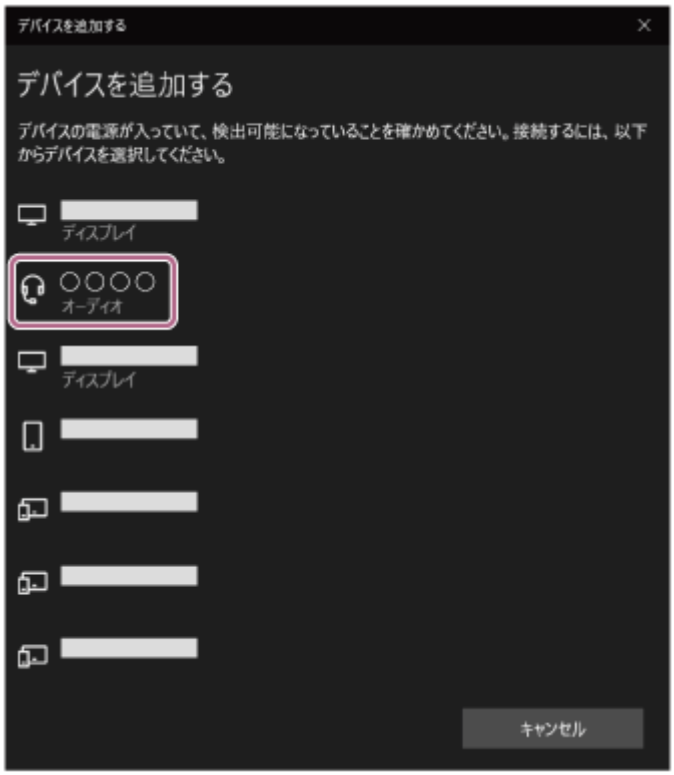
3. ［Bluetoothとその他のデバイス］タブ - ［Bluetooth］スイッチの順にクリックしてBluetooth機能をオンにし、［Bluetoothまたはその他のデバイスを追加する］をクリックする。



4. ［Bluetooth］をクリックする。



5. ［WF-1000XM5］をクリックする。



パスキー*を要求された場合は「0000」を入力してください。
互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとパソコンが接続された状態になります。
ヘッドセットを充電ケースにセットしているときは、充電ケースのランプ（青）が10回点滅します。
ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が同時に鳴ります。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音が鳴ります。
接続されない場合は、「機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 10）」をご覧ください。
パソコンの画面に［WF-1000XM5］が表示されない場合は、もう一度手順 3 の「クイックペアリング機能を使用せずに接続する場合」から操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「初期化する」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、もう一度手順 1 の初めから操作してください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合はもう一度ペアリングが必要です。
  - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
  - 9台目の機器をペアリングしたとき
    ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古いペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
  - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
  - ヘッドセットを初期化したとき
    すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、もう一度ペアリングをしてください。
- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- ヘッドセットを装着する
- 片側のヘッドセットだけを使う
- Bluetooth接続をするには
- 機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 10）
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）
- 初期化する

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Mac）

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。

対応OS

macOS（バージョン11以降）
操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- パソコンに音楽再生の接続（A2DP）対応のBluetooth機能が搭載されている。
- ヘッドセットとパソコンが1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するパソコンの取扱説明書を準備する。
- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
- パソコンのスピーカーをONモードに設定する。
  パソコンのスピーカーが 「消音（OFF）」モードになっていると、ヘッドセットからも音が出ません。

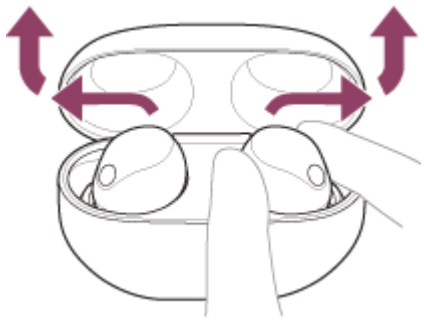
  パソコンのスピーカーがONモードの状態



1 ヘッドセットをペアリングモードにする。

お買い上げ後に初めてペアリングするときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットにペアリング情報がない場合）

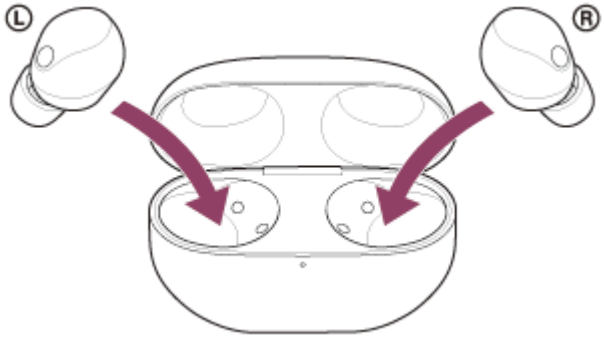
1. ヘッドセットを横に倒し、充電ケースから両側のヘッドセットを取り出す。



自動的に電源が入ります。
ヘッドセットは自動的にペアリングモードになります。
ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴り、音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音と音声ガイダンスが流れます。

2台目以降のペアリングを行うとき（ヘッドセットに他のペアリング情報がある場合）

1. ヘッドセットを充電ケースにセットする。

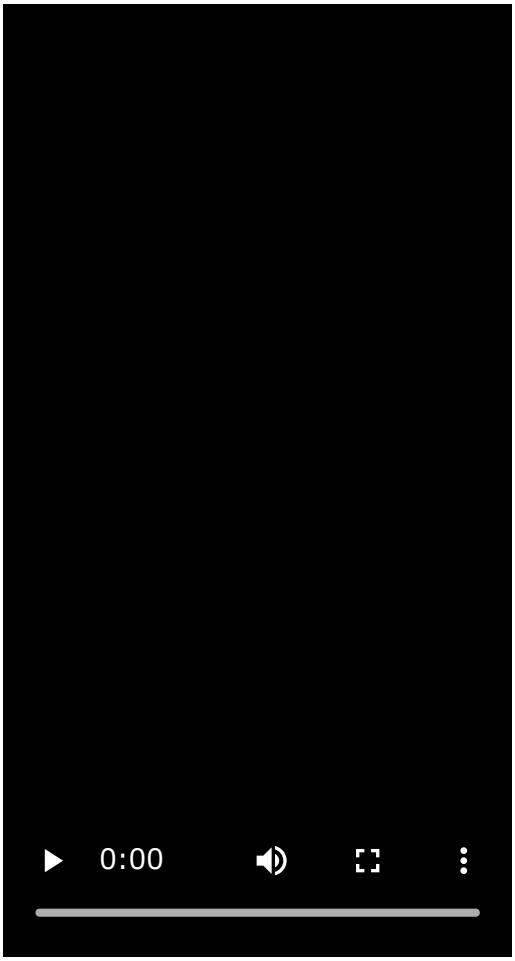


充電ケースのふたは開けたままにしてください。

2. 充電ケースのふたを開けた状態で充電ケース背面のペアリングボタンを約5秒以上押したままにする。

ご注意

- 充電ケースのふたを閉じた状態ではペアリングモードになりません。



充電ケースのランプ（青）が2回ずつ点滅し、ヘッドセットがペアリングモードになります。
ペアリングモードになった後は、ヘッドセットを充電ケースから取り出すこともできます。
ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴り、音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音と音声ガイダンスが流れます。

2 パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

3 パソコンでヘッドセットをペアリングする。

1. 画面下のDockで［ （システム環境設定）］–［Bluetooth］の順に選ぶ。



2. ［Bluetooth］画面から［WF-1000XM5］を選び、［接続］をクリックする。



パスキー*を要求された場合は「0000」を入力してください。
互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとパソコンが接続された状態になります。
ヘッドセットを充電ケースにセットしているときは、充電ケースのランプ（青）が10回点滅します。
ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が同時に鳴ります。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音が鳴ります。
接続されない場合は、「機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Mac）」をご覧ください。
パソコンの画面に［WF-1000XM5］が表示されない場合は、もう一度手順 3 の初めから操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「初期化する」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、もう一度手順 1 の初めから操作してください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合はもう一度ペアリングが必要です。
  - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
  - 9台目の機器をペアリングしたとき
    ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古いペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
  - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
  - ヘッドセットを初期化したとき
    すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、もう一度ペアリングをしてください。

- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- ヘッドセットを装着する
- 片側のヘッドセットだけを使う
- Bluetooth接続をするには
- 機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Mac）
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）
- 初期化する

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

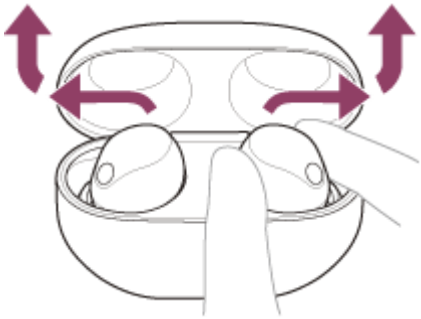
機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 11）

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

1 パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

2 ヘッドセットを横に倒し、充電ケースから取り出す。



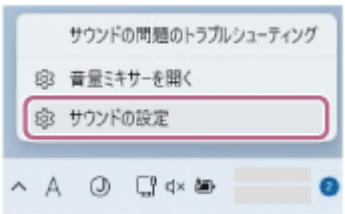
自動的に電源が入ります。

3 ヘッドセットを耳に装着する。

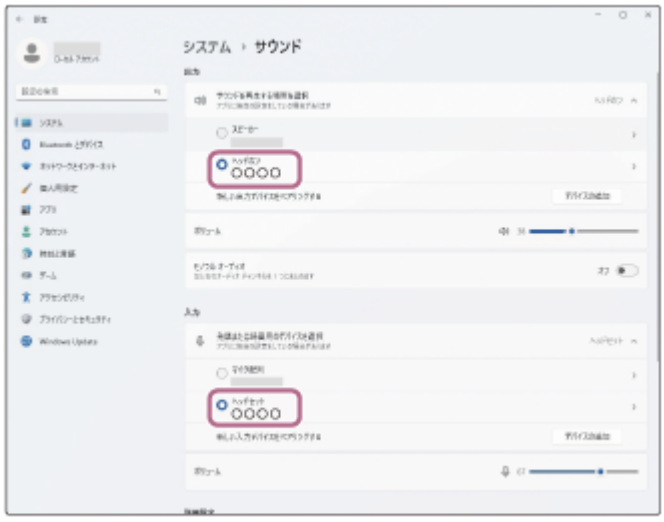
前回接続した機器に自動的に接続したときは、両側のヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が同時に鳴ります。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音が鳴ります。
パソコンで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順 4 に進んでください。

4 パソコンでヘッドセットを選ぶ。

1. ツールバーのスピーカーアイコンを右クリックして［サウンドの設定］を選ぶ。

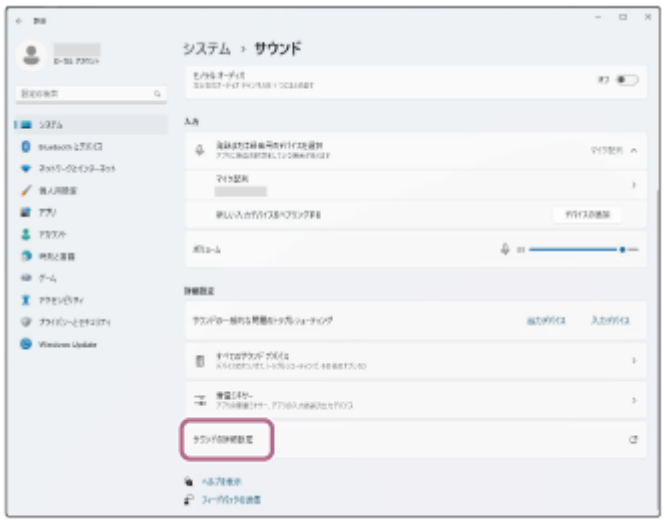


2. ［サウンド］画面の［出力］および［入力］で［WF-1000XM5］を選ぶ。

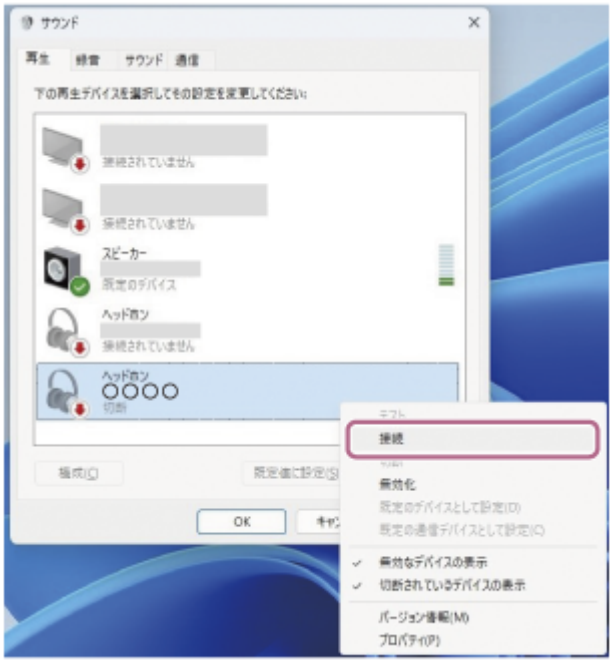


［出力］および［入力］に［WF-1000XM5］が表示されていないときは手順3に進んでください。

3. ［サウンドの詳細設定］をクリックする。

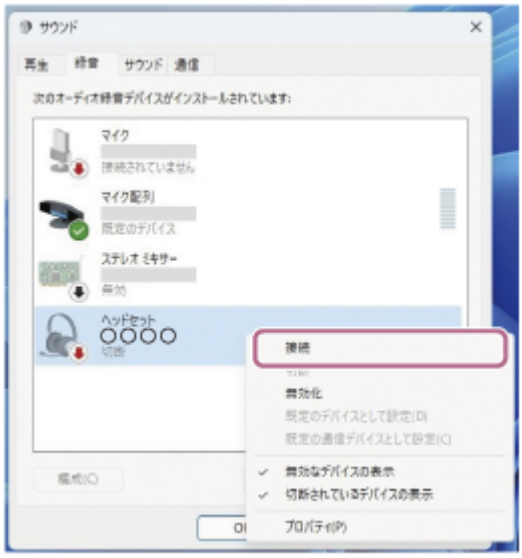


4. ［サウンド］画面の［再生］タブで［WF-1000XM5］を選んで右クリックし、表示されたメニューから［接続］を選ぶ。



両側のヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が同時に鳴ります。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音が鳴ります。

5. ［録音］タブで［WF-1000XM5］を選んで右クリックし、表示されたメニューから［接続］を選ぶ。



ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 音楽再生時の音質がよくない場合は、パソコンの設定で音楽再生の接続（A2DP）が有効になっていることを確認してください。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的にその機器に接続され、別の機器を接続できない場合があります。
  その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能の接続を解除してください。
- パソコンと接続できなくなった場合は、パソコンでヘッドセットのペアリング情報をいったん削除してからペアリングし直してください。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- ヘッドセットを装着する
- 片側のヘッドセットだけを使う
- Bluetooth接続をするには
- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows® 11）
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）
- パソコンでビデオ通話する

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

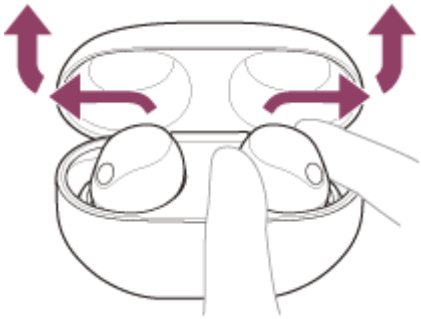
機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 10）

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

1 パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

2 ヘッドセットを横に倒し、充電ケースから取り出す。



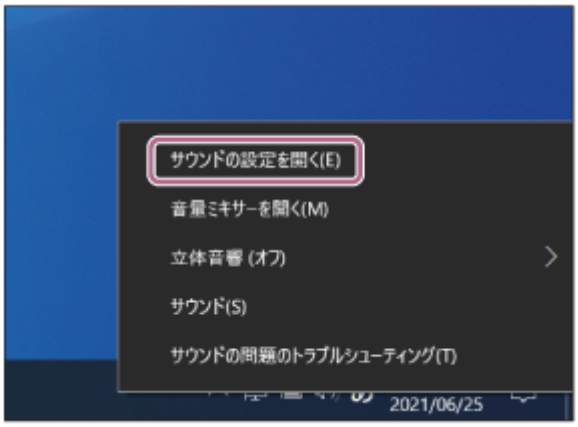
自動的に電源が入ります。

3 ヘッドセットを耳に装着する。

前回接続した機器に自動的に接続したときは、両側のヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が同時に鳴ります。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音が鳴ります。
パソコンで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順 4 に進んでください。

4 パソコンでヘッドセットを選ぶ。

1. ツールバーのスピーカーアイコンを右クリックして［サウンドの設定を開く］を選ぶ。

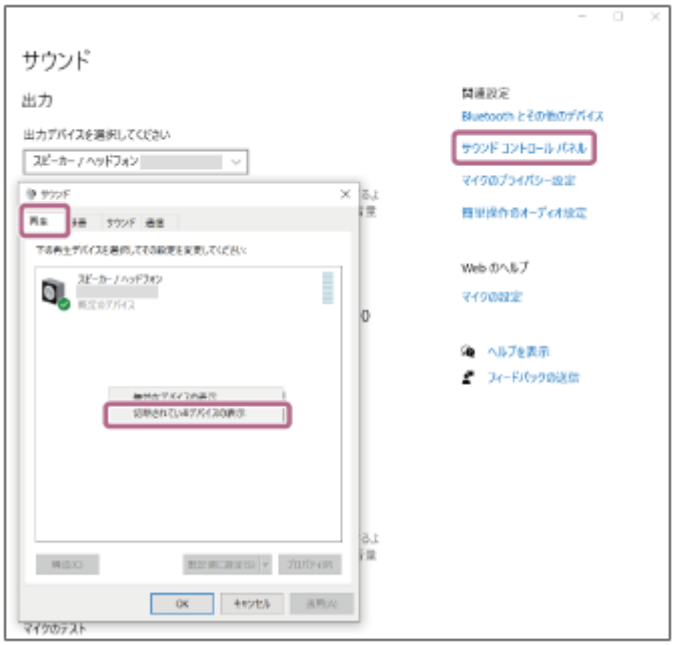


2. ［出力デバイスを選択してください］のプルダウンメニューから［ヘッドホン（WF-1000XM5 Stereo）］を選ぶ。



プルダウンメニューに［ヘッドホン（WF-1000XM5 Stereo）］が表示されていない場合は手順3に進んでください。

3. ［サウンドコントロール パネル］をクリック後、［サウンド］の［再生］タブ画面上で右クリックし、［切断されているデバイスの表示］にチェックを入れる。



4. 表示されたメニューから［接続］を選ぶ。



両側のヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が同時に鳴ります。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音が鳴ります。



ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 音楽再生時の音質がよくない場合は、パソコンの設定で音楽再生の接続（A2DP）が有効になっていることを確認してください。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的にその機器に接続され、別の機器を接続できない場合があります。
  その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能の接続を解除してください。
- パソコンと接続できなくなった場合は、パソコンでヘッドセットのペアリング情報をいったん削除してからペアリングし直してください。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- ヘッドセットを装着する
- 片側のヘッドセットだけを使う
- Bluetooth接続をするには
- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 10）
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）
- パソコンでビデオ通話する

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Mac）

対応OS

macOS（バージョン11以降）
操作をはじめる前に、以下を確認してください。

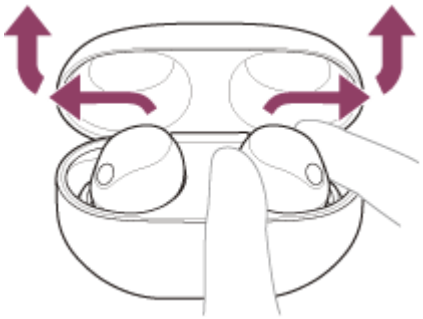
- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
- パソコンのスピーカーをONモードに設定する。
  パソコンのスピーカーが 「消音（OFF）」モードになっていると、ヘッドセットからも音が出ません。

  パソコンのスピーカーがONモードの状態



1 パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

2 ヘッドセットを横に倒し、充電ケースから取り出す。



自動的に電源が入ります。

3 ヘッドセットを耳に装着する。

前回接続した機器に自動的に接続したときは、両側のヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が同時に鳴ります。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音が鳴ります。
パソコンで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順 4 に進んでください。

4 パソコンでヘッドセットを選ぶ。

1. 画面下のDockで［ （システム環境設定）］–［Bluetooth］の順に選ぶ。



2. ［Bluetooth］画面で、パソコンのControlボタンを押しながら［WF-1000XM5］をクリックし、ポップアップメニューから［接続］を選ぶ。



両側のヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が同時に鳴ります。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音が鳴ります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 音楽再生時の音質がよくない場合は、パソコンの設定で音楽再生の接続（A2DP）が有効になっていることを確認してください。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的にその機器に接続され、別の機器を接続できない場合があります。
  その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能の接続を解除してください。
- パソコンと接続できなくなった場合は、パソコンでヘッドセットのペアリング情報をいったん削除してからペアリングし直してください。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- ヘッドセットを装着する
- 片側のヘッドセットだけを使う
- Bluetooth接続をするには
- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Mac）
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く

- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）
- パソコンでビデオ通話する

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

Bluetooth機器を機器登録（ペアリング）してから接続する

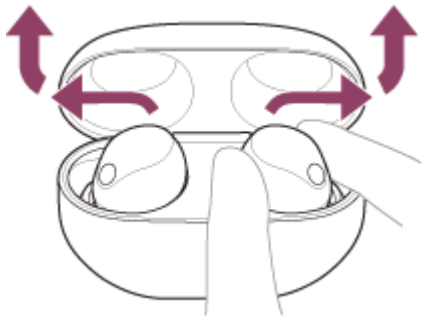
接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。
操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- ヘッドセットとBluetooth機器が1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するBluetooth機器の取扱説明書を準備する。

1 ヘッドセットをペアリングモードにする。

お買い上げ後に初めてペアリングするときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットにペアリング情報がない場合）

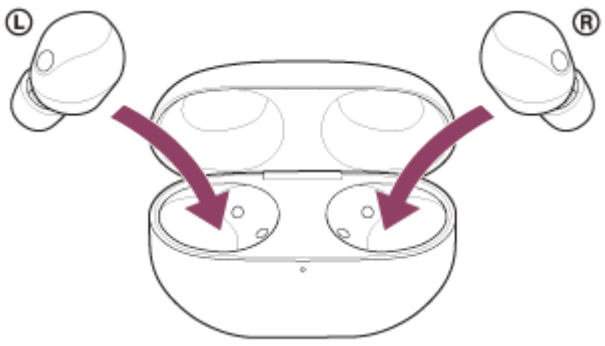
1. ヘッドセットを横に倒し、充電ケースから両側のヘッドセットを取り出す。



自動的に電源が入ります。
ヘッドセットは自動的にペアリングモードになります。
ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴り、音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音と音声ガイダンスが流れます。

2台目以降のペアリングを行うとき（ヘッドセットに他のペアリング情報がある場合）

1. ヘッドセットを充電ケースにセットする。

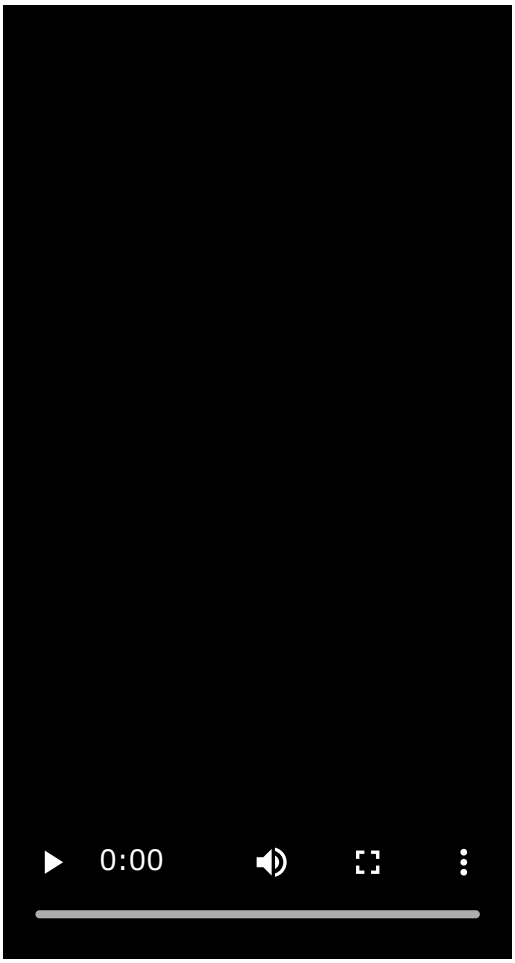


充電ケースのふたは開けたままにしてください。

2. 充電ケースのふたを開けた状態で充電ケース背面のペアリングボタンを約5秒以上押したままにする。

ご注意

- 充電ケースのふたを閉じた状態ではペアリングモードになりません。



充電ケースのランプ（青）が2回ずつ点滅し、ヘッドセットがペアリングモードになります。
ペアリングモードになった後は、ヘッドセットを充電ケースから取り出すこともできます。
ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴り、音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音と音声ガイダンスが流れます。

2 Bluetooth機器でペアリング操作を行い、ヘッドセットを検索する。

Bluetooth機器の画面の検出機器一覧に［WF-1000XM5］と表示されます。
表示されない場合は、もう一度手順 1 の初めから操作してください。

3 Bluetooth機器の画面に表示されている［WF-1000XM5］を選び、互いの機器をペアリングする。

パスキー*を要求された場合は「0000」を入力してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

4 Bluetooth機器でBluetooth接続操作を行う。

ヘッドセットとBluetooth機器が接続された状態になります。
ペアリングが完了すると自動的にヘッドセットと接続される機器もあります。
ヘッドセットを充電ケースにセットしているときは、充電ケースのランプ（青）が10回点滅します。
ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が同時に鳴ります。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音が鳴ります。

接続されない場合は、「機器登録（ペアリング）済みのBluetooth機器と接続する」をご覧ください。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「初期化する」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、もう一度手順 1 の初めから操作してください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合はもう一度ペアリングが必要です。
  - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
  - 9台目の機器をペアリングしたとき
    ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古いペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
  - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
  - ヘッドセットを初期化したとき
    すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、もう一度ペアリングをしてください。
- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

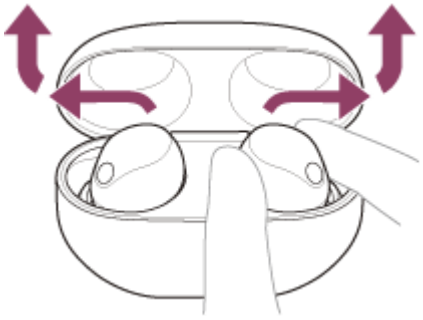
- ヘッドセットを装着する
- 片側のヘッドセットだけを使う
- Bluetooth接続をするには
- 機器登録（ペアリング）済みのBluetooth機器と接続する
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）
- 初期化する

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

機器登録（ペアリング）済みのBluetooth機器と接続する

1 ヘッドセットを横に倒し、充電ケースから取り出す。



自動的に電源が入ります。

2 ヘッドセットを耳に装着する。

前回接続した機器に自動的に接続したときは、両側のヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が同時に鳴ります。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音が鳴ります。
Bluetooth機器で接続状態を確認してください。接続されていないときは手順 3 に進んでください。

3 Bluetooth機器を操作してBluetooth接続する。

Bluetooth機器の操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
両側のヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が同時に鳴ります。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音が鳴ります。

ご注意

- 接続するとき、接続機器側に［WF-1000XM5］［LE_WF-1000XM5］の両方、あるいはいずれか一方が表示される場合があります。 両方または［WF-1000XM5］が表示される場合は［WF-1000XM5］を、［LE_WF-1000XM5］が表示される場合は［LE_WF-1000XM5］を選んでください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的にその機器に接続され、別の機器を接続できない場合があります。
その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能の接続を解除してください。
- Bluetooth機器と接続できなくなった場合は、Bluetooth機器でヘッドセットのペアリング情報をいったん削除してからペアリングし直してください。Bluetooth機器の操作については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- ヘッドセットを装着する
- 片側のヘッドセットだけを使う
- Bluetooth接続をするには
- Bluetooth機器を機器登録（ペアリング）してから接続する

- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）

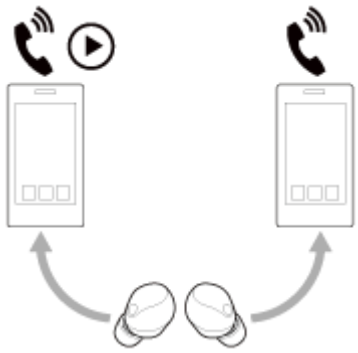
5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

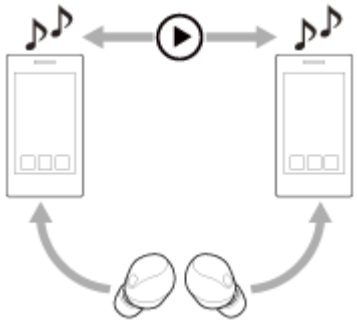
2台の機器と同時に接続する（マルチポイント接続）

ヘッドセットに2台の機器を同時にBluetooth接続して、以下のようなことができます。

- 2台のスマートフォンの着信を待ち受ける
  ヘッドセットで一方のスマートフォンで再生した音楽を聞き、両方のスマートフォンの着信を待ち受けし、着信があれば通話できます。



- 2台の機器の音楽再生を切り替える
  一方の機器からの音楽再生を、Bluetooth接続をし直すことなく、もう一方の機器からの再生に切り替えることができます。



2台の機器を同時にBluetooth接続する

1. **ヘッドセットと2台の機器を、それぞれ機器登録（ペアリング）する。**
2. **1台目の機器を操作して、ヘッドセットとBluetooth接続する。**
3. **2台目の機器を操作して、ヘッドセットとBluetooth接続する。**

2台の機器をBluetooth接続した状態で、ペアリング済みの3台目の機器を操作してヘッドセットとBluetooth接続しようとすると、最後に音楽再生していた機器とはBluetooth接続が維持され、もう一方の機器とのBluetooth接続が切断されます。その後、3台目の機器がヘッドセットとBluetooth接続されます。

2台の機器をBluetooth接続した状態での音楽再生

- ヘッドセットを操作して音楽を再生する場合、最後に再生していた機器からの音楽再生になります。
- もう一方の機器から音楽を再生したいときは、音楽再生している機器の再生を停止し、もう一方の機器を操作して音楽を再生します。

1台目の機器で音楽を再生している状態で、2台目の機器を操作して再生を始めても、ヘッドセットからは1台目からの音楽が継続して聞こえます。この状態で1台目の再生を停止すると、2台目からの音楽を聞くことができます。

2台の機器をBluetooth接続した状態での通話

- ヘッドセットに2台のスマートフォンを同時にBluetooth接続すると、2台とも着信待ち受け状態になります。
- 1台目の機器に着信があると、着信音はヘッドセットから聞こえます。ヘッドセットで通話をしているときに、2台目の機器に着信があると、着信音は2台目の機器から聞こえます。
  1台目の機器の通話を終了すると、2台目の機器からの着信音がヘッドセットから聞こえるようになります。

関連項目

- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること
- Bluetooth接続をするには
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- 音楽再生時にできること（Bluetooth接続）
- 電話を受ける
- 通話時にできること

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

“音声の切り替え”で複数機器間の音声を切り替える

“音声の切り替え”とは、Android搭載デバイス間で音声を切り替えるGoogleの機能です。
“音声の切り替え”に対応しているヘッドセットは、複数のデバイスに接続できます。“音声の切り替え”をオンにした状態で各デバイスでヘッドセットを使用すると、ヘッドセットの音声がシームレスに切り替わります。音声が切り替わると、切り替え先のデバイスから通知されます。

対応するスマートフォン
Android 8.0以降

“音声の切り替え”について詳しくは、下記URLをご覧ください。
https://support.google.com/android/?p=switch_audio
機能の利用には、Google Fast Pairによる接続が必要です。
Google Fast Pairについて詳しくは、下記URLをご覧ください。
https://support.google.com/android/answer/9417604

ご注意

- “音声の切り替え”の仕様は予告なく変更になる場合があります。

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

Bluetooth接続した機器の音楽を聞く

お使いのBluetooth機器が次のプロファイルに対応していれば、Bluetooth接続した機器の音楽をヘッドセットで聞いたり、ヘッドセットから機器を操作したりできます。

- A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）
  高音質な音楽をワイヤレスで楽しめます。
- AVRCP（Audio Video Remote Control Profile）
  音量調節などの操作ができます。

操作はBluetooth機器によって異なることがあります。お使いのBluetooth機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

1 ヘッドセットを耳に装着する。

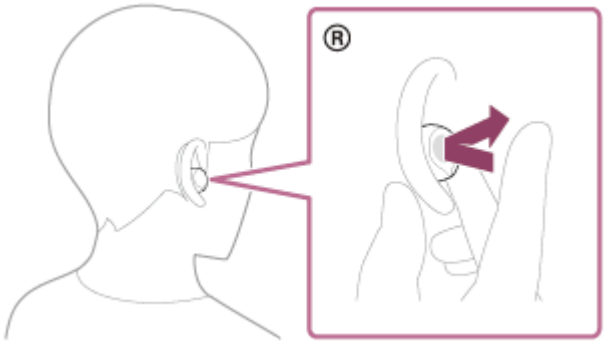
ヘッドセットを耳に装着する手順は、「ヘッドセットを装着する」をご覧ください。

2 ヘッドセットとBluetooth機器を接続する。

3 Bluetooth機器を再生して、適度な音量に調節する。

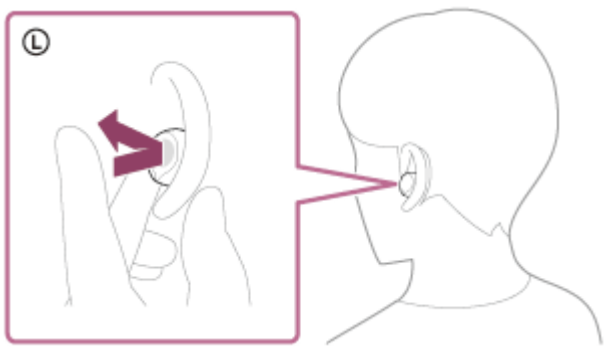
4 左右のタッチセンサーをタップして、音量を調節する。

- 音量を上げる：再生中にR側のタッチセンサーをすばやく（約0.4秒以内の間隔で）4回以上連続してタップします。



タップし続けている間、タップ数に関係なく、約0.4秒間隔で通知音が鳴るとともに音量が1ステップずつ上がります。

- 音量を下げる：再生中にL側のタッチセンサーをすばやく（約0.4秒以内の間隔で）4回以上連続してタップします。



タップし続けている間、タップ数に関係なく、約0.4秒間隔で通知音が鳴るとともに音量が1ステップずつ下がります。

音量が最大または最小になると、警告音が鳴ります。

ヒント

- お買い上げ時の状態では、ヘッドセットを両耳に装着して音楽を再生しているときに片側または両側のヘッドセットを取り外すと、再生が一時停止します。取り外したヘッドセットを耳に装着すると再生を再開します。
- ヘッドセットはSCMS-T方式のコンテンツ保護に対応しています。SCMS-T方式対応のワンセグTVなどの音楽（または音声）を、ヘッドセットで聞くことができます。
- Bluetooth機器によっては、機器側で音量調節や音声出力先の設定が必要な場合があります。
- 音量は“Sony | Headphones Connect”アプリ上で調節することもできます。
  通話するときの音量と音楽を聞くときの音量を、それぞれ調節できます。音楽再生中に音量を変えても、通話時の音量は変わりません。
- 充電ケースから片側のヘッドセットだけを取り出して耳に装着し、片耳で音楽を聞くこともできます。
  R側だけを耳に装着している場合は、R側のタッチセンサーで音楽再生の操作ができます。
  L側だけを耳に装着している場合は、接続機器側で音楽再生の操作をしてください。
  片側のヘッドセットで音楽を聞いているときにもう片側のヘッドセットを耳に装着すると、両耳で音楽を聞くことができます。

ご注意

- 音楽再生中でないときは、音量はヘッドセットでは調節できません。
- 通信状態が悪いと、ヘッドセットの操作に対してBluetooth機器が誤動作する場合があります。

関連項目

- ヘッドセットを装着する
- 片側のヘッドセットだけを使う
- Bluetooth接続をするには
- 音楽再生時にできること（Bluetooth接続）

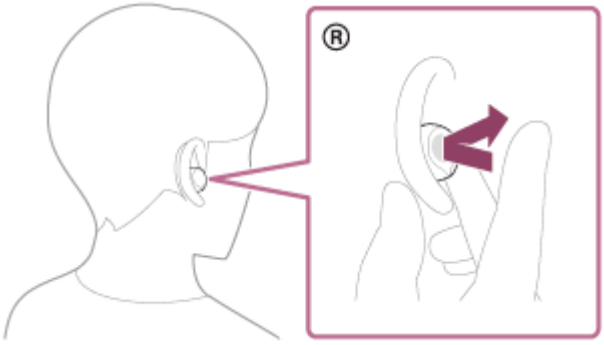
5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

音楽再生時にできること（Bluetooth接続）

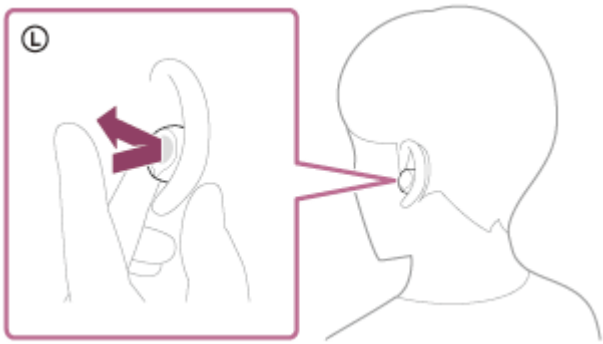
お使いのBluetooth機器が機器操作機能（対応プロファイル：AVRCP）に対応していれば、以下のような操作が可能です。Bluetooth機器によって利用できる機能は異なりますので、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

R側のヘッドセットで以下の操作ができます。



- 再生／一時停止：タッチセンサーをタップします。
- 次の曲の頭出し：タッチセンサーをすばやく（約0.3秒間隔で）2回タップします。
- 前（または再生中）の曲の頭出し：タッチセンサーをすばやく（約0.3秒間隔で）3回タップします。
- 音量を上げる：再生中にタッチセンサーをすばやく（約0.4秒以内の間隔で）4回以上連続してタップします。
  タップし続けている間、タップ数に関係なく、約0.4秒間隔で通知音が鳴るとともに音量が1ステップずつ上がります。
  音量が最大になると、警告音が鳴ります。

L側のヘッドセットで以下の操作ができます。



- 音量を下げる：再生中にタッチセンサーをすばやく（約0.4秒以内の間隔で）4回以上連続してタップします。
  タップし続けている間、タップ数に関係なく、約0.4秒間隔で通知音が鳴るとともに音量が1ステップずつ下がります。
  音量が最小になると、警告音が鳴ります。

ご注意

- 音楽再生中でないときは、音量はヘッドセットでは調節できません。
- 通信状態が悪いと、ヘッドセットの操作に対してBluetooth機器が誤動作する場合があります。
- 接続する機器、使用する音楽ソフトやアプリによって利用できる操作が異なります。上記の操作をしても異なる動作をしたり、動作しない場合があります。
- iPhoneをお使いの場合は、R側のタッチセンサーに触れたままにすると、Siriが起動する場合があります。

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

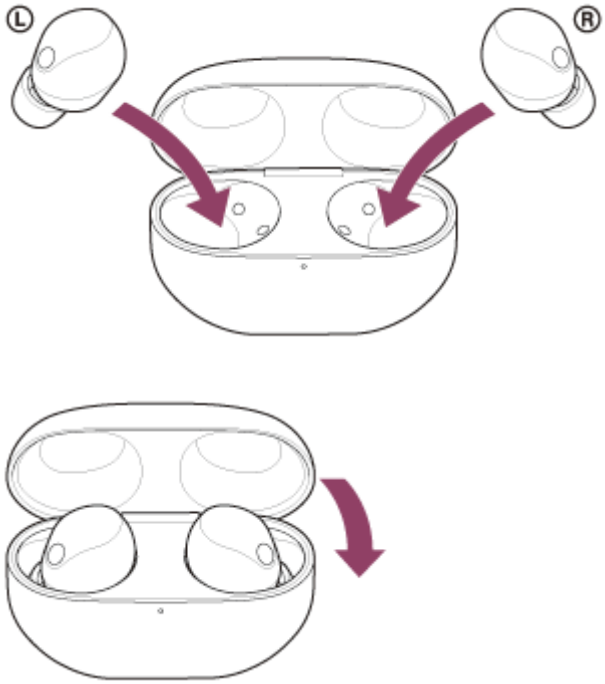
Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）

1 Bluetooth機器を操作してBluetooth接続を切断する。

ヘッドセットを耳に装着している場合は、両側のヘッドセット（片側だけを装着している場合は装着している側）から通知音が同時に鳴ります。

2 ヘッドセットを充電ケースにセットし、ふたを閉める。

L側（凸点のついた側）のヘッドセットを充電ケースの左側のくぼみに、R側を右側のくぼみに戻します。充電ケースに内蔵された磁石により、ヘッドセットは充電ケースの正しい位置に収まります。



ヘッドセットの電源が切れます。

ヒント

- Bluetooth機器の種類によっては、音楽の再生を終了すると、自動的にBluetooth接続を切断する場合があります。

関連項目

- ヘッドセットの電源を切る

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

360 Reality Audioについて

360 Reality Audioとは

360 Reality Audioは、ソニーの360立体音響技術を使った新しい音楽体験です。
ボーカルやコーラス、楽器などの音源一つひとつに位置情報をつけ、球状の空間に配置。
アーティストの生演奏に囲まれているかのような、没入感のある立体的な音場を体感できます。

使用条件

iOSやAndroidを搭載したスマートフォンやタブレットに360 Reality Audioに対応した音楽ストリーミングサービス（有料）のアプリをダウンロードしてお使いください。
“Sony | Headphones Connect”アプリにより音場やヘッドセットの音響特性を最適化することで、よりリアルな臨場感を楽しめます。

360 Reality Audioについて詳しくは、下記のサイトをご確認ください。
https://www.sony.net/360RA/

ご注意

- 一部の国や地域ではサービスを利用できません。

関連項目

- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

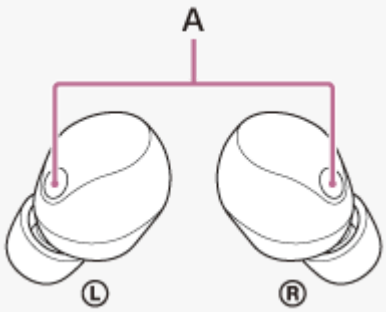
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

ノイズキャンセリング機能とは

ノイズキャンセリング機能とは、外部の環境ノイズ（乗り物内の騒音や室内の空調音など）と逆位相の音を出し、ノイズを打ち消すことで環境ノイズが低減して聞こえる機能です。

ご注意

- 静かな場所やノイズの種類によっては、ノイズキャンセリング効果が感じられない、またはノイズが大きくなったと感じられる場合があります。
- ヘッドセットを耳に装着しているとき、装着状態によっては、ノイズキャンセリング効果が減少したり、ピーという音（ハウリング）が出たりすることがあります。この場合は、ヘッドセットを耳に装着し直してください。
- ノイズキャンセリング機能は、乗り物や空調などの主に低い周波数帯域の騒音に対して最も効果を発揮します。すべての音が打ち消されるわけではありません。
- 自動車、バスなどでご使用の場合、路面状況によっては、ノイズが発生することがあります。
- 携帯電話の影響によりノイズが入ることがあります。この場合は、携帯電話からヘッドセットを離してください。
- 左右のヘッドセットのマイク部分を手などで覆わないでください。ノイズキャンセリング機能や外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）の効果が得られなくなったり、ピーという音（ハウリング）が出たりすることがあります。このような場合は、左右のマイク部分から手などを離してください。



A : マイク（左、右）

関連項目

- ノイズキャンセリング機能を使う

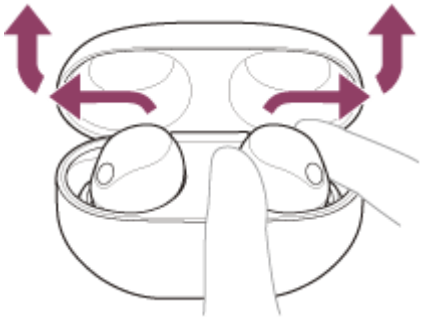
5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

ノイズキャンセリング機能を使う

ノイズキャンセリング機能を使うと、周囲の雑音を気にせずに音楽を楽しむことができます。

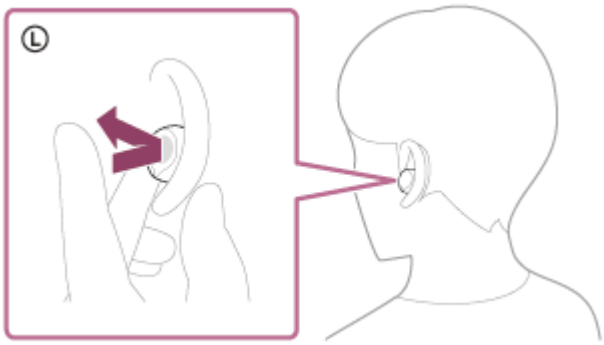
1 ヘッドセットを横に倒し、充電ケースから取り出す。



自動的に電源が入ります。
お買い上げ後初めてお使いになるときやヘッドセットを初期化した直後は、ヘッドセットの電源が入ると自動的にノイズキャンセリング機能がオンになります。2回目以降は、前回の設定が保持されます。

2 ヘッドセットを耳に装着する。

3 L側のタッチセンサーをタップして、ノイズキャンセリング機能の設定を切り替える。



タップするたびに機能が次のように切り替わります。

外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）「オン」
両側のヘッドセット（L側だけを装着している場合はL側）から通知音が同時に鳴ります。



ノイズキャンセリング機能「オン」
両側のヘッドセット（L側だけを装着している場合はL側）から通知音が同時に鳴ります。

取扱説明動画について

ノイズキャンセリング機能の使いかたは、動画でご覧いただけます。
https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0057/ja/

ヒント

- ノイズキャンセリング機能のオン／オフの切り替え、ノイズキャンセリング機能や外音取り込み機能の設定は、“Sony | Headphones Connect”アプリでも変更できます。
- L側のヘッドセットをタップしたときに切り替わる機能は、“Sony | Headphones Connect”アプリで以下のいずれかに切り替えることができます。
  - ノイズキャンセリング機能「オン」 ➡ 外音取り込み機能「オン」 ➡ ノイズキャンセリング機能「オフ」／外音取り込み機能「オフ」
  - ノイズキャンセリング機能「オン」 ➡ 外音取り込み機能「オン」
  - 外音取り込み機能「オン」 ➡ ノイズキャンセリング機能「オフ」／外音取り込み機能「オフ」
  - ノイズキャンセリング機能「オン」 ➡ ノイズキャンセリング機能「オフ」／外音取り込み機能「オフ」
- ヘッドセットの片側のみを装着した場合、前回の設定がノイズキャンセリング機能になっていても、外音取り込み機能がオンになります。両側のヘッドセットを装着すると、ノイズキャンセリング機能がオンになります。

ご注意

- 付属のイヤーピースを使用しないと、ノイズキャンセリング機能の効果が充分に発揮できません。
- ヘッドセットがしっかりと耳に装着されていないと、ノイズキャンセリング機能が正常に動作しない場合があります。ヘッドセットを回転させて、しっかりと耳に装着してください。
- 左右のヘッドセットのマイク部分を手などで覆わないでください。ノイズキャンセリング機能や外音取り込み機能の効果が得られなくなったり、ピーという音（ハウリング）が出たりすることがあります。このような場合は、左右のマイク部分から手などを離してください。

関連項目

- ヘッドセットの電源を入れる
- ヘッドセットを装着する
- ノイズキャンセリング機能とは
- 音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード））
- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

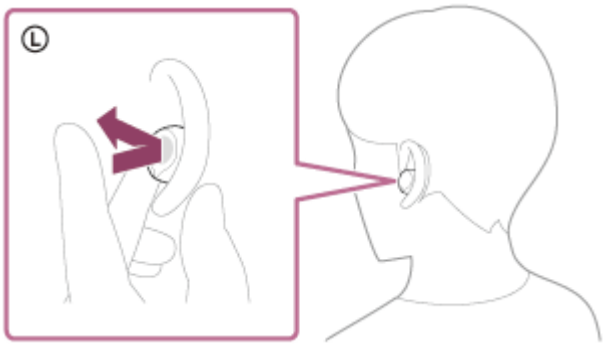
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード））

左右のヘッドセットに内蔵されているマイクにより、周囲の音を聞き取りやすくし、周囲の音を確認しながら音楽を楽しむことができます。

外音取り込み機能を使用するには

ノイズキャンセリング機能がオンの状態で、L側のタッチセンサーをタップします。



外音取り込み機能の設定を変更するには

ヘッドセットを“Sony | Headphones Connect”アプリをインストールしたスマートフォンとBluetooth接続して、外音取り込み機能の設定を変更できます。
ボイスフォーカス：騒音を抑えつつアナウンスや人の声のみを取り込み、音楽と一緒に聞こえるようにします。

外音取り込み機能をオフにするには

L側のタッチセンサーをタップして、外音取り込み機能をオフにします。
タップするたびに機能が次のように切り替わります。

ノイズキャンセリング機能「オン」
両側のヘッドセット（L側だけを装着している場合はL側）から通知音が同時に鳴ります。



外音取り込み機能「オン」
両側のヘッドセット（L側だけを装着している場合はL側）から通知音が同時に鳴ります。

取扱説明動画について

外音取り込み機能の使いかたは、動画でご覧いただけます。
https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0057/ja/

ヒント

- “Sony | Headphones Connect”アプリで変更した外音取り込み機能の設定はヘッドセットに記憶されます。一度設定を変更すれば、“Sony | Headphones Connect”アプリがインストールされていない機器の音楽を聞くときでも、外音取り込み機能をオンにするだけで記憶された設定で聞くことができます。
- L側のヘッドセットをタップしたときに切り替わる機能は、“Sony | Headphones Connect”アプリで以下のいずれかに切り替えることができます。
  - ノイズキャンセリング機能「オン」 ➡ 外音取り込み機能「オン」 ➡ ノイズキャンセリング機能「オフ」／外音取り込み機能「オフ」
  - ノイズキャンセリング機能「オン」 ➡ 外音取り込み機能「オン」
  - 外音取り込み機能「オン」 ➡ ノイズキャンセリング機能「オフ」／外音取り込み機能「オフ」

– ノイズキャンセリング機能「オン」 ➡ ノイズキャンセリング機能「オフ」／外音取り込み機能「オフ」

ご注意

- 外音取り込み機能を使用しても、周囲の状況や再生中の音の種類や音量によっては、周囲の音が聞き取れない場合があります。周囲の音が聞こえないと危険な場所（車や自転車の通る道など）では、ヘッドセットを使用しないでください。
- 外音取り込み機能をオンにすると、周囲の環境によっては風切り音が大きくなることがあります。このような場合は、外音取り込み機能をオフにしてご使用ください。
- ヘッドセットがしっかりと耳に装着されていないと、外音取り込み機能が正常に動作しない場合があります。ヘッドセットを回転させて、しっかりと耳に装着してください。
- 左右のヘッドセットのマイク部分を手などで覆わないでください。ノイズキャンセリング機能や外音取り込み機能の効果が得られなくなったり、ピーという音（ハウリング）が出たりすることがあります。このような場合は、左右のマイク部分から手などを離してください。
- 周囲の音がかなり大きい環境で外音取り込み機能をオンにすると、ノイズ音が聞こえる場合があります。これは不具合ではありません。このような場合は、ノイズキャンセリング機能をオンにするか、ノイズキャンセリング機能と外音取り込み機能をオフにしてご使用ください。

関連項目

- ヘッドセットを装着する
- ノイズキャンセリング機能を使う
- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

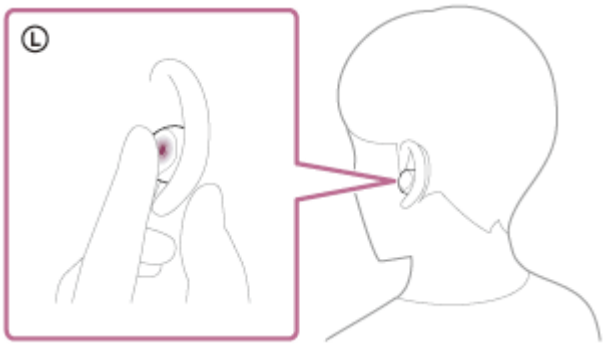
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

すばやく周囲の音を聞きたいときは（クイックアテンションモード）

再生中の音楽や通話音声、着信音の音量を下げ、さらに外音を取り込むことで周囲の音を聞き取りやすくします。電車内のアナウンスなどをすぐに聞きたいときに便利です。

クイックアテンションモードを使用するには

L側のタッチセンサーに触れたままにします。クイックアテンションモードは、タッチセンサーに触れている間だけ動作します。



クイックアテンションモードを解除するには

タッチセンサーから指を離します。

取扱説明動画について

クイックアテンションモードの使いかたは、動画でご覧いただけます。
https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0058/ja/

ご注意

- クイックアテンションモードを使用しても、周囲の状況や再生中の音の種類や音量によっては、周囲の音が聞き取れない場合があります。周囲の音が聞こえないと危険な場所（車や自転車の通る道など）では、ヘッドセットを使用しないでください。
- ヘッドセットがしっかりと耳に装着されていないと、クイックアテンションモードが正常に動作しない場合があります。ヘッドセットを回転させて、しっかりと耳に装着してください。
- 使用するイヤーピースのサイズによっては、クイックアテンションモードの効果が感じにくい場合があります。周囲の音が最も聞こえにくくなるサイズを選んでください。

関連項目

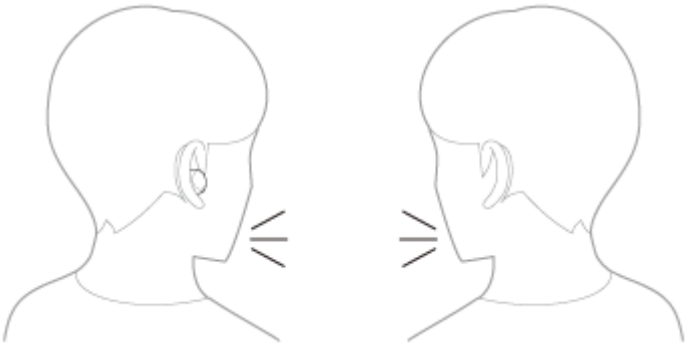
- イヤーピースを交換する
- ヘッドセットを装着する

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）

事前にスピーク・トゥ・チャットを有効に設定しておくと、相手に話しかけることで、自動的にスピーク・トゥ・チャットモードが起動します。
再生中の音楽は、一時停止または消音し、相手の音声をマイクで取り込み聞きやすくします。
ヘッドセット装着者が発話した音声をヘッドセットが検出しない状態が一定時間続くと自動的にスピーク・トゥ・チャットモードが終了します。
その前に終了したいときは、L側かR側のどちらかのタッチセンサーをタップしてください。



スピーク・トゥ・チャットを有効にするには

スピーク・トゥ・チャットモードを起動するには、事前にスピーク・トゥ・チャットを有効にしておく必要があります。
お買い上げ時はスピーク・トゥ・チャットは無効に設定されています。有効にするには、“Sony | Headphones Connect”アプリで設定を変更してください。

スピーク・トゥ・チャットを無効にするには

無効にするには、“Sony | Headphones Connect”アプリで設定を変更してください。

取扱説明動画について

スピーク・トゥ・チャットの使いかたは、動画でご覧いただけます。
https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0059/ja/

ヒント

- スピーク・トゥ・チャットモードは以下の場合にも終了します。
  - 接続機器側で音楽再生操作をしたとき
  - 装着検出による自動電源オフ機能を有効に設定していて、両側のヘッドセットを耳から取り外したとき
- “Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、有効／無効の切り替えのほかに、音声自動検出の感度変更、スピーク・トゥ・チャットモードが終了するまでの時間変更ができます。お買い上げ時の設定では、終了するまでの時間は約15秒となっています。

ご注意

- スピーク・トゥ・チャットモードは、ヘッドセット装着者の発話を検出して起動しますが、まれに意図せずに歯磨き、電動歯ブラシ、電動マッサージ器、電動シェーバー、咳、鼻歌などの振動などに反応して起動することがあります。スピーク・トゥ・チャットモードが起動することが多い場合は、スピーク・トゥ・チャットを「低感度」に設定してください。
- スピーク・トゥ・チャットモード起動時に再生中の音楽が一時停止されるのはBluetooth接続時のみです。
- お使いの接続機器や再生アプリケーションによっては、スピーク・トゥ・チャットモード起動時の再生中の音楽や動画コンテンツの一時停止、スピーク・トゥ・チャットモード終了時の音楽の再開には対応していません。

- 音楽の再生音量が大きい、ヘッドセットが耳に正しく装着できていない、発話する声量が小さいなどの場合、ヘッドセット装着者の発話が検出されず、スピーク・トゥ・チャットが起動しないことがあります。
  この場合は、長めに発話する、正しい装着を確認する、声量を大きくする、音楽の再生音量を下げる、スピーク・トゥ・チャットを「高感度」に設定することで改善する場合があります。

関連項目

- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

音質モードについて

Bluetooth再生時の音質モードを次の2通りから選べます。“Sony | Headphones Connect”アプリで設定を切り替えたり、音質モードを確認したりすることができます。
音質優先：再生音質を優先します。
接続優先：接続の途切れにくさを優先します（お買い上げ時の設定）。

- 再生音質を優先したいときは、音質優先に設定してください。
- 音切れしやすいなど接続が不安定なときは、接続優先に設定してください。

ご注意

- 音質優先モードでは、再生時間が短くなる場合があります。
- お使いの環境によっては、接続優先にしても音の途切れが改善されない場合もあります。

関連項目

- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

対応コーデックについて

コーデックとはBluetooth接続で音声を無線伝送する際に使用する「音声圧縮変換方式」のことです。
ヘッドセットは以下のコーデックに対応しています。
Classic AudioのA2DPで接続しているとき（音楽再生の接続）：SBC、AAC、LDAC
LE Audioで接続しているとき：LC3

- SBC
  Subband Codecの略です。
  SBCは、Bluetooth機器が標準で使用する音声圧縮技術です。
  Classic Audioを使用するBluetooth機器は、必ずSBCに対応しています。

- AAC
  Advanced Audio Codingの略です。
  AACは、主にiPhoneなどのApple製品で使用されており、SBCに比べ高音質です。

- LDAC
  LDACは、ソニーが開発したハイレゾ音源をBluetooth通信経由でも伝送可能とする音声圧縮技術です。SBCなどの既存Bluetooth通信向け圧縮技術とは異なり、ハイレゾ音源を低い周波数・低いビット数へダウンコンバートすることなく処理します*。
  また極めて効率的な符号化やパケット配分の最適化を施すことで、従来技術比約3倍**のデータ量の送信を可能とし、これまでにない高音質のBluetooth無線伝送を実現しています。

- LC3
  Low Complexity Communication Codecの略です。
  LC3はLE Audioのコーデックで、低遅延での伝送を実現しています。

* DSDフォーマットは除く。
** LDACで990 kbps（96/48 kHz）または909 kbps（88.2/44.1 kHz）のビットレートが選択された場合のSBCとの比較。

Classic Audio接続時、接続機器がSBC、AAC、LDACのいずれかのコーデックで音楽を送信してきたときは、自動的にそのコーデックに対応し音楽再生します。
LDACで再生したい場合は、“Sony | Headphones Connect”アプリを使用して、音質モードを「音質優先」に設定してください。「接続優先」（お買い上げ時の設定）では、LDACでの再生ができません。
SBCよりも高音質なコーデックに対応している接続機器の場合、対応しているコーデックの中から希望するコーデックで音楽を楽しむために、事前に接続機器側の設定が必要な場合があります。
コーデックの設定については接続機器の取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- 音質モードについて

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

DSEE Extremeについて

音楽ファイルの高音域を補完するとともに、サンプリング周波数とビットレートを本来の数値より高めることで、MP3などの高圧縮音源もCD以上の高解像になり、よりクリアな躍動感あるサウンドを楽しめます。さらに、周波数特性の補完には、AI（人工知能）技術を用いることで、高音域の補完性能が向上しました。
“Sony | Headphones Connect”アプリで設定を切り替えることができます。

ご注意

- DSEE Extremeを［Auto］に設定していると、使用可能時間が短くなります。

関連項目

- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること
- 使用可能時間

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

電話を受ける

お使いのスマートフォン／携帯電話がBluetoothプロファイルのHFP（Hands-free Profile）またはHSP（Headset Profile）に対応していれば、ヘッドセットとBluetooth接続してハンズフリー通話ができます。

- スマートフォン／携帯電話がHFPとHSPの両方に対応している場合は、HFPを使用してください。
- 操作はスマートフォン／携帯電話によって異なることがあります。お使いのスマートフォン／携帯電話の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- お使いの接続機器やアプリケーションによっては、ヘッドセットの操作で機能が正しく動作しない場合があります。

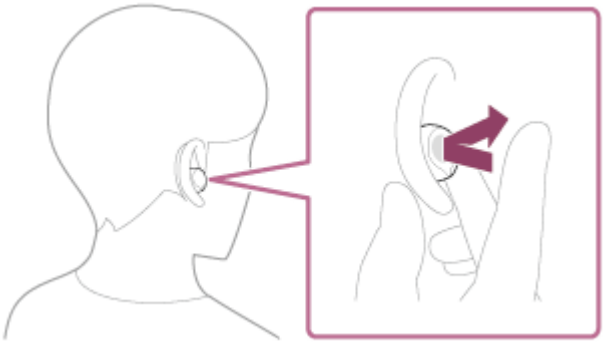
着信音について

着信すると、ヘッドセットから着信音が聞こえます。
ヘッドセットから聞こえる着信音は、スマートフォン／携帯電話によって以下のいずれかとなります。

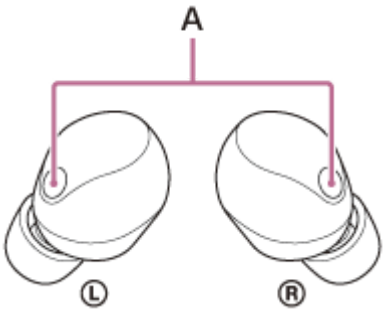
- ヘッドセットの着信音
- スマートフォン／携帯電話の着信音
- スマートフォン／携帯電話のBluetooth接続専用の着信音

1. **あらかじめヘッドセットとスマートフォン／携帯電話をBluetooth接続しておく。**

2. **着信したら、L側かR側のどちらかのタッチセンサーをすばやく（約0.3秒間隔で）2回タップして電話を受ける。**



ヘッドセットから音声が聞こえます。
音楽再生中に着信すると、音楽が自動的に一時停止し、着信音が聞こえます。
再生中の音楽が一時停止しない場合は、手動で一時停止してください。
左右のヘッドセットのマイクを通して会話できます。



A：マイク（左、右）

ヘッドセットから着信音が聞こえない場合は

HFPまたはHSPで接続されていない可能性があります。スマートフォン／携帯電話側の接続状況を確認してください。

3 **スマートフォン／携帯電話を操作して、音量を調節する。**

4 **通話が終了したら、L側かR側のどちらかのタッチセンサーをすばやく（約0.3秒間隔で）2回タップして電話を切る。**

音楽再生中に着信した場合は、電話を切ると再生を再開します。

ヒント

- スマートフォン／携帯電話を操作して電話を受けた場合、機種によっては、スマートフォン／携帯電話での通話が優先されることがあります。HFP接続の場合、スマートフォン／携帯電話を操作して、通話をヘッドセットに切り替えてください。
- 音量は“Sony | Headphones Connect”アプリ上で調節することもできます。
  通話するときの音量と音楽を聞くときの音量を、それぞれ調節できます。通話中に音量を変えても、音楽再生時の音量は変わりません。
- 片側のヘッドセットだけを耳に装着している場合でも通話ができます。着信したら、装着している側のヘッドセットを操作して電話を受けます。片側のヘッドセットで通話中にもう片側のヘッドセットを耳に装着すると、両耳で通話できます。

ご注意

- お使いの接続機器や再生アプリケーションによっては、音楽再生中に着信しても、音楽が一時停止しないことがあります。また、音楽再生中に着信した通話を終了しても、自動的に再生を再開しないことがあります。
- スマートフォン／携帯電話は、ヘッドセットから50 cm以上離してお使いください。ヘッドセットとスマートフォン／携帯電話が近いとノイズが入ることがあります。
- 通話中に自分の声をより聞こえやすくするため、マイクが作動し外音を取り込みます（サイドトーン機能）。自分の声が大きく聞こえたり周囲の音が気になる場合は、“Sony | Headphones Connect”アプリで［通話時の自分の声の取り込み］をオフにしてください。
- 通話するときの音量はヘッドセットでは調節できません。接続機器側か“Sony | Headphones Connect”アプリ上で調節してください。
- 通話者の声質や周囲の環境ノイズによっては、ヘッドセットに搭載されている音声信号処理が十分に働かず、通話品質が損なわれる場合があります。

関連項目

- 片側のヘッドセットだけを使う
- Bluetooth接続をするには
- 電話をかける
- 通話時にできること
- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

電話をかける

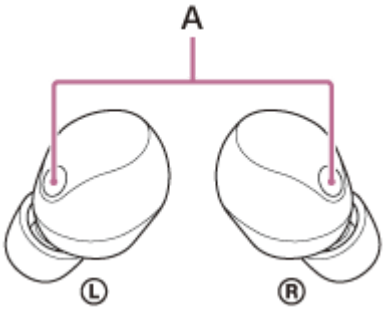
お使いのスマートフォン／携帯電話がBluetoothプロファイルのHFP（Hands-free Profile）またはHSP（Headset Profile）に対応していれば、ヘッドセットとBluetooth接続してハンズフリー通話ができます。

- スマートフォン／携帯電話がHFPとHSPの両方に対応している場合は、HFPを使用してください。
- 操作はスマートフォン／携帯電話によって異なることがあります。お使いのスマートフォン／携帯電話の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- お使いの接続機器やアプリケーションによっては、ヘッドセットの操作で機能が正しく動作しない場合があります。

1 ヘッドセットとスマートフォン／携帯電話をBluetooth接続する。

2 お使いのスマートフォン／携帯電話を操作して発信する。

発信すると、ヘッドセットから発信音が聞こえます。
音楽再生中に発信すると、音楽が自動的に一時停止します。
再生中の音楽が一時停止しない場合は、手動で一時停止してください。
左右のヘッドセットのマイクを通して会話できます。



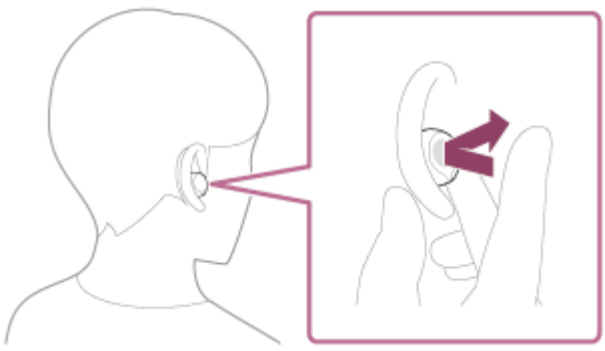
A : マイク（左、右）

ヘッドセットから発信音が聞こえない場合は

スマートフォンや携帯電話を操作して、ヘッドセットに音声を切り替えてください。

3 スマートフォン／携帯電話を操作して、音量を調節する。

4 通話が終了したら、L側かR側のどちらかのタッチセンサーをすばやく（約0.3秒間隔で）2回タップして電話を切る。



音楽再生中に発信したときは、電話を切ると再生を再開します。

ヒント

- 音量は“Sony | Headphones Connect”アプリ上で調節することもできます。
  通話するときの音量と音楽を聞くときの音量を、それぞれ調節できます。通話中に音量を変えても、音楽再生時の音量は変わりません。
- 片側のヘッドセットだけを耳に装着している場合でも通話ができます。片側のヘッドセットで通話中にもう片側のヘッドセットを耳に装着すると、両耳で通話できます。

ご注意

- お使いの接続機器や再生アプリケーションによっては、音楽再生中に発信した通話を終了しても、自動的に再生を再開しないことがあります。
- スマートフォン／携帯電話は、ヘッドセットから50 cm以上離してお使いください。ヘッドセットとスマートフォン／携帯電話が近いとノイズが入ることがあります。
- 通話中に自分の声をより聞こえやすくするため、マイクが作動し外音を取り込みます（サイドトーン機能）。自分の声が大きく聞こえたり周囲の音が気になる場合は、“Sony | Headphones Connect”アプリで［通話時の自分の声の取り込み］をオフにしてください。
- 通話するときの音量はヘッドセットでは調節できません。接続機器側か“Sony | Headphones Connect”アプリ上で調節してください。
- 通話者の声質や周囲の環境ノイズによっては、ヘッドセットに搭載されている音声信号処理が十分に働かず、通話品質が損なわれる場合があります。

関連項目

- 片側のヘッドセットだけを使う
- Bluetooth接続をするには
- 電話を受ける
- 通話時にできること
- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

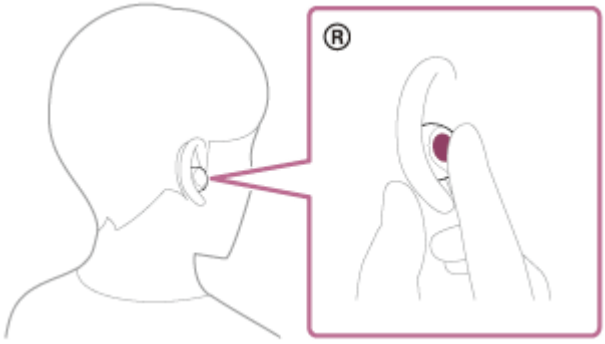
通話時にできること

通話時にできることは、お使いのスマートフォン／携帯電話が対応しているプロファイルによって異なります。また、プロファイルが同じでも、スマートフォン／携帯電話によって利用できる機能が異なります。
お使いの接続機器やアプリケーションによっては、ヘッドセットの操作で機能が正しく動作しない場合があります。
お使いのスマートフォン／携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

スマートフォン／携帯電話がHFP（Hands-free Profile）対応のとき

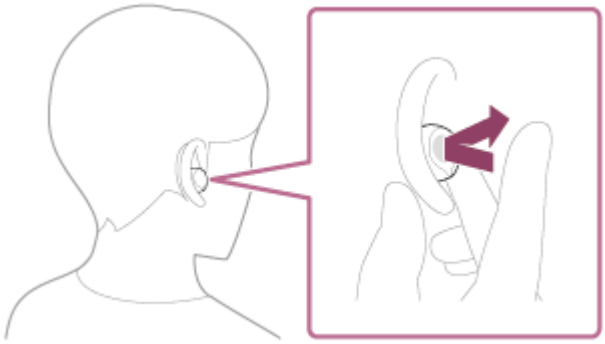
待ち受け中／音楽再生中
R側のヘッドセットで以下の操作ができます。

- スマートフォン／携帯電話のボイスダイヤル機能や、Android搭載スマートフォンのGoogleアプリ、iPhoneのSiriを起動：タッチセンサーに約2秒以上触れたままにします。



発信中
L側／R側のどちらのヘッドセットでも以下の操作ができます。
片側だけを耳に装着しているときは、装着している側のヘッドセットで操作してください。

- 発信中止：タッチセンサーをすばやく（約0.3秒間隔で）2回タップします。

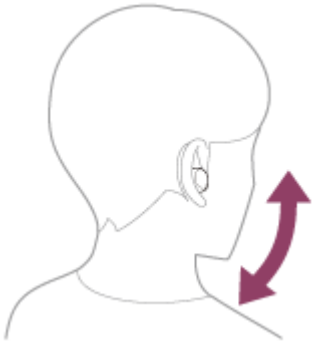


着信中
L側／R側のどちらのヘッドセットでも以下の操作ができます。
片側だけを耳に装着しているときは、装着している側のヘッドセットで操作してください。

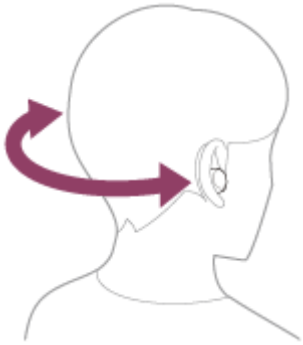
- 電話を受ける：タッチセンサーをすばやく（約0.3秒間隔で）2回タップします。
- 着信拒否：タッチセンサーに約2秒以上触れたままにします。

“Sony | Headphones Connect”アプリで［ヘッドジェスチャー］を有効にしているときは、ヘッドセットを装着した状態で以下の操作ができます。

- 電話を受ける：頭を縦に振ります。



- 着信拒否：頭を横に振ります。



通話中

L側／R側のどちらのヘッドセットでも以下の操作ができます。
片側だけを耳に装着しているときは、装着している側のヘッドセットで操作してください。

- 通話終了：タッチセンサーをすばやく（約0.3秒間隔で）2回タップします。

スマートフォン／携帯電話がHSP（Headset Profile）対応のとき

L側／R側のどちらのヘッドセットでも以下の操作ができます。
片側だけを耳に装着しているときは、装着している側のヘッドセットで操作してください。

発信中

- 発信中止：タッチセンサーをすばやく（約0.3秒間隔で）2回タップします。

着信中

- 電話を受ける：タッチセンサーをすばやく（約0.3秒間隔で）2回タップします。

通話中

- 通話終了：タッチセンサーをすばやく（約0.3秒間隔で）2回タップします。

ご注意

- “Sony | Headphones Connect”アプリで［ヘッドジェスチャー］を有効にしている場合、片側のヘッドセットだけをお使いのときは、ヘッドセットが正しく動作しないことがあります。
- “Sony | Headphones Connect”アプリで［ヘッドジェスチャー］を有効にしている場合、お使いの接続機器やアプリケーションによっては、ヘッドジェスチャーの操作で機能が正しく動作しないことがあります。

関連項目

- 片側のヘッドセットだけを使う
- 電話を受ける
- 電話をかける

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

パソコンでビデオ通話する

パソコンでビデオ通話するときに、ヘッドセットからワイヤレスで通話することができます。

1. **ヘッドセットとパソコンをBluetooth接続する。**
2. **パソコンのビデオ通話用アプリを起動する。**
3. **ビデオ通話用アプリの設定*を確認する。**
   - パソコンでビデオ通話するときは、音楽再生の接続（A2DP）ではなく、通話の接続（HFP/HSP）を選びます。音楽再生の接続を選ぶと、通話できない場合があります。
   - スピーカーの設定で、通話の接続［ヘッドセット (WF-1000XM5 Hands-Free)］**を選びます。（［ヘッドホン (WF-1000XM5 Stereo)］**は音楽再生の接続です。）
   - マイクの設定で、通話の接続［ヘッドセット (WF-1000XM5 Hands-Free)］**を選びます。マイクが設定されていない場合、ヘッドセット装着者が発話した音声をヘッドセットが検出してスピーク・トゥ・チャットモードが起動し、ヘッドセットからの音声が消音されます。
   - お使いのビデオ通話用アプリによっては、スピーカーの設定やマイクの設定で、通話の接続［ヘッドセット (WF-1000XM5 Hands-Free)］**や音楽再生の接続［ヘッドホン (WF-1000XM5 Stereo)］**を選択できず、［WF-1000XM5］のみ表示される場合があります。その場合は、［WF-1000XM5］を選んでください。
   - その他、よくあるお問い合わせとその回答をサポートホームページでご案内していますので、ご覧ください。

* お使いのビデオ通話用アプリによっては、機能がない場合があります。
** 名称はお使いのパソコンやビデオ通話用アプリによって異なります。

ヒント

- ビデオ通話用アプリの設定が確認できない場合や、通話の接続［ヘッドセット (WF-1000XM5 Hands-Free)］を選択できない場合は、パソコンの設定から［ヘッドセット (WF-1000XM5 Hands-Free)］を選び、接続してください。「機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 11）」、「機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 10）」、「機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Mac）」をご覧ください。

ご注意

- スピーク・トゥ・チャットが有効になっている場合、マイクが正しく設定されていないと、発話によってスピーク・トゥ・チャットモードが起動し、ヘッドセットからの音声が消音されることがあります。
- お使いのビデオ通話用アプリによっては、マイクの設定ができない場合があります。その場合は、“Sony | Headphones Connect”アプリを使ってスピーク・トゥ・チャットを無効にしてください。
- お使いのパソコンやアプリケーションによって、ビデオ通話中にヘッドセットが正しく動作しない場合があります。また、パソコンを再起動すると症状が改善する場合があります。

関連項目

- Bluetooth接続をするには
- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows® 11）

- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 10）
- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Mac）
- 機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 11）
- 機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 10）
- 機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Mac）
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）
- ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）
- サポートホームページで調べる

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

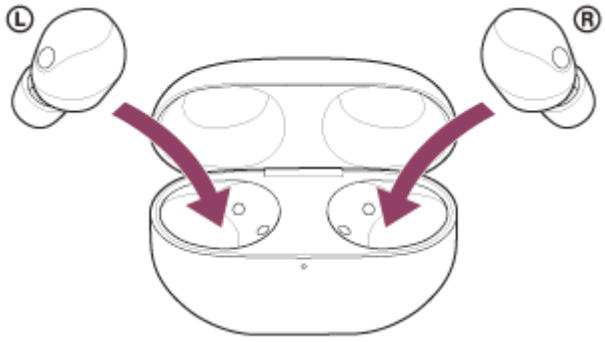
Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）

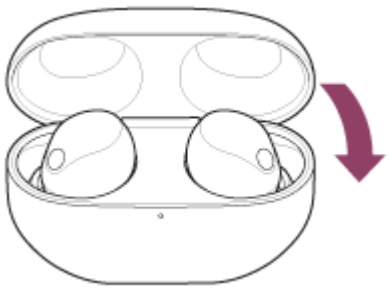
1 Bluetooth機器を操作してBluetooth接続を切断する。

ヘッドセットを耳に装着している場合は、両側のヘッドセット（片側だけを装着している場合は装着している側）から通知音が同時に鳴ります。

2 ヘッドセットを充電ケースにセットし、ふたを閉める。

L側（凸点のついた側）のヘッドセットを充電ケースの左側のくぼみに、R側を右側のくぼみに戻します。充電ケースに内蔵された磁石により、ヘッドセットは充電ケースの正しい位置に収まります。





ヘッドセットの電源が切れます。

ヒント

- Bluetooth機器の種類によっては、音楽の再生を終了すると、自動的にBluetooth接続を切断する場合があります。

関連項目

- ヘッドセットの電源を切る

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

Google アシスタントを使う（タッチセンサーで操作）

スマートフォンに搭載されているGoogle アシスタントを起動して、ヘッドセットのマイクから、声でスマートフォンを操作したり、調べものをしたりすることができます。

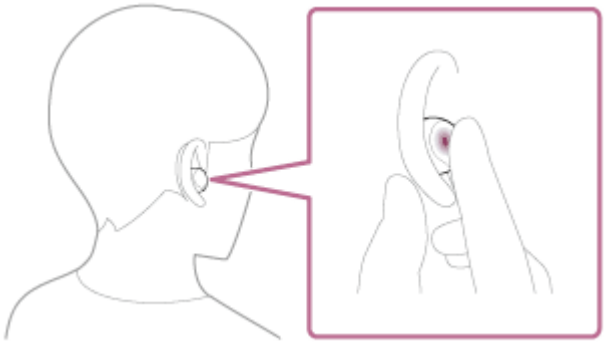
対応するスマートフォン
Android™ 6.0以降

1 “Sony | Headphones Connect”アプリを起動し、タッチセンサーの機能をGoogle アシスタントに変更する。

Google アシスタントは、タッチセンサーに音楽再生機能を割り当てている側のヘッドセットに設定することができます。“Sony | Headphones Connect”アプリを使うと、左右のタッチセンサーへの機能の割り当てを変更できます。
“Sony | Headphones Connect”アプリについて詳しくは、下記URLをご覧ください。
https://rd1.sony.net/help/mdr/hpc/h_zz/
初回接続時は、Google アシスタントを起動して会話画面で［ヘッドフォンの設定を完了］をタッチし、スマートフォン画面の指示に従ってGoogle アシスタントの初期設定を完了してください。

2 Google アシスタントを設定した側のタッチセンサーを操作してGoogle アシスタントを使う。

- タッチセンサーに触れたままにすると音声入力が開始され、指を離すと音声入力を終了します。



- タッチセンサーに触れている間に音声入力が確認されない場合、指を離すと通知を読み上げます。

Google アシスタントの詳しい操作については、以下のホームページをご覧ください。
https://assistant.google.com/intl/ja_jp/

Google アシスタントでヘッドセットの操作をする

Google アシスタントで特定のワードを呼びかけることで、ノイズキャンセリングの設定などのヘッドセットの操作を行うことができます。
詳細については、以下のホームページ*をご覧ください。
https://support.google.com/assistant/answer/7172842#headphones

* ホームページで案内されているすべての仕様に対応しているわけではありません。

ヒント

- ヘッドセットのソフトウェアバージョンの確認とアップデートは、“Sony | Headphones Connect”アプリで行ってください。
- ネットワークに接続されていないなどの理由でGoogle アシスタントが使用できないときは、両側のヘッドセット（片側だけを装着している場合は装着している側）から音声ガイダンス「Google アシスタントが接続されていません」が流れます。

- Google アシスタントの会話画面で［ヘッドフォンの設定を完了］が表示されていないときは、スマートフォンのBluetooth設定からヘッドセットの機器登録（ペアリング）情報を削除して、もう一度ペアリングを行ってください。

ご注意

- スマートフォンでGoogle アシスタントの初期設定を行った際に、L側／R側のタッチセンサーのどちらの機能がGoogle アシスタントに設定されるかは、各種機能の設定や使用条件により変化します。タッチセンサーの機能を元の機能に戻す場合は、“Sony | Headphones Connect”アプリで変更してください。
- Google アシスタントは、タッチセンサーに音楽再生機能を割り当てている側のヘッドセットに設定することができます。片側だけでGoogle アシスタントを使用したい場合は、使用したい側のヘッドセットのタッチセンサーに音楽再生機能を割り当て、Google アシスタントを設定してください。
  音楽再生機能を割り当てていない側ではGoogle アシスタントは使用できません。“Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、左右のタッチセンサーへの機能の割り当てを変更できます。
- Google アシスタントとAmazon Alexaを、同時に設定することはできません。
- Google アシスタントは、一部の言語、国や地域では使用できません。
- Google アシスタントでヘッドセットの操作をする機能は、Google アシスタントの仕様によります。
- Google アシスタントの仕様は予告なく変更になる場合があります。
- Google アシスタントやAmazon Alexaなど、他社が提供しているサービスについては、該当のサービス提供者に直接お問い合わせください。
  ソニーは、他社が提供しているサービスに関連する誤認識などの不具合について一切の責任を負いません。

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

Amazon Alexaを使う

スマートフォンにインストールされているAmazon Alexaアプリを起動して、ヘッドセットのマイクから、声でスマートフォンを操作したり、調べものをしたりすることができます。

対応するスマートフォン

- AndroidまたはiOSでAmazon Alexaアプリ最新版が対応しているOSバージョン
- Amazon Alexaアプリ最新版がインストールされている必要があります。
  1. モバイルデバイスでアプリストアを開く。
  2. Amazon Alexaアプリを検索する。
  3. インストールを選ぶ。
  4. 開くを選ぶ。

1 ヘッドセットを耳に装着して、スマートフォンとBluetooth接続する。

2 Amazon Alexaアプリを起動する。

Amazon Alexaは、タッチセンサーに音楽再生機能を割り当てている側のヘッドセットに設定することができます。“Sony | Headphones Connect”アプリを使うと、左右のタッチセンサーへの機能の割り当てを変更できます。
初めてAmazon Alexaを使うときは、Amazonアカウントでログインして手順 3 に進み、Amazon Alexaアプリにヘッドセットを登録します。
すでにAmazon Alexaアプリに登録した場合でも、左右のヘッドセットのタッチセンサーにAmazon Alexa以外が設定されているときは、左右どちらかのタッチセンサーにAmazon Alexaを設定し直してください。

3 Amazon Alexaの初期設定をする。

1. Amazon Alexaアプリ画面の右下にある［その他］アイコンをタッチし、［デバイスを追加］をタッチする。



2. ［セットアップするデバイスを選択］画面で［ヘッドホン］を選ぶ。



3. ［デバイスを選択］画面の［検出されたデバイス］から［WF-1000XM5］を選ぶ。



［検出されたデバイス］に［WF-1000XM5］が表示されない場合は、ヘッドセットとスマートフォンがBluetooth接続されていません。ヘッドセットとスマートフォンをBluetooth接続してください。

4. ［Alexaを設定するデバイス： WF-1000XM5］画面で［次へ］をタッチする。



5. ［このアクセサリでの現在の音声アシスタント設定が無効になります］という画面が表示された場合は［次へ］をタッチする。

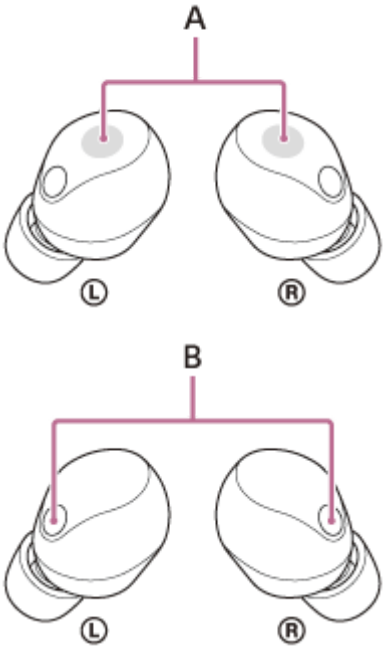


6. ［セットアップ完了］画面が表示されたら［完了］をタッチする。



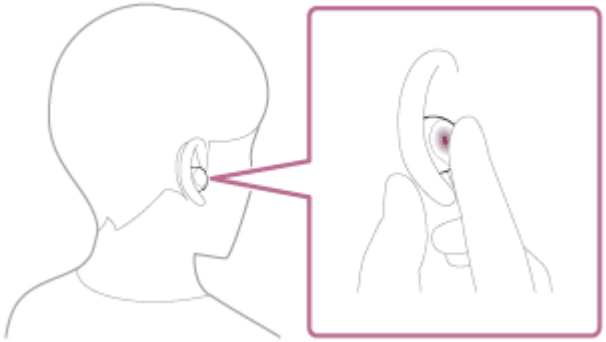
初期設定が完了すると、R側（L側だけを装着して初期設定をした場合はL側）のヘッドセットのタッチセンサーの機能がAmazon Alexaに変わります。

4 ウェイクワード*（「アレクサ」）で呼びかける、もしくはAmazon Alexaが設定されている側のタッチセンサーを操作してAmazon Alexaを使う。



A：タッチセンサー（左、右）
B：マイク（左、右）

- タッチセンサーを触れたままにして、音声入力する。
  例：
  「今日の天気は？」
  「音楽をかけて**」



- 音声入力しないと自動的にキャンセルされます。

* ウェイクワードの設定には、“Sony | Headphones Connect”アプリで「音声アシスタントを声で起動」を有効にしてください。
** AmazonやPrime Musicの会員登録が必要です。

Amazon Alexaでできることについては、以下のホームページをご覧ください。
https://www.amazon.com/b?node=16067214011

ヒント

- Amazon Alexaを設定した側のヘッドセットだけを耳に装着してAmazon Alexaをお使いいただくこともできます。Amazon Alexaを設定した状態で片側のヘッドセットだけをお使いの場合は、Amazon Alexaを設定した側のヘッドセットをお使いください。“Sony | Headphones Connect”アプリで設定をご確認ください。
- ヘッドセットのソフトウェアバージョンの確認とアップデートは、“Sony | Headphones Connect”アプリで行ってください。
- ネットワークに接続されていないなどの理由でAmazon Alexaが使用できないときは、両側のヘッドセット（片側だけを装着している場合は装着している側）から音声ガイダンス「モバイルデバイスが接続されていないか、Alexaアプリを起動して再度お試しください」が流れます。

ご注意

- Amazon Alexaアプリにヘッドセットを登録した際に、L側／R側のタッチセンサーのどちらの機能がAmazon Alexaに設定されるかは、各種機能の設定や使用条件により変化します。タッチセンサーの機能を元の機能に戻す場合は、“Sony | Headphones Connect”アプリで変更してください。
- Amazon Alexaは、タッチセンサーに音楽再生機能を割り当てている側のヘッドセットに設定することができます。片側だけでAmazon Alexaを使用したい場合は、使用したい側のヘッドセットのタッチセンサーに音楽再生機能を割り当て、Amazon Alexaを設定してください。
  音楽再生機能を割り当てていない側ではAmazon Alexaは使用できません。“Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、左右のタッチセンサーへの機能の割り当てを変更できます。
- Amazon AlexaとGoogle アシスタントを、同時に設定することはできません。
- Amazon Alexaは、一部の国や地域、言語では使用できません。Alexaの機能はお使いの場所によって異なる場合があります。
- Google アシスタントやAmazon Alexaなど、他社が提供しているサービスについては、該当のサービス提供者に直接お問い合わせください。
  ソニーは、他社が提供しているサービスに関連する誤認識などの不具合について一切の責任を負いません。

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

Google アシスタントを使う（声で起動）

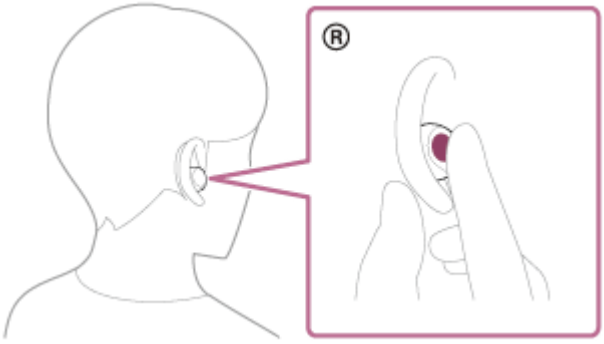
Android搭載スマートフォンに搭載されているGoogleアプリを起動して、ヘッドセットのマイクから、声でAndroid搭載スマートフォンを操作できます。

1 アシストと音声入力の選択をGoogleアプリに設定する。

Android搭載スマートフォンで［設定］-［アプリと通知］-［詳細設定］-［標準のアプリ］-［アシストと音声入力］を選び、［アシストアプリ］をGoogleアプリに設定します。
上記の操作は一例です。詳しくは、Android搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
注：最新版のGoogleアプリが必要なことがあります。
Googleアプリについて詳しくは、Android搭載スマートフォンの取扱説明書やサポートページまたはGoogle Playストアのウェブページをご覧ください。
Android搭載スマートフォンの仕様により、ヘッドセットからのGoogleアプリの起動に対応しない場合があります。

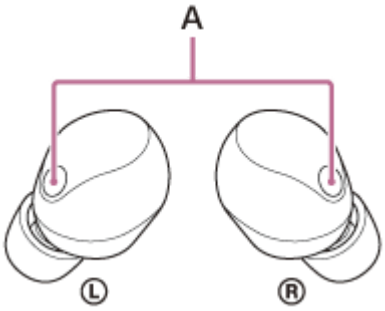
2 ヘッドセットを耳に装着し、Android搭載スマートフォンにBluetooth接続する。

3 Android搭載スマートフォンが待ち受け中や音楽再生中に、R側のタッチセンサーに約2秒以上触れたままにする。



Googleアプリが起動します。

4 ヘッドセットのマイクからアプリを通じてGoogleに話しかける。



A : マイク（左、右）

Googleアプリと連携しているアプリなどについて詳しくは、Android搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

Googleアプリを起動した後、頼みごとをしないで一定時間がたつと、音声入力が解除されます。

ご注意

- L側かR側のどちらかのタッチセンサーの機能をGoogle アシスタントに変更すると、音声アシスト機能（Googleアプリ）は使用できません。
- L側かR側のどちらかのタッチセンサーの機能をAmazon Alexaに変更すると、音声アシスト機能（Googleアプリ）は使用できません。
- Android搭載スマートフォンで“Ok Google”を有効にしていても、“Ok Google”の音声でGoogleアプリを起動することはできません。
- 音声アシスト機能を使用中に自分の声をより聞こえやすくするため、マイクが作動し外音を取り込みます（サイドトーン機能）。自分の声が大きく聞こえたり周囲の音が気になる場合は、“Sony | Headphones Connect”アプリで［通話時の自分の声の取り込み］をオフにしてください。
- スマートフォンの仕様やアプリのバージョンによりGoogleアプリが起動しない場合があります。
- 音声アシスト機能に対応していない機器と接続した場合、Googleアプリは動作しません。

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

音声アシスト機能（Siri）を使う

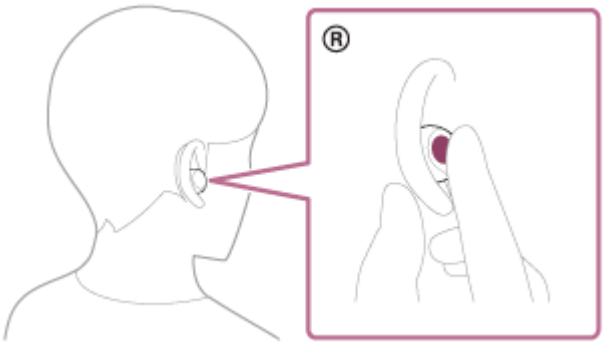
iPhoneに搭載されているSiriを起動して、ヘッドセットのマイクから、声でiPhoneを操作できます。

1 Siriを有効にする。

iPhoneで［設定］–［Siriと検索］の順に選び、［ホームボタンを押してSiriを使用］と［ロック中にSiriを許可］をオンにします。
上記の操作は一例です。詳しくは、iPhoneの取扱説明書をご覧ください。
注：Siriについて詳しくは、iPhoneの取扱説明書やサポートページをご覧ください。

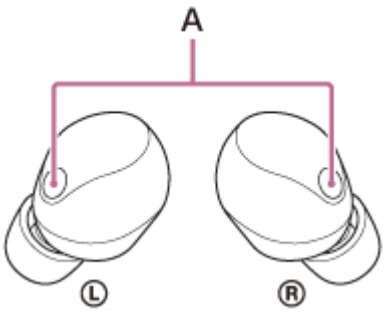
2 ヘッドセットを耳に装着し、iPhoneにBluetooth接続する。

3 iPhoneが待ち受け中や音楽再生中に、R側のタッチセンサーに約2秒以上触れたままにする。



Siriが起動します。

4 ヘッドセットのマイクを通して、Siriに頼みごとをする。



A：マイク（左、右）

Siriと連携しているアプリなどについて詳しくは、iPhoneの取扱説明書をご覧ください。
Siriを起動した後、頼みごとをしないで一定時間がたつと、Siriが解除されます。

ご注意

- iPhoneで“Hey Siri”を有効にしていても、“Hey Siri”の音声でSiriを起動することはできません。

- 音声アシスト機能を使用中に自分の声をより聞こえやすくするため、マイクが作動し外音を取り込みます（サイドトーン機能）。自分の声が大きく聞こえたり周囲の音が気になる場合は、“Sony | Headphones Connect”アプリで［通話時の自分の声の取り込み］をオフにしてください。

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

“Sony | Headphones Connect”アプリでできること

“Sony | Headphones Connect”アプリをインストールしたスマートフォンとヘッドセットを Bluetooth 接続すると、以下のことができます。

- ヘッドセットのソフトウェアアップデート
- 自動アップデートのオン／オフ切り替え
- 音声ガイダンスの言語変更
- 音声ガイダンスの音量設定
- 通知音、音声ガイダンスのオン／オフ切り替え
- タッチセンサーの機能を変更
- 音声アシスタントの設定を変更*
- Amazon Alexaのウェイクワードのオン／オフ切り替え*
- Quick Access設定*
- サービスとの連携のオン／オフ切り替え*
- Bluetooth接続モード設定（音質モード）*
- 通話時の自分の声の取り込み（サイドトーン機能）のオン／オフ切り替え
- ヘッドセットの電源オフ
- 装着検出による自動再生停止／再生再開機能の設定
- 装着検出による自動電源オフ機能の設定
- マルチポイント接続（2台の機器と同時に接続）のオン／オフ切り替え*
- マルチポイント接続中の機器変更*
- ヘッドセットのLE Audio接続設定
- ヘッドセットの初期化
- イヤーピース選択アシスト
- ヘッドジェスチャー検出のオン／オフ切り替え
- ヘッドセットのソフトウェアバージョンの確認
- 左右のヘッドセットとスマートフォンとのBluetooth接続状態表示
- LE Audio接続状態表示
- Bluetooth接続コーデックの表示
- DSEE Extremeの設定状態表示
- DSEE Extreme設定
- ヘッドセットの充電式電池の残量表示
- 充電ケースの充電式電池の残量表示
- 充電を促す通知の表示（充電ケースの充電式電池残量が少ないときに表示します）
- イコライザー／CLEAR BASS設定
- イコライザー設定のカスタム設定
- ノイズキャンセリング機能と外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）のモードを調整（外音コントロール）
- ヘッドセットからノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能を切り替える際の切り替えパターン設定
- 行動検出によるノイズキャンセリング機能の自動調整（アダプティブサウンドコントロール）
- スピーク・トゥ・チャット音声自動検出の有効／無効の切り替えと設定
- 音楽の再生／一時停止、前（または再生中）の曲の頭出し／次の曲の頭出し
- 音楽再生時／通話時の音量調節
- かんたん機器登録（ペアリング）*
- ヘッドセットの使用状況の記録と表示
- 360 Reality Audio設定
- セーフリスニングのオン／オフ切り替え

* LE Audio接続時には使用できません。

“Sony | Headphones Connect”アプリについて詳しくは、下記URLをご覧ください。
https://rd1.sony.net/help/mdr/hpc/h_zz/

ヒント

- オーディオ機器によって“Sony | Headphones Connect”アプリでできる操作は異なります。アプリの仕様および画面デザインは予告なく変更する場合があります。

関連項目

- “Sony | Headphones Connect”アプリをインストールする
- ソフトウェアを最新の状態に保つ方法（快適にご使用いただくために）
- 音声ガイダンスについて
- タッチセンサーについて
- Quick Access（クイックアクセス）を使う
- 音質モードについて
- ヘッドセットを装着する
- 対応コーデックについて
- 充電式電池の残量を確認する
- DSEE Extremeについて
- ノイズキャンセリング機能を使う
- 音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード））
- ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）
- 2台の機器と同時に接続する（マルチポイント接続）
- 360 Reality Audioについて

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

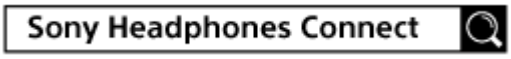
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

“Sony | Headphones Connect”アプリをインストールする

1 **Google PlayストアまたはApp Storeから“Sony | Headphones Connect”アプリをダウンロードしてスマートフォンにインストールする。**

“Sony | Headphones Connect”アプリについて詳しくは、下記URLをご覧ください。
https://rd1.sony.net/help/mdr/hpc/h_zz/





2 **インストールが終了したら“Sony | Headphones Connect”アプリを起動する。**

関連項目

- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

“Sony | Headphones Connect”アプリからサポート情報を見る

“Sony | Headphones Connect”アプリから最新のサポート情報を見ることができます。

1. **“Sony | Headphones Connect”アプリ画面から［ヘルプ］を選ぶ。**
2. **［Headphones Connect ヘルプ］画面が開き、サポート情報が表示される。**
3. **参照したい項目を選ぶ。**

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

ソフトウェアを最新の状態に保つ方法（快適にご使用いただくために）

“Sony | Headphones Connect”アプリを使ってヘッドセットの最新のソフトウェアをインストールすることで、新しい機能を楽しむことができたり、いくつかの問題が解決することがあります。
常にソフトウェアを最新の状態にしてお使いください。
ヘッドセットの最新のソフトウェアおよびアップデートの方法について詳しくは、サポートページ内のお知らせなどをご確認ください。

“Sony | Headphones Connect”アプリで［自動アップデートする］設定を有効にしていて、以下の条件を満たしているときは、ヘッドセットを使用していない夜間を目途に自動でアップデートを開始します。

- ソフトウェアの転送が完了している。
- 両側のヘッドセットが充電ケースにセットされ、充電ケースのふたが閉まっている。
- ヘッドセットの充電式電池の残量が20%より多い。
- 充電ケースの充電式電池の残量が10%より多い。

自動アップデート中にふたを開けると、充電ケースのランプ（青およびオレンジ）が点滅します。自動アップデート中はふたを閉めてください。ヘッドセットを充電ケースから取り出して装着しても使用できません。
以下の方法でも、ヘッドセットのソフトウェアアップデートを行うことができます。

1. **ヘッドセットを充電ケースから取り出す。**

   自動的に電源が入ります。

2. **スマートフォンなどのモバイルデバイスで“Sony | Headphones Connect”アプリを起動する。**

3. **画面の表示に従ってアップデートを行う。**

ご注意

- アップデートで使用しているモバイルデバイスに他のBluetooth機器が接続されている場合、アップデートが完了するまで、すべてのBluetooth機器の電源を切ってください。
  モバイルデバイスにBluetooth Low Energyに対応した機器（ウェアラブル端末・スマートウォッチなど）が接続されているとアップデートができない場合があります。
- ヘッドセットのアップデートが完了できない場合、以下の点を注意してください。
  - モバイルデバイスにある、“Sony | Headphones Connect”アプリ以外のアプリをすべて終了する。
  - ヘッドセットとモバイルデバイスを充分に充電する。
  - ヘッドセットとアップデートで使用するモバイルデバイスをできるだけ近づけてアップデートを行う。
  - 周辺の無線LAN機器やBluetooth機器などの近くでアップデートを行わない。
  - アップデートはモバイルデバイスの省電力モード*をオフにして行う。
    お使いのモバイルデバイスのOSバージョンによって、省電力モードではアップデートが完了しない場合があります。

  * 名称はお使いのモバイルデバイスによって異なります。

関連項目

- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

サービスとの連携でできること

“Sony | Headphones Connect”アプリで設定すると、下記アプリ*をヘッドセットと連携してお使いいただけます。

* 2023年6月27日時点で連携できるサービスが記載されています。

最新のサービスおよび連携してできる体験について詳しくは、“Sony | Headphones Connect”アプリの［サービス］タブをご覧ください。

1. **“Sony | Headphones Connect”アプリを起動する。**

2. **［サービス］タブから各サービスの設定をする。**



ご注意

- 連携できるサービスは、国や地域ごとに異なります。
- 連携できるサービスの仕様は、予告なく変更になる場合があります。
- 別途対応するアプリをインストールする必要があります。
- Endelについて詳しくは、下記URLをご覧ください。
  https://endel.io/

関連項目

- “Sony | Headphones Connect”アプリをインストールする

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

使用上のご注意

Bluetooth通信について

- Bluetooth無線技術ではおよそ10 m程度までの距離で通信できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって通信有効範囲は変動します。
- Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所ではヘッドセットおよびBluetooth機器の電源を切ってください。
  - 病院内／電車内の優先席付近／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所／自動ドアや火災報知機の近く
- ヘッドセットを航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従ってください。電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。
- 無線技術の特性により送信側での音声・音楽再生に比べてヘッドセット側での再生が遅れるため、動画視聴時やゲームでご使用の場合、映像と音声がずれる場合があります。
- ヘッドセットは、Bluetooth無線技術を使用した通信時のセキュリティーとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティー機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティーが充分でない場合があります。Bluetooth通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth通信時に情報の漏洩が発生しましても、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ヘッドセットはすべてのBluetooth機器とのBluetooth接続を保証するものではありません。
  - 接続するBluetooth機器は、Bluetooth SIG, Inc.の定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
  - 接続する機器が上記Bluetooth標準規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
  - ハンズフリー通話中、接続機器や通信環境により、雑音が入ることがあります。
- 接続する機器によっては、通信ができるようになるまで時間がかかることがあります。

温度上昇に関するご注意

- ヘッドセットや充電ケースの充電中、またはヘッドセットを長時間使用すると、ヘッドセットや充電ケースの温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

静電気に関するご注意

- 空気が乾燥する時期にヘッドセットを使用すると、耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、これはヘッドセットの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身につけていただくことにより影響が軽減されます。

装着に関するご注意

- 使用後は、ゆっくりと耳から取り外してください。
- ヘッドセットは密閉度を高めていますので、強く押された場合や急に耳から外した場合、鼓膜などを痛める危険があります。また、ヘッドセットを装着したときに、振動板から音が生じる場合がありますが、故障ではありません。
- ヘッドセットを長時間使用すると、耳にかゆみや炎症などの症状が出る場合があります。
  ヘッドセットの使用中に上記のような症状を感じたときは、すぐに使用を中止し、医師、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。
- 長時間使用する場合は、定期的にヘッドセットを耳から取り外すことをおすすめします。

その他のご注意

- ヘッドセットは精密機器のため落としたりぶつけたりなどの強いショックを与えないでください。

- タッチセンサーにステッカーなどを貼ると、正しく動作しないことがあります。
- 携帯電話でご使用の際、電波状況、場所の影響により、ご使用できない場合があります。
- 音導管（音出口の筒部）やマイクに息を吹きかけないでください。
- ヘッドセットを使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。
- イヤーピースは長期の使用・保存により破損したり劣化する恐れがあります。
- 水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。特に以下の場合はご注意ください。
  - 洗面所などでの使用
    水の入った洗面台や容器の中に落とさないようご注意ください。
  - 雨や雪、湿度の高い場所での使用
- ヘッドセットを落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。変形や破損により、性能劣化の原因となることがあります。
- ヘッドセットや充電ケースの端子が汚れたときは、乾いた柔らかい布で清掃してください。

お手入れのしかた

- ヘッドセットの外装の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液で湿らせた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどは表面の仕上げを痛めたり、破損につながるため使わないでください。

ヘッドセットと充電ケースを医療機器の近くで使わない

- 電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。
- ヘッドセットと充電ケースは磁石を使用しているため、ペースメーカー、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与える恐れがあります。ヘッドセットと充電ケースをこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、ヘッドセットのご使用前に担当医師にご相談ください。

ヘッドセットと充電ケースを磁気カードに近づけない

- ヘッドセットと充電ケースに使用している磁石や、ワイヤレス充電時の漏れ磁束の影響で、磁気を利用したカード類を近づけると、カードの磁気が変化して使えなくなることがあります。

関連項目

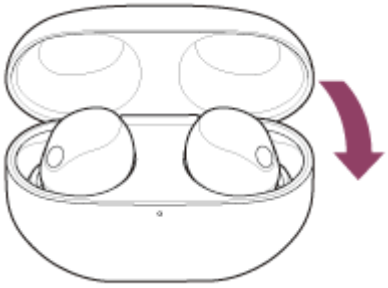
- 電話・ファックスで問い合わせる

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

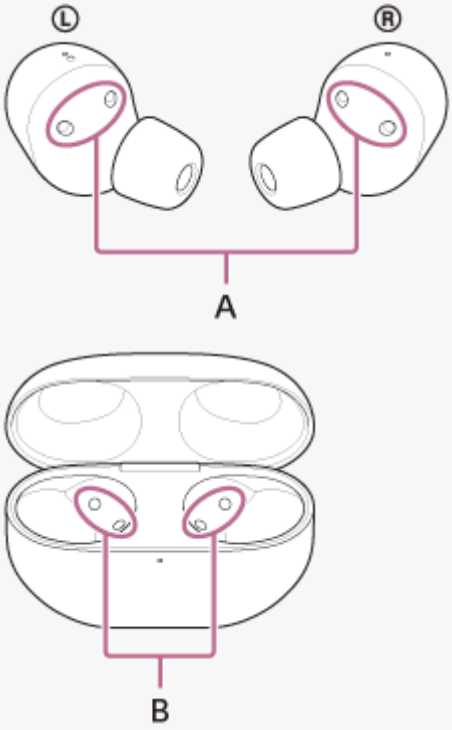
使い終わったら

ヘッドセットを使い終わったら、必ず充電ケースにセットしてください。
充電ケースのふたを閉めてください。



ご注意

- ヘッドセットの充電端子に汗や水が付着したままにしておくと、充電ができなくなる原因となります。ご使用後は、すみやかに汗や水を拭き取ってください。また、ヘッドセットや充電ケースの端子が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。



A : ヘッドセットの充電端子（左、右）
B : 充電ケースの充電端子（左、右）

- 「お手入れ」、「水ぬれによる焼損や故障を防ぐために」、「ヘッドセットや充電ケースが水にぬれてしまった場合は」の項目もご覧ください。

関連項目

- お手入れ

- 水ぬれによる焼損や故障を防ぐために
- ヘッドセットや充電ケースが水にぬれてしまった場合は

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

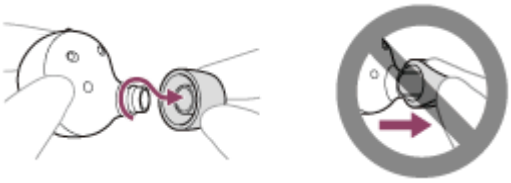
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

お手入れ

以下の手順に従って定期的にお手入れを行ってください。

1 イヤーピースを外す。

ヘッドセットを持ち、イヤーピースをねじりながら、回転させて引き抜いてください。
イヤーピースの端をつまんで引っ張らないでください。



2 ヘッドセットをお手入れする。

ヘッドセット本体をお手入れする

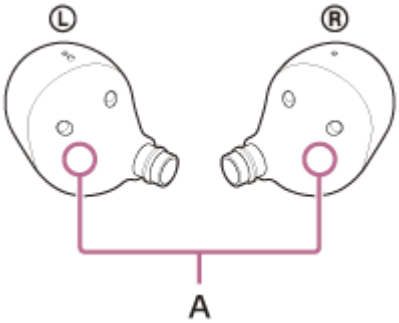
ヘッドセットの外装の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液で湿らせた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどは表面の仕上げを痛めたり、破損につながるため使わないでください。
ヘッドセットに付着した水滴は、乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
寒冷地などでは、水滴が付着したまま放置すると凍結する恐れがあります。

マイク部分をお手入れする

水でぬらして固く絞った布でヘッドセットのメッシュ部分の汚れを拭き取ってください。
汚れをヘッドセットのメッシュ部分の奥へ押し込まないように取り除いてください。

IRセンサーをお手入れする

IRセンサーが汚れていると、ヘッドセットの装着が検出されず、ヘッドセットが正しく動作しないことがあります。
乾いた柔らかい布などでIRセンサーの汚れを拭き取ってください。



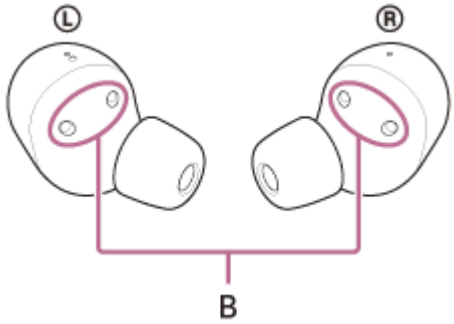
A : IRセンサー（左、右）

充電端子をお手入れする

ヘッドセットや充電ケースの端子部に異物や汗などの水分が付着したままにしておくと、端子腐食の原因となり、充電ができなくなることがあります。
使い終わった後には、必ず乾いた柔らかい布や綿棒で端子部分を優しく清掃してください。
充電ができなくなったときも、端子を丁寧に清掃することで改善できる場合がありますのでお試しください。

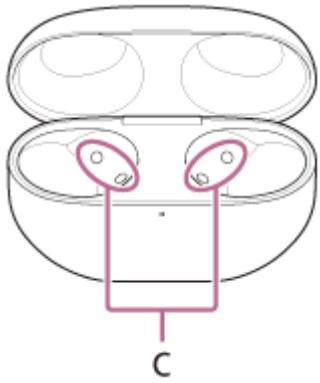
お手入れが必要な充電端子

- ヘッドセット



B : ヘッドセットの充電端子（左、右）

- 充電ケース



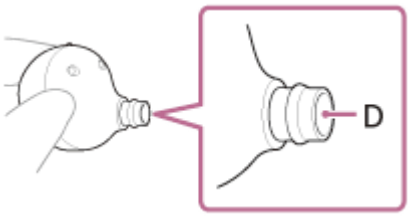
C : 充電ケースの充電端子（左、右）

ご注意

- ほこりなどを取り除くときは、エアスプレーなどは使用しないでください。
  音の出口にほこりなどが入り、機能不良につながる可能性があります。

音の出口をお手入れする

水でぬらして固く絞った布でヘッドセットの音の出口部分の耳あかなどの汚れを拭き取ってください。
汚れをヘッドセットの奥へ押し込まないように取り除いてください。

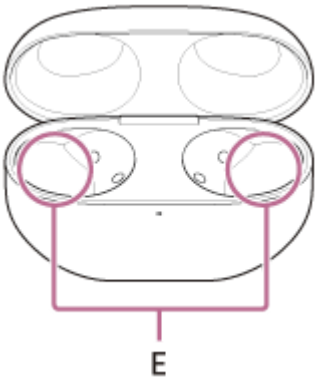


D : 音の出口



充電ケースのくぼみをお手入れする

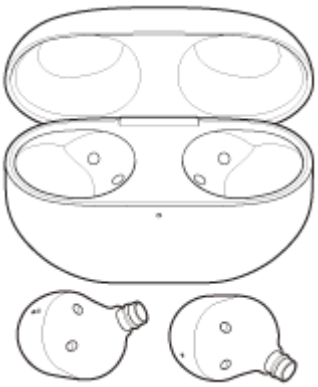
綿棒などを使用して、イヤーピースが入るくぼみの汚れを清掃してください。



E : 充電ケースのくぼみ（左、右）

ヘッドセットをよく乾かす

清掃が完了したら、常温で放置してしっかり乾燥させてください。



ご注意

- ヘッドセットを乾かす場合、IRセンサーがテーブルに触れていると、装着されていると判断され、充電式電池が消費され続ける場合があります。IRセンサーを横向き、もしくは上向きにして置いてください。

ノイズアイソレーションイヤーピースをお手入れする

ノイズアイソレーションイヤーピースが汚れた場合は、乾いた布などで拭き取ってください。
イヤーピースのメッシュ部分に耳あかなどの異物が付着すると、音が小さく聞こえたり聞こえにくくなったりすることがあります。
イヤーピースを本体から取り外し、メッシュ部分に綿棒を軽く当ててゆっくり回転させて汚れを拭き取ります。メッシュ部分が破れないように注意してください。



ご注意

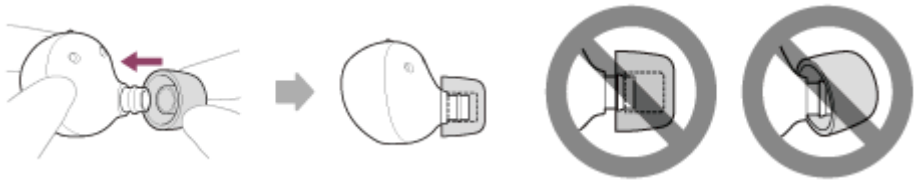
- イヤーピースは消耗品です。
- 水にぬれてしまった場合などは水気を切り、乾燥したことを確認してからご使用・保存してください。
- 水洗いやウェットティッシュ、アルコール等の有機溶剤の使用は早期劣化の原因となりますので、必ず避けてください。



- 紙で擦ったり、鋭利な金属物、爪、粘着テープ等を使用すると、イヤーピースが傷つけられたり、変形する可能性があります。
- 発泡ウレタン部分だけを引っ張らないでください。イヤーピースから分離すると、機能しなくなります。
- 発泡ウレタン部分に力を加えたまま長時間放置しないでください。変形して元に戻りにくくなる恐れがあります。
- 気温が低い場合は発泡素材が硬くなることがあります。手で少し温めてご使用ください。
- 気温や使用温度が高い場合は発泡ウレタンの復元が遅い場合があります。

3 イヤーピースを取り付ける。

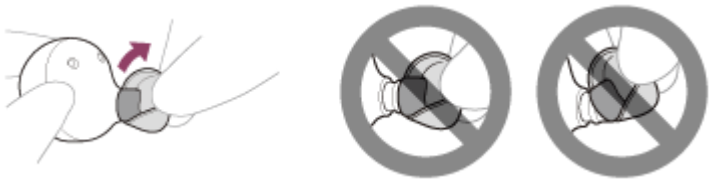
イヤーピースをヘッドセットの音導管（音出口の筒部）の奥までしっかり押し込んでください。イヤーピースを斜めに取り付けないでください。



イヤーピースが完全に取り付けられていない場合は、ヘッドセットから外れる恐れや、音質・ノイズキャンセリング性能・装着性などが損なわれる可能性があります。

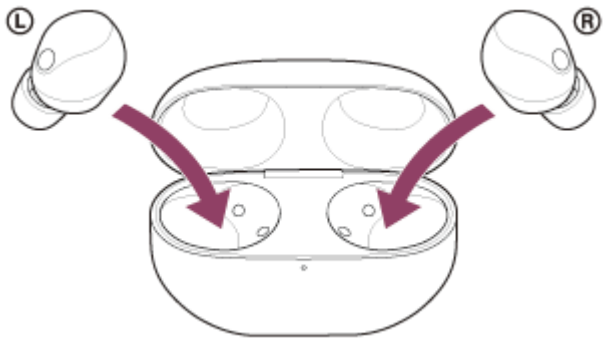
4 イヤーピースが正しく取り付けられているか確認する。

イヤーピースをめくり、イヤーピースの軸がヘッドセットの音導管の奥まで取り付けられているかを確認してください。

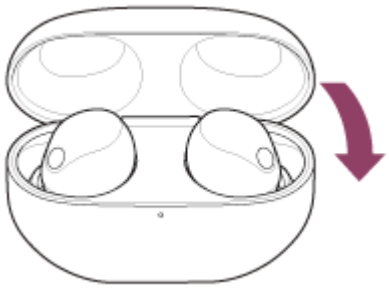


5 充電ケースにセットする。

ヘッドセットのお手入れ・清掃が終わり、乾燥させたら、必ず充電ケースにセットしてください。



充電ケースのふたは必ず閉めておいてください。



関連項目

- 水ぬれによる焼損や故障を防ぐために
- ヘッドセットや充電ケースが水にぬれてしまった場合は

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

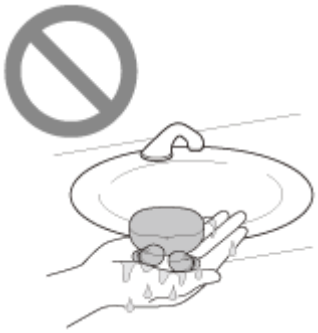
水ぬれによる焼損や故障を防ぐために

ご使用後は必ずお手入れをしてください

充電ケースのUSB Type-C端子やヘッドセットの充電端子に水や汗などの液体やほこりなどの異物が付着した状態での充電は、火災・感電・発熱・発煙・発火によるやけどや大けがなどの人身事故の原因や、故障の原因となります。

下記のような状況を避け、ヘッドセットや充電ケースに水分や汚れが付かないよう注意してください。
万一水分や汚れが付いてしまった場合は、「ヘッドセットや充電ケースが水にぬれてしまった場合は」の内容に従い、お手入れをしてから使用してください。

- キッチンでの水仕事や洗面所で手を洗った後、水にぬれた手をよく拭かずにヘッドセットや充電ケースに触れる。



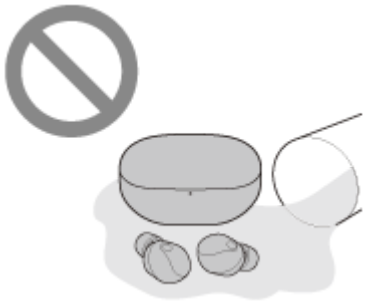
- 汗をかいた衣服の胸ポケットに入れる。



- 冷えたペットボトルと一緒にカバンの中に入れる。



- 飲食をしているときに、うっかり飲み物をこぼしてしまう。



ヘッドセットと充電ケースを故障から守るために

下記の点をご確認のうえ、正しくご使用ください。

- ヘッドセットの音出口、通気孔、マイク部分に向けて、水を強く当てないでください。
- 寒冷地などでは、凍結する恐れがあります。使用後は必ず水滴を拭き取るようにしてください。
- ヘッドセットを水の中に入れたり、風呂場など、湿度の高いところで使用しないでください。
- ヘッドセットに水がかかった場合は、
  1. ヘッドセットに付着した水滴は、乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
  2. イヤーピースを取り外して音導管（音出口の筒部）を下に向け、2、3回振って水滴を取り除いてください。



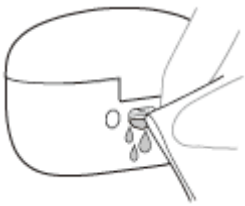
  3. マイク部分と通気孔部分を下に向け、乾いた布などに20回程度軽くたたくように当てて内部にたまった水を出してください。



  4. その状態のまま常温で放置し乾燥させてください。

- ヘッドセットや充電ケースが汗などでぬれたまま充電すると、端子が腐食します。充電する前に乾いた柔らかい布で水分を完全に拭き取り、常温で放置して乾燥させてから充電してください。
  お手入れをしないで故障した場合の修理は無償保証の対象外となります。





- ズボンやシャツのポケットに入れたまま洗濯をしないでください。



- ひび割れや変形が見られるときは、水のかかる場所でのご使用を控えていただくか、ソニーの修理相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

関連項目

- イヤーピースを交換する
- お手入れ
- ヘッドセットや充電ケースが水にぬれてしまった場合は

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

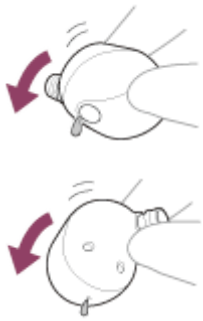
ヘッドセットや充電ケースが水にぬれてしまった場合は

ヘッドセットに水がかかった場合は

1. ヘッドセットに付着した水滴は、乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
2. イヤーピースを取り外して音導管（音出口の筒部）を下に向け、2、3回振って水滴を取り除いてください。



3. マイク部分と通気孔部分を下に向け、乾いた布などに20回程度軽くたたくように当てて内部にたまった水を出してください。



4. その状態のまま常温で放置し乾燥させてください。

ヘッドセットの防滴性能について

- 充電ケースは、防水、防滴に対応しておりません。
- ヘッドセットは、JIS C 0920「電気機械器具の外郭による保護等級（IPコード）」の「水の浸入に対する保護等級」であるIPX4相当の防滴仕様となっています。水中での使用はできません。
  使いかたによっては内部に水が入り、火災や感電、故障の原因となる恐れがあります。以下の点を充分にご理解、ご確認のうえ、ご使用ください。
  IPX4とは：あらゆる方向からの、飛沫に対して本体機能を保護するものです。
- ヘッドセットの音導管（音出口の筒部）、通気孔、マイク部分は非耐水エリアです。
  音導管、通気孔、マイク部分に水が入ったままになると、一時的に以下のような症状などが出ることがありますが、故障ではありません。
  - 音が聞こえづらくなる
  - ノイズキャンセリングの効果が弱くなる
  - 異常な音が出る
  - 通話音声が聞こえづらくなる

ヘッドセットの防滴性能の対象となる液体

対象：	真水、水道水、汗

非対象：	上記以外の液体（例：石けん水、洗剤や入浴剤の入った水、シャンプー、温泉水、お湯、プールの水、海水など）

性能については、上記条件による当社測定に基づいたものです。お客様の誤った取り扱いが原因の浸水による故障は保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

関連項目

- イヤーピースを交換する
- お手入れ
- 水ぬれによる焼損や故障を防ぐために
- 電話・ファックスで問い合わせる

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

ライセンスについて

- 「Made for Apple」バッジは、アクセサリが本バッジに記載されたアップル製品専用に接続するように設計され、アップルが定める性能基準を満たしていることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
- 本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。ライセンスに関して、内容をご一読くださいますようお願い申し上げます。ライセンス内容は、以下のURLよりご覧ください。
  https://rd1.sony.net/help/mdr/sl/23/
- 第三者が提供するサービスは予告なく、変更・停止・終了することがあります。ソニーは、そのような事態に対していかなる責任も負いません。

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

商標について

- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- Apple、 iPhone、iPod touch、macOS、MacおよびSiriは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
  「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。
- App Storeは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.のサービスマークです。
- IOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Google、AndroidおよびGoogle PlayはGoogle LLCの商標です。
- Amazon、Alexa及び関連するすべてのロゴはAmazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニーグループ株式会社及びその子会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- ウォークマン®、WALKMAN®、WALKMAN®ロゴは、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標です。
- LDAC™は、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の商標です。
- USB Type-C®およびUSB-C®は、USB Implementers Forumの登録商標です。
- “DSEE”、“DSEE Extreme”はソニーグループ株式会社またはその関連会社の商標または登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

- このヘルプガイド、および使用上のご注意／主な仕様・保証書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

- 製品内部を開けずに、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。
  修理をご依頼の際は原因特定のため、ご使用中のケーブル類なども合わせてお持ちください。

保証期間中の修理は

- 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは、保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

- 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

- 当社では、ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセットの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

部品の交換について

- この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

関連項目

- 電話・ファックスで問い合わせる

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

電話・ファックスで問い合わせる

ヘッドセットについてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のソニーの相談窓口をご利用ください。

お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

- セット本体に関するご質問時：
  - 型名：WF-1000XM5
  - 製造（シリアル）番号：充電ケースの底面に記載
  - ご相談内容：できるだけ詳しく
  - お買い上げ年月日

- 接続に関するご質問時：
  ご質問の内容によっては、ヘッドセットに接続される機器についてお問い合わせさせていただく場合があります。
  事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

使い方相談窓口

- フリーダイヤル：0120-333-020
  上記番号へ接続後、ガイダンスに沿って短縮番号「309」+「#」を押すと、担当窓口へおつなぎします。

- 携帯電話・一部のIP電話：050-3754-9577
  上記番号へ接続後、ガイダンスに沿って短縮番号「309」+「#」を押すと、担当窓口へおつなぎします。

- FAX：0120-333-389

修理相談窓口

- フリーダイヤル：0120-222-330
  上記番号へ接続後、ガイダンスに沿って短縮番号「309」+「#」を押すと、担当窓口へおつなぎします。

- 携帯電話・一部のIP電話：050-3754-9599
  上記番号へ接続後、ガイダンスに沿って短縮番号「309」+「#」を押すと、担当窓口へおつなぎします。

- FAX：0120-333-389

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

サポートホームページで調べる

https://www.sony.jp/support/headphone/
接続対応機器情報、サポート情報、よくあるお問い合わせ（困ったときは）とその回答をご案内しています。

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、もう一度下記の項目をチェックしてみてください。

- 本ヘルプガイドの各項目や「困ったときは」で調べる。
- ヘッドセットを充電ケースにセットし、ふたを閉める。
  充電ケースにセットすることで問題が解決することがあります。
- ヘッドセットを充電する。
  充電することで問題が解決することがあります。
- 接続機器を再起動する。
  お使いのパソコン・スマートフォンなどの接続機器を再起動することで問題が解決することがあります。
- ヘッドセットをリセットする。
- ヘッドセットを初期化する。
  音量調節などを工場出荷時の設定に戻し、すべての機器登録（ペアリング）情報を削除します。
- サポートホームページで調べる。

それでも解決しない場合、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。
なお、保証書とアフターサービスについては、「保証書とアフターサービス」をご覧ください。

関連項目

- 充電する
- 保証書とアフターサービス
- 電話・ファックスで問い合わせる
- サポートホームページで調べる
- リセットする
- 初期化する

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

電源が入らない

- 充電式電池が充分に充電されているか確認してください。
- ヘッドセットを充電ケースにセットして充電しているときにはヘッドセットの電源を入れることができません。ヘッドセットを充電ケースから取り出して、電源を入れてください。
- 充電ケースを充電してください。
- ヘッドセットを充電ケースにセットし、ふたを閉めてください。
  充電ケースにセットすることで問題が解決することがあります。
- ヘッドセットと充電ケースの充電端子を掃除してからヘッドセットを充電ケースに入れて、充電ケースのランプの状態を確認してください。詳しくは、「お手入れ」をご覧ください。
- ヘッドセットのソフトウェア自動アップデート中はヘッドセットを使用できません。ヘッドセットを充電ケースにセットしてふたを閉め、5分程度お待ちください。
- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度機器登録（ペアリング）をしてください。

関連項目

- 充電する
- 充電式電池の残量を確認する
- ヘッドセットの電源を入れる
- お手入れ
- ソフトウェアを最新の状態に保つ方法（快適にご使用いただくために）
- リセットする
- 初期化する

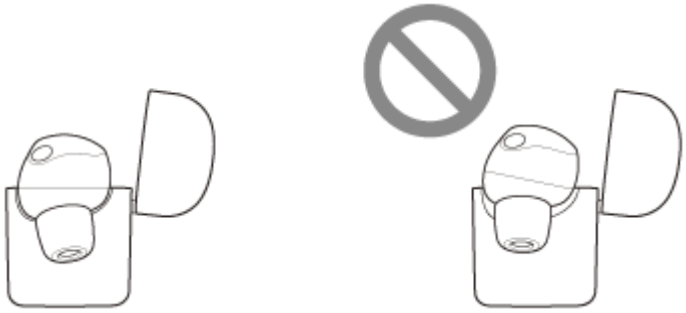
5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

充電できない、充電時間が長い

共通

- ヘッドセットが付属の充電ケースに正しくセットされているか確認してください。ヘッドセットが浮いていると、充電されない場合があります。



- 必ず付属のUSB Type-Cケーブルを使用し、ケーブルが充電ケースにしっかり接続されているか確認してください。
- ヘッドセットや充電ケースの端子が汚れたときは、充電できない可能性があります。乾いた柔らかい布で清掃してください。詳しくは、「お手入れ」をご覧ください。
- 左右のうち片側のヘッドセットは、メインのヘッドセットとして動作するため、もう片側よりも早く充電式電池を消費します。そのため左右のヘッドセットの充電時間に差が出ますが、故障ではありません。
  「メインのヘッドセット」は、使用環境に応じて左右どちらにもなり得ます。
- 周囲の温度が15 ℃～30 ℃の範囲で充電することをおすすめします。この範囲を超えると、効率良く充電できない可能性があります。
- 充電ケースのふたが開いていると充電ケースの充電式電池を消費しますので、充電時は充電ケースのふたは必ず閉めておいてください。
- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度機器登録（ペアリング）をしてください。

USB ACアダプターで充電する場合

- USB ACアダプターが電源コンセントにしっかり接続されているか確認してください。
- 市販のUSB ACアダプターを使用する場合、出力電流0.5 A（500 mA）以上が供給可能なものをご使用ください。

パソコンで充電する場合

- USB Type-Cケーブルがパソコンにしっかり接続されているか確認してください。
- パソコンの電源が入っているか確認してください。パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態に入っている場合は解除してください。
- 充電ケースとパソコンがUSBハブなどを経由せずに直接つながれているか確認してください。また、パソコンを再起動し、USB接続をし直すことで症状が改善する場合があります。
- 接続しているパソコンのUSB端子に問題がある可能性があります。パソコンに別のUSB端子がある場合は、その端子に接続し直してください。
- パソコンのOSを最新の状態にしてください。

ワイヤレス充電する場合

- ワイヤレス充電時は、充電ケースの置き位置がずれると、充電速度が遅くなったり、充電が停止したりする場合があります。
- ワイヤレス充電時は、お使いの充電器によって、高温時・低温時に充電速度が遅くなったり、充電が停止したりする場合があります。

関連項目

- 充電する
- イヤーピースを交換する
- お手入れ
- リセットする
- 初期化する

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

使用時間が短い、電池の持ちが悪い、左右の電池持続時間が違う

- 以下の設定を行うと、電池の使用可能時間が短くなります。
  - Bluetooth再生時の音質モード：音質優先
  - ノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）
  - イコライザー
  - DSEE Extreme
  - スピーク・トゥ・チャット
  - 音声で音声アシスト機能を起動させる機能
  - サービスとの連携

  上記の設定を同時に行うと、電池の使用可能時間はさらに短くなります。

- 左右のうち片側のヘッドセットは、メインのヘッドセットとして動作するため、もう片側よりも早く充電式電池を消費します。そのため左右のヘッドセットの電池残量に差が出ますが、故障ではありません。
  「メインのヘッドセット」は、使用環境に応じて左右どちらにもなり得ます。
- 片側で使用した直後に両側で使用すると充電式電池の残量に差が出る場合がありますが、片側の電池残量が消費しているためで異常ではありません。
- ヘッドセットの使用後は必ず充電ケースにセットしてください。ポケットなどに入れている場合、装着されていると認識し一定の時間が経過しても電源が切れないことがあります。
- 充電ケースのふたが開いていると充電ケースの充電式電池を消費しますので、充電ケースのふたは必ず閉めておいてください。
- 通話時は、音楽再生時と比較して、電池の使用可能時間が短くなります。

関連項目

- 充電する
- 使用可能時間

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

音が出ない、片側から音が出ない

共通

- Bluetooth機器とヘッドセットをもう一度機器登録（ペアリング）してください。
- 音楽を再生するときは、ヘッドセットと送信側Bluetooth機器がA2DPでBluetooth接続されているか確認してください。
- 充電ケースを充電してください。
- ヘッドセットを充電ケースにセットし、ふたを閉めてください。
  充電ケースにセットすることで問題が解決することがあります。
- イヤーピースのメッシュ部分に耳あかなどの異物が付着すると、音が小さく聞こえたり聞こえにくくなったりすることがあります。「お手入れ」の内容に従い、お手入れをしてから使用してください。
- お使いのスマートフォンやパソコンを再起動してください。
- ヘッドセットのソフトウェア自動アップデート中は音が出ません。ヘッドセットを充電ケースにセットしてふたを閉め、5分程度お待ちください。
- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度ペアリングをしてください。
- スピーク・トゥ・チャットモードが起動すると、音楽再生が一時停止します。この場合は、ヘッドセットのタッチセンサーを操作して、スピーク・トゥ・チャットモードを終了してください。
  “Sony | Headphones Connect”アプリを使うと、スピーク・トゥ・チャットの有効／無効を切り替えることができます。
- マルチポイント接続で2台の機器と同時に接続しているとき、接続した機器によっては、音楽や動画などの再生を停止しても無音の信号を送り続けるものがあります。この場合、ヘッドセットはその機器と接続したままになり、別の機器に音が切り替わらないことがあります。1台目の機器で再生を停止しても、2台目の機器から音が聞こえない場合は、以下の順にお試しいただき、改善されるかご確認ください。
  - “Sony | Headphones Connect”アプリで、［2台の機器と同時に接続］がオンになっていることを確認する。
  - 1台目の機器のアプリケーションで再生を停止する。
  - 1台目の機器のアプリケーションを終了する。
  - “Sony | Headphones Connect”アプリの［接続中の機器］ - ［接続機器の管理］から再生したい端末を選択した後、再生の操作をする。

パソコンと接続している場合

- パソコンと接続しているとき、パソコンの音声出力先はBluetooth機器になっているか確認してください。
- 音楽アプリや動画アプリを再起動してください。
- パソコンのビデオ通話用アプリを使用するときは、ヘッドセットとパソコンがHFPやHSPでBluetooth接続されているか確認してください。
  お使いのビデオ通話用アプリによっては、マイクの設定ができない場合があります。

片側のみ音が出ない場合

- お使いのスマートフォンやパソコンのアプリ（HFP/HSPプロファイルを使用するもの）によっては、音声が片側からのみ聞こえる場合があります。

関連項目

- 充電する
- 片側のヘッドセットだけを使う
- Bluetooth接続をするには
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く

- お手入れ
- ソフトウェアを最新の状態に保つ方法（快適にご使用いただくために）
- リセットする
- 初期化する

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

音が小さい

- イヤーピースのメッシュ部分に耳あかなどの異物が付着すると、音が小さく聞こえたり聞こえにくくなったりすることがあります。「お手入れ」の内容に従い、お手入れをしてから使用してください。
- イヤーピースのサイズが耳の穴の大きさに合っていなかったり、ヘッドセットが耳に正しく装着できていないと、正しい音質、音量が得られない可能性があります。
  その場合は、以下をお試しください。
  - より密閉感が高いと感じられるイヤーピースに交換してください。イヤーピースを交換するときは、大きめのイヤーピースからお試しください。最適なイヤーピースのサイズは、左右の耳で異なる場合があります。
  - ヘッドセットが耳に正しく装着できているか確認してください。また、イヤーピースがより耳の奥に入るよう装着してください。

- 接続先の機器で音量を調節してください。
  音楽再生時の音量はヘッドセットでも調節できます。
- 通話するときの音量はヘッドセットでは調節できません。接続機器側で調節してください。
- Bluetooth機器とヘッドセットをもう一度接続し直してください。
- ヘッドセットの音導管（音出口の筒部）、通気孔、マイク部分は非耐水エリアです。音導管、通気孔、マイク部分に水が入ったままになると、一時的に音が小さくなりますが、故障ではありません。「ヘッドセットや充電ケースが水にぬれてしまった場合は」の内容に従い、お手入れをしてから使用してください。
- ヘッドセットを充電ケースにセットし、ふたを閉めてください。
  充電ケースにセットすることで問題が解決することがあります。
- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度機器登録（ペアリング）をしてください。

ご注意

- 接続機器によって、ヘッドセットと音量が連動するもの、連動しないものがあります。一度ヘッドセットの音量が下がってしまうと、連動しない機器の音量操作ではヘッドセットの音量が上げられません。
  その場合は、ヘッドセットと接続先の機器両方の音量を上げてください。
  接続機器側で調節しても音が小さい場合は、“Sony | Headphones Connect”アプリ上で音量を調節してください。

関連項目

- お手入れ
- イヤーピースを交換する
- ヘッドセットを装着する
- 水ぬれによる焼損や故障を防ぐために
- ヘッドセットや充電ケースが水にぬれてしまった場合は
- リセットする
- 初期化する

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

ノイズや異音が聞こえる

- ヘッドセットを使用すると、歩行中や走行中に振動が体に伝わって聞こえたり、心音や呼吸音などの生体音が聞こえることがあります。これは製品の性質上起こりうることであり、不具合ではありません。
- ノイズキャンセリング機能をオンにしていると、微量のノイズが聞こえることがありますが、これはノイズキャンセリングの特性上発生するものです。
- ヘッドセットを装着する際や、装着位置を調整する際には、イヤーピースの形状が変化し、内部の気泡が潰れたり復元したりすることがあります。この際に、耳の中でプチプチという音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 耳にヘッドセットを押し込んだり、タッチセンサーを強くタップしたりする際に、ノイズキャンセリング機能や外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）と、ヘッドセットの高い密閉性により、一時的に音が発生する場合があります。これは不具合ではありません。
- Bluetooth接続されていないときにタッチセンサーをタップすると、ヘッドセットの電源が入っていることを知らせる通知音が鳴ります。
- ヘッドセットの音導管（音出口の筒部）、通気孔、マイク部分は非耐水エリアです。音導管、通気孔、マイク部分に水が入ったままになると、一時的にピーという音（ハウリング）が出ることがあります。これは故障ではありません。「ヘッドセットや充電ケースが水にぬれてしまった場合は」の内容に従い、お手入れをしてから使用してください。
- 左右のヘッドセットのマイク部分を手などで覆ったり、ヘッドセットを手で握ったりすると、ピーという音（ハウリング）が出たりすることがあります。これは不具合ではありません。このような場合は、左右のマイク部分から手などを離してください。
- 周囲の音がかなり大きい環境で外音取り込み機能をオンにすると、ノイズ音が聞こえる場合があります。これは不具合ではありません。このような場合は、ノイズキャンセリング機能をオンにするか、ノイズキャンセリング機能と外音取り込み機能をオフにしてご使用ください。
- 商業施設や地下鉄駅の出入り口などの場所に、まれにネズミなどを撃退するために、特殊な超音波を発生する機器が設置されている場合があります。その機器の近くでは超音波の影響を受けてしまい、ヘッドセットからノイズや異音が聞こえる場合があります。ノイズや異音が聞こえる場所から離れてください。またはノイズキャンセリング機能、外音取り込み機能をオフにしてください。
- アダプティブサウンドコントロールをオンにしていると、行動を検出してノイズキャンセリング機能を自動で調整します。設定が変更されるときに、音楽が一瞬停止して、通知音が鳴る場合があります。これは、設定が変更されたことをお知らせする音です。
  この通知音をオフにしたい場合、“Sony | Headphones Connect”アプリで設定を変更できます。

上記のいずれの項目にも該当しない場合は、以下の手順を順に実行して、改善するかお試しください。

- 充電ケースを充電してください。
- ヘッドセットを充電ケースにセットし、ふたを閉めてください。
  充電ケースにセットすることで問題が解決することがあります。
- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度機器登録（ペアリング）をしてください。

関連項目

- ノイズキャンセリング機能を使う
- 音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード））
- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること
- 水ぬれによる焼損や故障を防ぐために
- ヘッドセットや充電ケースが水にぬれてしまった場合は
- 充電する

- リセットする
- 初期化する

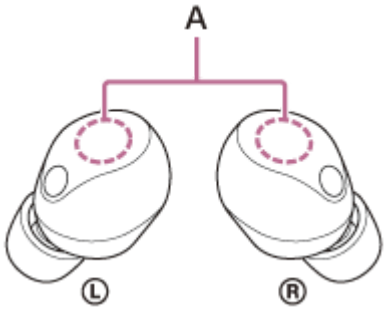
5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

音が途切れやすい

- 以下の再生機器やヘッドセットの設定が影響している場合があります。
  - ヘッドセットを接続優先に設定してください。詳しくは、「音質モードについて」をご覧ください。
  - マルチポイント接続で2台の機器と同時に接続しているときは、音が途切れやすくなることがあります。
  - 送信機器のワイヤレス再生品質設定の変更により改善される場合があります。詳しくは、送信機器の取扱説明書をご覧ください。
  - アダプティブサウンドコントロールをオンにしていると、行動を検出してノイズキャンセリング機能を自動で調整します。設定が変更されるときに、音楽が一瞬停止してしまう場合があります。これは不具合ではありません。
  - “Sony | Headphones Connect”アプリでサービスとの連携をオフにすると、音切れが改善することがあります。
  - スピーク・トゥ・チャットを有効に設定しておくと、相手に話しかけることで、自動的にスピーク・トゥ・チャットモードが起動します。
    再生中の音楽は、一時停止または消音します。このタイミングで音が途切れたと感じる可能性がありますが、不具合ではありません。気になるときは、スピーク・トゥ・チャットを無効にしてください。

- 接続するBluetooth機器のアンテナ部と、左右のヘッドセットに内蔵されているアンテナ部分との間に障害物がある場合は、障害物を避けてください。左右のヘッドセットのアンテナは、下記の図で点線で示した位置に内蔵されています。



A : 内蔵アンテナの位置（左、右）

- ヘッドセットの装着状態によっては、音が途切れやすくなることがあります。
  左右のヘッドセットのアンテナ部分が耳の外に向くように装着すると、改善される場合があります。



- Bluetooth通信は以下の状況において、ノイズや音途切れが発生したり、接続できなくなることがあります。
  - ヘッドセットとBluetooth機器の間に人体がある場合
    この場合は、ヘッドセットのアンテナにBluetooth機器を近づけることで、Bluetooth通信が改善される場合があります。
  - ヘッドセットとBluetooth機器の間に金属、壁などの障害物がある場合
  - 無線LANが構築されている場所や、電子レンジを使用中の周辺、その他電磁波が発生している場所など

- 駅構内や満員電車の中など他の無線通信オーディオ機器や人体が近くにある場合

- スマートフォンで音楽を聞いているときは、不要なアプリを閉じたり、スマートフォンを再起動すると改善される場合があります。パソコンで音楽を聞いているときは、不要なアプリやウィンドウを閉じて、パソコンを再起動してください。
- 再生機器にヘッドセット以外のBluetooth機器が接続されているときは、接続を解除すると症状が改善する場合があります。
- ヘッドセットとお使いのBluetooth機器をもう一度接続し直してください。
  いったんヘッドセットを充電ケースにセットして充電ケースのふたを閉めてから、もう一度ヘッドセットを取り出し、Bluetooth機器と接続します。
- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度機器登録（ペアリング）をしてください。

関連項目

- 音質モードについて
- 2台の機器と同時に接続する（マルチポイント接続）
- サービスとの連携でできること
- ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）
- リセットする
- 初期化する

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

音質が悪い

- イヤーピースのサイズが耳の穴の大きさに合っていなかったり、ヘッドセットが耳に正しく装着できていないと、タップ操作やスピーク・トゥ・チャットの音声検出が失敗したり、正しい音質、ノイズキャンセリング効果、通話性能が得られない可能性があります。
  その場合は、以下をお試しください。
  - より密閉感が高いと感じられるイヤーピースに交換してください。イヤーピースを交換するときは、大きめのイヤーピースからお試しください。最適なイヤーピースのサイズは、左右の耳で異なる場合があります。
    “Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、ノイズキャンセリング機能や音質などを最大限に発揮するために最適なイヤーピースを判定することができます。
  - ヘッドセットが耳に正しく装着できているか確認してください。また、イヤーピースがより耳の奥に入るよう装着してください。

  ヒント
  - 最適なイヤーピースを判定する機能は、イヤーピースの密閉状態を測定し、ヘッドセットが耳に正しく装着されているかを判定します。快適に装着できるものを選択してください。
- 再生機器の音量が大きすぎる場合は、音量を下げてください。
- ヘッドセットと送信側Bluetooth機器が、HFPやHSPでのBluetooth接続になっているときは、接続機器を操作してA2DPでのBluetooth接続に切り替えてください。
- ヘッドセットを前回接続していたBluetooth機器に接続する場合は、ヘッドセットの電源を入れたときにHFP/HSPのみBluetooth接続される場合があります。接続機器を操作して、A2DPでBluetooth接続してください。
- ヘッドセットを使ってパソコンの音楽を聞く際、最初の数秒間のみ音質が悪い場合（例えばボーカルの声が聞こえにくい、など）があります。これはパソコンの仕様（通信開始時は通話優先で接続し、数秒後に音質優先に切り替わる）であり、ヘッドセットの故障ではありません。
  もし数秒たっても音質が悪い場合は、パソコン側でA2DPでの接続操作をしてください。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- ヘッドセットを装着する
- イヤーピースを交換する
- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

ノイズキャンセリング効果が得られない

- ノイズキャンセリング機能がオンになっているか確認してください。
- イヤーピースのサイズが耳の穴の大きさに合っていなかったり、ヘッドセットが耳に正しく装着できていないと、タップ操作やスピーク・トゥ・チャットの音声検出が失敗したり、正しい音質、ノイズキャンセリング効果、通話性能が得られない可能性があります。
  その場合は、以下をお試しください。
  - より密閉感が高いと感じられるイヤーピースに交換してください。イヤーピースを交換するときは、大きめのイヤーピースからお試しください。最適なイヤーピースのサイズは、左右の耳で異なる場合があります。
    “Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、ノイズキャンセリング機能や音質などを最大限に発揮するために最適なイヤーピースを判定することができます。
  - ヘッドセットが耳に正しく装着できているか確認してください。また、イヤーピースがより耳の奥に入るよう装着してください。

ヒント

- 最適なイヤーピースを判定する機能は、イヤーピースの密閉状態を測定し、ヘッドセットが耳に正しく装着されているかを判定します。快適に装着できるものを選択してください。

- ヘッドセットの装着状態によっては、ノイズキャンセリング効果が得られない可能性があります。
  左右のヘッドセットのアンテナ部分が耳の外に向くように装着すると、改善される場合があります。



- 通話中に自分の声をより聞こえやすくするため、マイクが作動し外音を取り込みます（サイドトーン機能）。自分の声が大きく聞こえたり周囲の音が気になる場合は、“Sony | Headphones Connect”アプリで［通話時の自分の声の取り込み］をオフにしてください。
- ノイズキャンセリング機能は、飛行機・電車・オフィス・エアコンなどの低周波数域の騒音に効果的ですが、人の話す声など、高周波数域の騒音に対しては、ノイズキャンセリング効果が感じられない場合があります。
- “Sony | Headphones Connect”アプリのアダプティブサウンドコントロールがオンのときは、歩いたり走ったりする行動によって、ノイズキャンセリング機能が自動的に調整され、外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）に切り替わることがあります。
  ノイズキャンセリング機能を最大限に活用したい場合は、アダプティブサウンドコントロールをオフにし、手動でノイズキャンセリング機能をオンにする方法をお試しください。

関連項目

- イヤーピースを交換する
- ヘッドセットを装着する
- ノイズキャンセリング機能とは
- ノイズキャンセリング機能を使う

- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ヘッドセットを操作できない

- ヘッドセットを耳に装着していないと操作できません。耳に装着してから操作してください。
- 耳への装着がゆるい、イヤーピースのヘッドセットへの装着が不十分、また、IRセンサーが汚れているなど、ヘッドセットのIRセンサーが装着を検出できないと、自動電源オフ機能が働いてしまい、自動的にヘッドセットの電源が切れる場合があります。ヘッドセットを耳にフィットするように装着し、IRセンサーが汚れている場合は、乾いた柔らかい布で清掃してください。
- “Sony | Headphones Connect”アプリの［システム］タブで自動電源オフを［オフしない］に変更することで、装着検出が動作し続けるため、症状が改善する場合があります。
- タッチセンサーをタップする（軽く叩く）ときは、以下の点を注意してください。
  - ヘッドセットを親指と中指でしっかり支え、タップしたときにヘッドセットが動かないようにする。
  - 人差し指の腹部分でタッチセンサーの中央部をタップする。
    爪や指の先端部分でタップしたり、タッチセンサーの縁をタップしたり、タッチセンサーを強く押しすぎたりすると、反応しない場合があります。
- 手袋をはめている場合は、外してから操作してください。
- 人差し指の表面がぬれている、皮脂や汚れが付いている、乾燥しすぎているなどの場合、タップしても反応しにくい場合があります。
- タッチセンサーが以下の状態のときは、操作できなかったり誤反応する場合があります。
  - 水、汗などでぬれている。
  - 髪の毛、ぬれたタオルなどが触れている。
- “Sony | Headphones Connect”アプリでタッチセンサーに割り当てられている機能を変更した場合は、正しく機能を割り当てたかをアプリで確認してください。
- 充電ケースを充電してください。
- ヘッドセットを充電ケースにセットし、ふたを閉めてください。
  充電ケースにセットすることで問題が解決することがあります。
- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度機器登録（ペアリング）をしてください。

関連項目

- ヘッドセットを装着する
- イヤーピースを交換する
- タッチセンサーについて
- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること
- リセットする
- 初期化する

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

Bluetooth機器と機器登録（ペアリング）できない

- ヘッドセットとBluetooth機器の距離を1 m以内に近づけてください。
- お買い上げ時やヘッドセットを初期化した後、修理返却後などに1台目をペアリングするときは、ヘッドセットを充電ケースから取り出すと自動的にペアリングモードになります。2台目以降の機器をペアリングする場合は、ヘッドセットを充電ケースにセットし、充電ケースのふたを開けた状態で充電ケース背面のペアリングボタンを約5秒以上押したままにして、ペアリングモードにする必要があります。
- イヤーピースがヘッドセットに正しく装着されていないなどの原因で、ヘッドセットが充電ケースに正しくセットされていない場合、ペアリングモードに移行できません。ヘッドセットが充電ケースに正しくセットされているか確認してください。
- ヘッドセットを初期化した後や修理返却後に機器をペアリングし直す場合、接続する機器にヘッドセットのペアリング情報が残っているとペアリングできない場合があります（iPhoneなど）。その場合は接続する機器に登録されているヘッドセットのペアリング情報を削除してからペアリングをしてください。
- LE Audioで接続履歴のある機器が近くにあると、ペアリングモードに移行した際に自動で接続されてしまうことがあります。接続履歴がある機器のBluetooth設定をオフにしてから、新しい機器のペアリングをしてください。
- お使いのスマートフォンやパソコンなどの接続機器を一度再起動してから、もう一度ペアリングをしてください。
- 充電ケースを充電してください。
- ヘッドセットを充電ケースにセットし、ふたを一度閉めてから再度ふたを開けてください。
  充電ケースにセットすることで問題が解決することがあります。
- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度ペアリングをしてください。

関連項目

- Bluetooth接続をするには
- イヤーピースを交換する
- 充電する
- リセットする
- 初期化する

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

Bluetooth接続ができない

- ヘッドセットの電源が入っているか確認してください。
- Bluetooth機器の電源が入っていてBluetooth機能がオンになっていることを確認してください。
- ヘッドセットが前回接続していた別のBluetooth機器と自動的に接続されたときは、Bluetooth接続に失敗することがあります。その場合は、前回接続していたBluetooth機器を操作してBluetooth接続を切断してください。
- Bluetooth機器がスリープ状態になっていないか確認してください。スリープ状態になっている場合は解除してください。
- Bluetooth接続が切断されていないか確認してください。切断されている場合は、もう一度Bluetooth接続を開始してください。
- Bluetooth機器側でヘッドセットの接続履歴情報を削除した場合、もう一度機器登録（ペアリング）が必要です。
- 充電ケースを充電してください。
- ヘッドセットを充電ケースにセットし、ふたを閉めてください。
  充電ケースにセットすることで問題が解決することがあります。
- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度ペアリングをしてください。

関連項目

- Bluetooth接続をするには
- 充電する
- リセットする
- 初期化する

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

通話相手の声が聞こえない・声が小さい、通話相手に声が届かない・声が小さい

- 接続先の機器とヘッドセットの電源が入っているか確認してください。
- 接続先の機器の音量が小さすぎるときは音量を上げてください。
- ビデオ通話用アプリを使用するとき、ビデオ通話用アプリの設定*を開き、スピーカー、もしくはマイクの設定が［ヘッドセット (WF-1000XM5 Hands-Free)］**になっているかを確認してください。ビデオ通話用アプリの設定が確認できない場合や、通話の接続［ヘッドセット (WF-1000XM5 Hands-Free)］を選択できない場合は、パソコンの設定から［ヘッドセット (WF-1000XM5 Hands-Free)］を選び、接続してください。
  * お使いのビデオ通話用アプリによっては、機能がない場合があります。
  ** 名称はお使いのパソコンやビデオ通話用アプリによって異なります。
- イヤーピースのサイズが耳の穴の大きさに合っていなかったり、ヘッドセットが耳に正しく装着できていないと、タップ操作やスピーク・トゥ・チャットの音声検出が失敗したり、正しい音質、ノイズキャンセリング効果、通話性能が得られない可能性があります。
  その場合は、以下をお試しください。
  - より密閉感が高いと感じられるイヤーピースに交換してください。イヤーピースを交換するときは、大きめのイヤーピースからお試しください。最適なイヤーピースのサイズは、左右の耳で異なる場合があります。
    “Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、ノイズキャンセリング機能や音質などを最大限に発揮するために最適なイヤーピースを判定することができます。
  - ヘッドセットが耳に正しく装着できているか確認してください。また、イヤーピースがより耳の奥に入るよう装着してください。

ヒント

- 最適なイヤーピースを判定する機能は、イヤーピースの密閉状態を測定し、ヘッドセットが耳に正しく装着されているかを判定します。快適に装着できるものを選択してください。

- ヘッドセットを充電ケースにセットし、ふたを閉めてください。その後、ヘッドセットを取り出し、もう一度Bluetooth機器と接続してください。
- スマートフォンやパソコンなどのBluetooth機器を再起動して、もう一度ヘッドセットと接続してください。
- ヘッドセットを充電ケースにセットし、ふたを閉めてください。
  充電ケースにセットすることで問題が解決することがあります。
- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度機器登録（ペアリング）をしてください。

関連項目

- Bluetooth接続をするには
- 電話を受ける
- 電話をかける
- ヘッドセットを装着する
- イヤーピースを交換する
- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること
- リセットする
- 初期化する

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

LE Audio接続できない

- LE Audioに対応している機器は、Android搭載スマートフォン Xperia 1 Ⅳ/Xperia 5 Ⅳです（スマートフォンのソフトウェアは最新のバージョンをお使いください）（2023年6月現在）。
  最新の対応機種情報は、サポートホームページをご覧ください。
- ヘッドセットのソフトウェアを最新のバージョンにアップデートしてください。
- LE Audio接続への切り替えは、“Sony | Headphones Connect”アプリで行います。詳しくは、「 Android搭載スマートフォンをLE Audioで機器登録（ペアリング）してから接続する」をご覧ください。
- ヘッドセットとAndroid搭載スマートフォンがClassic Audioで接続されている場合、“Sony | Headphones Connect”アプリで［ヘッドホンのLE Audio接続設定］を［LE Audio優先］に変更し、Android搭載スマートフォンと機器登録（ペアリング）し直す必要があります。詳しくは、「 Android搭載スマートフォンをLE Audioで機器登録（ペアリング）してから接続する」をご覧ください。

関連項目

- Android搭載スマートフォンをLE Audioで機器登録（ペアリング）してから接続する
- サポートホームページで調べる

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

Classic Audio接続に戻せない

- Classic Audio接続への切り替えは、“Sony | Headphones Connect”アプリで行います。詳しくは、「 Android搭載スマートフォンをLE Audioで機器登録（ペアリング）してから接続する」をご覧ください。
- “Sony | Headphones Connect”アプリで、［Classic Audio専用（従来の接続方式）］に切り替えられない場合は、ヘッドセットを初期化してください。

関連項目

- Android搭載スマートフォンをLE Audioで機器登録（ペアリング）してから接続する
- 初期化する

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

イヤーピースが破損した、紛失した

- イヤーピースは消耗品です。イヤーピースが破損し交換する場合はソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談いただくか、別売のEP-NI1010シリーズをお買い求めください。

イヤーピースを早期劣化から守るために、以下の注意を守ってご愛用ください

- 水洗いやウェットティッシュ、アルコール等の有機溶剤の使用は早期劣化の原因となりますので、必ず避けてください。



- 紙で擦ったり、鋭利な金属物、爪、粘着テープ等を使用すると、イヤーピースが傷つけられたり、変形する可能性があります。
- 発泡ウレタン部分だけを引っ張らないでください。イヤーピースから分離すると、機能しなくなります。
- 発泡ウレタン部分に力を加えたまま長時間放置しないでください。変形して元に戻りにくくなる恐れがあります。
- 水にぬれてしまった場合などは水気を切り、乾燥したことを確認してからご使用・保存してください。
- イヤーピースに亀裂、剥がれ、欠けなどの劣化が見られた場合は、使用を控えてください。
  劣化すると音質、ノイズキャンセリングなどの性能が発揮できなくなり、さらに使用中にイヤーピースが耳の中に残り、けがや病気の原因になることがあります。

関連項目

- お手入れ

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

耳が痛くなる

- イヤーピースの大きさが耳に合わないと感じられる場合には、イヤーピースを交換してください。イヤーピースを交換するときは、大きめのイヤーピースからお試しください。最適なイヤーピースのサイズは、左右の耳で異なる場合があります。
  “Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、ノイズキャンセリング機能や音質などを最大限に発揮するために最適なイヤーピースを判定することができます。
- ヘッドセットが耳に正しく装着できているか確認してください。
- ヘッドセットを長時間装着し続けると耳が痛くなる場合があります。適宜休憩をはさみながら使用してください。

ヒント

- 最適なイヤーピースを判定する機能は、イヤーピースの密閉状態を測定し、ヘッドセットが耳に正しく装着されているかを判定します。快適に装着できるものを選択してください。

関連項目

- イヤーピースを交換する
- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること
- ヘッドセットを装着する

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

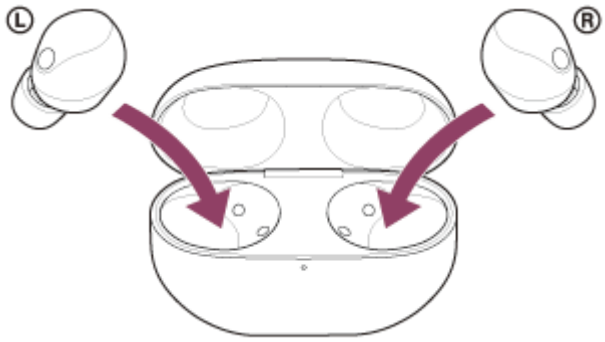
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

リセットする

ヘッドセットの電源が入らない、または電源が入っているのに操作ができない場合は、ヘッドセットをリセットしてください。

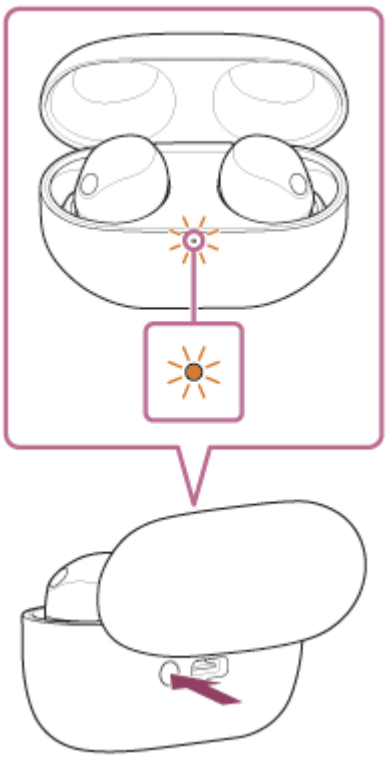
1 ヘッドセットを充電ケースにセットする。

充電ケースのふたは開けたままにしてください。



2 充電ケース背面のリセットボタンを約20秒以上押したままにする。

充電ケースのランプ（オレンジ）が、約15秒後から約5秒間点滅します。



その後、充電ケースのランプが消灯し、ヘッドセットがリセットされます。

ご注意

- 充電ケースのランプ（オレンジ）が点滅している間は、リセットボタンから指を離さないでください。指を離すとヘッドセットが初期化されてしまいます。

3 ランプが消灯したことを確認して指を離す。

機器登録（ペアリング）情報、その他の設定は保持されます。
症状が改善されないときはヘッドセットを初期化してください。

取扱説明動画について

リセットの手順は、動画でご覧いただけます。
https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0060/ja/

関連項目

- 初期化する

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

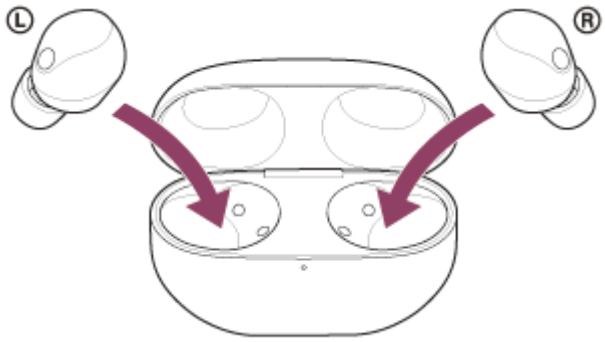
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

初期化する

ヘッドセットをリセットしても症状が改善されないときは、初期化してください。

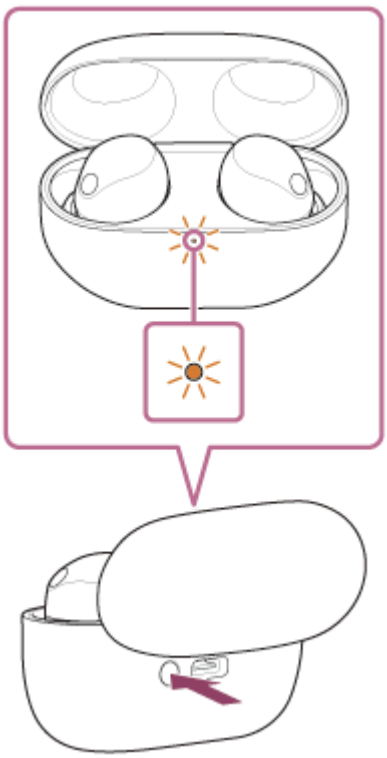
1 ヘッドセットを充電ケースにセットする。

充電ケースのふたは開けたままにしてください。



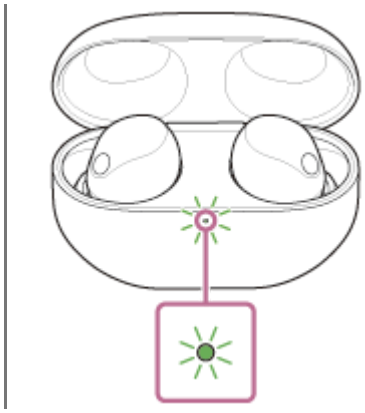
2 充電ケース背面の初期化ボタンを約15秒以上押したままにする。

充電ケースのランプ（青）が2回ずつ点滅を繰り返した後、ランプ（オレンジ）が点滅し始めます。



3 充電ケースのランプ（オレンジ）が点滅し始めてから5秒以内に指を離す。

初期化が完了すると、充電ケースのランプ（緑）が4回点滅します。



音量調節などを工場出荷時の設定に戻し、すべての機器登録（ペアリング）情報を削除します。この場合は接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除してもう一度ペアリングをしてください。
初期化しても動作が改善されないときは、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店へお問い合わせください。

取扱説明動画について

初期化の手順は、動画でご覧いただけます。
https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0061/ja/

ヒント

- "Sony | Headphones Connect"アプリからヘッドセットを初期化することもできます。

ご注意

- 充電ケースの充電式電池に充分な残量がない場合は、ヘッドセットを初期化できません。充電ケースを充電してください。
- 手順 ❸ の操作後に充電ケースのランプ（緑）が4回点滅しない場合は、ヘッドセットは初期化されていません。もう一度手順 ❷ から操作してください。
- お買い上げ後にソフトウェアをアップデートした場合は、ヘッドセットを初期化してもアップデートした状態が保持されます。
- 音声ガイダンスの言語を変更した状態でヘッドセットを初期化しても、言語は初期状態に戻りません。

関連項目

- 電話・ファックスで問い合わせる

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM5

主な仕様

ヘッドセット

電源：

DC 3.85 V：内蔵充電式リチウムイオン電池
DC 5 V：USB充電時

許容動作温度：

0 ℃～40 ℃

充電時間：

約1.5時間（本体）
約2時間（充電ケース）

ご注意

- 使用条件により変わる場合があります。

質量：

約5.9 g × 2（ヘッドセットのみ（イヤーピース（M）含む））
約39 g（充電ケース）

通信仕様

通信方式：

Bluetooth標準規格 Ver. 5.3

出力：

Bluetooth標準規格 Power Class 1

最大通信距離：

見通し距離 約10 m [1)]

使用周波数帯域：

2.4 GHz帯（2.400 0 GHz - 2.483 5 GHz）

対応Bluetoothプロファイル [2)]：

A2DP/AVRCP/HFP/HSP
TMAP/CSIP/MCP/VCP/CCP

対応コーデック [3)]：

SBC
AAC
LDAC
LC3

伝送帯域（A2DP）：

20 Hz - 20 000 Hz（44.1 kHzサンプリング時）
20 Hz - 40 000 Hz（LDAC 96 kHzサンプリング、990 kbps 時）

1) 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。
2) Bluetoothプロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。
3) 音声圧縮変換方式のこと

ヘッドセットの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

対応iPhone/iPod

iPhone SE（第3世代）
iPhone 13 Pro Max
iPhone 13 Pro
iPhone 13
iPhone 13 mini
iPhone 12 Pro Max
iPhone 12 Pro
iPhone 12
iPhone 12 mini
iPhone SE（第2世代）
iPhone 11 Pro Max
iPhone 11 Pro
iPhone 11
iPhone XS Max
iPhone XS
iPhone XR
iPhone X
iPhone 8 Plus
iPhone 8
iPhone 7 Plus
iPhone 7
iPhone SE
iPhone 6s Plus
iPhone 6s
iPod touch（第7世代）
※ 2023年3月 現在

5-048-298-01(1) Copyright 2023 Sony Corporation